

第1回松本市教育振興基本計画策定委員会

日 時：令和8年5月25日（月）

午前10時から12時

会 場：松本市役所3階 大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員自己紹介及び職員紹介
- 4 委員長選出、委員長職務代理指名
- 5 協議事項
第4次松本市教育振興基本計画の策定について
- 6 報告事項
松本市の教育に関するアンケート調査の結果について
- 7 意見交換（ワークショップ形式）
 - ・アンケート調査の結果を踏まえたご意見
 - ・基本計画の策定に当たって重視したい内容、考慮したい課題 など
- 8 その他
- 9 閉 会

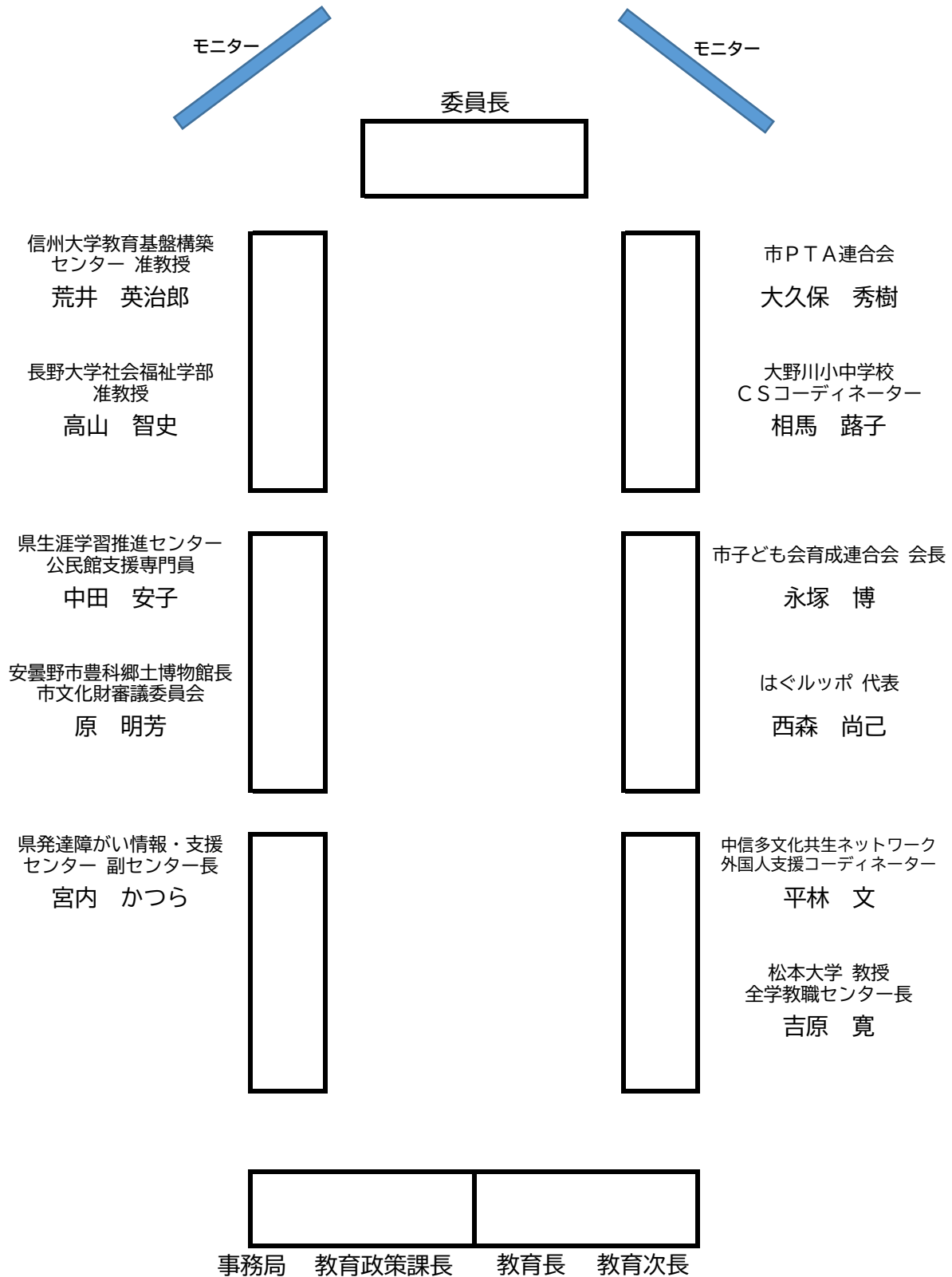
第4次松本市教育振興基本計画策定委員会 委員名簿

(敬称略。五十音順)

	氏名	性別	所属等
1	アライ エイジロウ 荒井 英治郎	男	国立大学法人信州大学 教育基盤構築センター 准教授
2	ウンノ アケミツ 海野 暁光	男	長野県保育連盟会長 (認定こども園深志園長)
3	オオクボ ヒデキ 大久保 秀樹	男	松本市PTA連合会
4	サカグチ トシキ 坂口 俊樹	男	松本市校長会長
5	ソウマ フキコ 相馬 露子	女	大野川小中学校CSコーディネーター
6	タカヤマ トモフミ 高山 智史	男	長野大学社会福祉学部 准教授
7	ナカタ ヤスコ 中田 安子	女	長野県生涯学習推進センター 職員 公民館支援専門員
8	ナガツカ ヒロシ 永塚 博	男	松本市子ども会育成連合会 会長
9	ニシモリ ナオミ 西森 尚己	女	はぐルッポ 代表
10	ハラ アキヨシ 原 明芳	男	安曇野市豊科郷土博物館長 松本市文化財審議委員会
11	ヒラバヤシ フミ 平林 文	女	NPO法人中信多文化共生ネットワーク(CTN) 外国人支援コーディネーター
12	マツシマ ツネシ 松島 恒志	男	子どもとメディア信州 理事長
13	ミヤウチ 宮内 かつら	女	長野県発達障がい情報・支援センター 副センター長
14	ヨシハラ ヒロシ 吉原 寛	男	松本大学 教授/全学教職センター長

第1回松本市教育振興基本計画策定委員会 座席表

松本市役所本庁舎3階 大会議室



入口

松本市教育振興基本計画 策定委員会資料
8. 5. 25
教育政策課

第4次松本市教育振興基本計画の策定について

1 趣旨

現行の第3次松本市教育振興基本計画の計画期間が令和8年度で終了することに伴い、第4次松本市教育振興基本計画を策定するものです。

2 計画の位置付けと性格

- (1) 教育基本法第17条第2項に基づく地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- (2) 松本市総合計画における教育・文化に関する個別計画としての性格を有するもの

3 構成と計画期間

- (1) 松本市教育大綱 令和4年2月に策定
- (2) 第4次教育振興基本計画 令和9年度～令和13年度（5年間） ※今回策定

4 策定の基本的な考え方

第3次松本市教育振興基本計画は、部局横断的な視点で各種事業を推進することを大切にし、複数の担当課が連携・協働して取り組む体系に見直しを図りました。第4次松本市教育振興基本計画では、その体系を引き継ぎつつ、第3次松本市教育振興基本計画の評価・検証を通じて各施策の現状と課題を整理し、社会情勢や環境の変化に応じた計画に見直すものです。

5 策定方法

- (1) 市民アンケート調査及びヒアリング調査の実施
 - ア 松本市の教育の現状と課題に関する意識調査を実施しました。（調査対象は、児童生徒、保護者、教職員、一般市民。有効回答3,708件）
 - イ 若者の意見を聴くワークショップの実施を予定しています。
- (2) 検討機関の設置
 - ア 松本市教育振興基本計画策定庁内調整会議
 - (ア) 関係部局長で組織する「松本市教育振興基本計画策定庁内調整会議」を設置します。
 - (イ) 松本市教育振興基本計画策定庁内調整会議の効率的な進行を図るため、事前調整を行う幹事会を設けます。
 - イ 松本市教育振興基本計画策定委員会
 - 市民意識や社会情勢を反映するため、有識者や学校関係者、社会教育関係者等を委員とする「松本市教育振興基本計画策定委員会」を設置します。

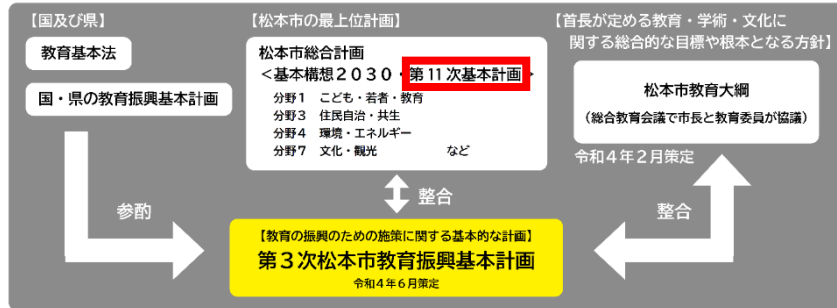
6 見直し内容について 資料1

7 スケジュール 資料2

教育振興基本計画の見直し内容について (第3次計画の位置づけ、構成に即して)

注: 各見出しの () 内は、第3次松本市教育振興基本計画の参照先ページ

1 第3次計画の位置づけ (p.2)



→ 基本構想2030・第12次基本計画 (令和8年3月策定) と整合

2 教育振興基本計画の基本的理念 (p.15)

「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」

※ 学習指導要領の改訂、アンケート結果等を踏まえて設定

→ 見直しの検討 (社会情勢や委員会での議論等を踏まえて)

3 第3次計画の特徴 (p.17)

(1) 組織を横断する複合的な体系

(2) 遊びや体験の重視

(3) 地域で「生涯を通じた学び」を支える

→ 見直しの検討 (社会情勢や委員会での議論等を踏まえて)

4 第3次計画のキャッチフレーズ (p.18)

「学びに、遊びや体験を。」

生涯を通じた学びを保障する松本まるごと学都構想」

→ 見直しの検討 (社会情勢や委員会での議論等を踏まえて)

5 計画の体系図 (p.19)



(1) 「分野」・・・学びの分野

(2) 「方針」・・・各分野における施策の方針

→ 「方針」を見直し (社会情勢や施策の状況などを反映)

6 基本計画 (p.20・21、p.22～)

(1) 「現状と課題」・・・社会情勢や市民ニーズを踏まえて記載

(2) 「施策の方向性」・・・計画期間で特に重点を置く内容

(3) 「主要事業一覧」・・・実施している主要事業や取り組みの概要

※ 松本市における教育の振興のための施策に関する計画であるため、教育委員会の所管事業以外も掲載 (各事業に関わる計画と整合を図ります。)

→ 内容を見直し (委員会での議論等を踏まえて)

		令和7年度												令和8年度												令和9年度													
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5												
関連計画	国	現行計画(令和5~9年度)を参酌																																					
	県	現行計画(令和5~9年度)を参酌																																					
	松本市 総合計画	基本構想2030		現行構想(令和3~12年度)と整合																																			
		基本計画		素案作成				素案公表				成案公表				策定				第12次基本計画(令和8~12年度)と整合																			
	松本市教育大綱		現行大綱(基本構想2030に合わせて令和13年度に改定予定)と整合																																				
アンケート						内容		送付		調査		集計・分析																											
その他										課題洗出				5月25日		6月23日		7月21日		8月28日						2月10日		デザイン		印刷									
策定委員会														策定メンバーの推薦依頼・選定				第1回 現行計画の策定方法の評価・検証と課題の共有		第2回 個別施策の検討(分野1・2・3・4)		第3回 個別施策の検討(分野5・6・7・8・9)		第4回 (基本計画案の検討・3・4)		第5回 (基本計画案の検討・7・8・9)		第6回 基本計画案の協議				策定							
庁内調整会議	調整会議(部局長)																																						
	幹事会(課長)																																						
教育委員会						協議								協議								協議				協議				報告									
庁議										報告																協議				協議				報告					
パブリックコメント																														パブ コメ									
議会										報告																				協議				協議				報告	

子どもが主人公 学都松本のシンカ



「子どもが主人公 学都松本のシンカ」が目指すもの

○目標：みんなの未来の学校(略称：みんなミラ)の実現

児童生徒、教職員、
保護者、地域の方など、
すべての人

これまでの「当たり前」
や「ふつう」を見返し、
子どもの視点に立った
新たな学校づくり、
授業づくりに
挑戦し続ける学校

「子どもが主人公 学都松本のシンカ」が目指すもの

○目標：**みんなの未来の学校**(略称：**みんなミラ**)の実現



相手がその子らしく過ごしていることを尊重

○目的：**児童生徒が「自分らしく あなたらしく あいのままに」**
いられて、学べる 環境を

※子どもが子どもらしく、無理をせず、大人に忖度することなく、
人と比べられることなく、生き生きと過ごし、
自分と相手の自由に生きる権利を尊重し合える

3

「子どもが主人公 学都松本のシンカ」が目指すもの

○目標：**みんなの未来の学校**(略称：**みんなミラ**)の実現



相手がその子らしく過ごしていることを尊重

○目的：**児童生徒が「自分らしく あなたらしく あいのままに」**
いられて、学べる 環境を



○目指す姿：**充実した人生とよいよい社会を創る当事者！**

※ 自ら目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとれる

4

目指す姿 充実した人生とよりよい社会を創る当事者

目的 自分らしく あなたらしく ありのままに



5

松本市の挑戦は、4年前から始まりました。

これまでの先進的な取り組みが、未来への道筋を示してくれました。

25校

先行的な取組みに着手

リーディングスクール実践校 等

23校

これから取組みを開始

25校の先行実践の成果とノウハウを、「みんなミラ」として松本市全体へ。

松本市 全48校で「**みんミラ**」始動

外部からの刺激



- ・県外先進校への視察
- ・外部有識者の支援

全学校の費用を支援

文化の醸成



- ・授業・子ども観の変容
 - ・協働的な改革の気風
 - ・挑戦する学校文化
- 改革推進校長・リーダーへの伴走支援

コミュニティ形成



- 学校同士のつながりによる“市全体で学ぶ共同体”の構築
- ラーニング・コミュニティ形成支援



先進的な取組みを続ける新たなリーディングスクールの選定・支援

子どもが主人公 学都松本のシンカ



p. 26 「ウ 学校等に対して何を望みますか」

回答割合上位5位以降の項目の再掲の表中

「その他 学校施設の環境整備」×「小学3年生」 正) 0. 0 誤) 1. 1

「その他」×「年長」 正) 2. 3 誤) 2. 8

p. 30 「エ 地域で子どもを育てるためにはどのような取組みが必要だと思いますか」

回答割合上位5位以降の項目の再掲の表中

「大人同士の近所づきあい活発化」×「中学3年生」 正) 5. 7 誤) 2. 7

p. 75 「カ 松本市の教育全般について」

回答数 正) 117 誤) 117s

松本市の教育に関するアンケート調査結果の概要

注：市の教育施策の検討において重要と思われる項目、特徴的な結果について抜粋中点（・）で記載している回答項目は、回答割合が高い項目を掲載

児童生徒

自分自身について

学年が上がるほど回答割合が、

- 【減少↓】自己肯定感が高い
将来の夢や進路が決まっている
将来松本市に住みたい

- 【増加↑】心配ごとがある
(友人・人間関係、勉強など)

生活習慣など

学年が上がるほど回答割合が、

- 【減少↓】朝食を毎日食べている
睡眠時間が9時間以上

- 【増加↑】SNSの利用時間
読書を全くしない
友達と一緒に遊ばない

自分の携帯電話やスマホを持っている

R2比増加 32.1% → 53.9%

教職員等

職務への意識

生きがい・やりがい…R2調査と差は無し

負担を感じる業務

- ・事務処理
- ・保護者・PTA対応
- ・会議
- ・(高等学校)部活動指導

多忙を解消するために必要なこと

- ・調査や事務関係の書類の提出を少なくする
- ・学級定員の引き下げ
- ・教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす

教職員の資質向上のために必要な研修

R2調査とほとんど差は無し

保護者

学校等に対する要望

- ・授業を充実してほしい
- ・学校等での出来事などの情報提供

子どもの教育について関心が高い領域

- ・主体的に学ぶ力
- ・道徳心や規範意識
- ・基礎学力

一般

地域や学校に協力できること

- ・特になし
 - ・登下校見守り
 - ・知識技能を教える
- R2比増加 …その他のボランティア活動

生涯学習活動を特にしていない

R2比やや減少 51.9% → 44.6%

市内の施設を全く利用しなかった

- ・R2比減少 …美術館、博物館、市内の文化財
- 活用してほしい施設

- ・図書館
 - ・公園
 - ・市内の文化財
 - ・美術館 など
- R2比増加 …市内の文化財、博物館

子どもの権利条例の認知度

R2調査と差は無し

※20・30歳代で全く知らない割合が高い

AIを利用した学び

児童生徒の利用状況

小学6年生：41% 中学3年生：63%

…学習で分からないときや調べや学習に利用

利用の必要性（保護者、教職員等、一般）

意見は分かれているが、一般20・30歳代は必要ないとする割合が多い

教育、松本市の教育に対する意識

注：※の項目は、対象者の属性（保護者、教職員等、一般の年代等）によって回答割合が高い選択肢に差がある項目

テーマごとの現状の充実度 ※

- 十分) 文化体験、食育、情報発信、防災教育
- 不十分) 英語教育、いじめ対応、不登校支援、メディア・リテラシー教育

今後重要度が高いと考えるテーマ ※

- ・英語教育
- ・道徳教育
- ・健康と体力の向上
- ・いじめ対応
- ・不登校支援
- ・障がいのある子どもへの支援
- ・安全・安心な学校施設
- ・防災教育

松本市の子どもたちに期待する姿

- ・思いやりや、優しさを持った子ども
- ・ルールやマナーを守る子ども

子どもの教育に関する課題 ※

- ・基本的な生活習慣の乱れ
- ・基礎学力の低下
- ・健康状態や体力の低下
- ・いじめ、不登校問題

幼児教育の充実に必要な取組み

- ・発達状況に応じたきめ細かな対応
- ・「遊びと学び」の組織的、計画的指導の充実

家庭での教育力向上に必要な取組み ※

- ・子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会
- ・大人が自ら見本となる意識の向上

地域で子どもを育てるために必要な取組み※

- ・地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける

- ・良好な治安、環境の維持 *
- ・地域活動、行事への積極的参加

*保護者、一般の30歳代での回答割合が高い

松本市の教育に関する
アンケート調査結果報告書

令和8年5月
松本市教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回答状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	児童生徒	3
(1)	回答者属性	3
(2)	学習に関して	6
(3)	学校生活に関して	7
(4)	家庭など、学校以外での生活に関して	11
(5)	地域に関して	17
(6)	学都松本、その他に関して	18
2	保護者	19
(1)	回答者属性	19
(2)	子どもの教育に関して	20
(3)	お子さんの通う学校等に関して	25
(4)	家庭に関して	27
(5)	地域社会に関して	29
(6)	松本市の教育に関して	35
3	教職員、保育士・幼稚園教諭等	36
(1)	回答者属性	36
(2)	自分の職務（教職等）に関して	37
(3)	子どもの教育に関して	42
(4)	家庭や地域に関して	46
(5)	松本市の教育に関して	49
4	一般	57
(1)	回答者属性	57
(2)	子どもの教育に関して	58
(3)	家庭に関して	60
(4)	地域社会に関して	61
(5)	生涯学習に関して	64
(6)	松本市の教育に関して	72

Ⅲ 調査結果の考察.....	76
1 児童生徒.....	76
2 保護者.....	78
3 教職員、保育士・幼稚園教諭等.....	79
4 一般.....	81

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、教育に関する市民の意見を把握し、今後の教育行政推進の参考にするとともに、「第4次松本市教育振興基本計画」を策定する上で、現計画である「第3次松本市教育振興基本計画」の評価検証の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査対象

1 児童・生徒 右記学校の小学3年生、 小学6年生、中学3年生	【小学校（10校）】鎌田・清水・島内・寿・岡田・今井・明善・四賀・安曇・奈川・梓川・才教学園・信大附属 【中学校（10校）】高綱・菅野・筑摩野・山辺・開成・信明・安曇・波田・才教学園・信大附属
2 児童・生徒等の保護者 右記学校・園の年長、 小学3年生、小学6年生、 中学3年生の保護者	「1 児童・生徒」に掲載の学校、松本養護学校 【保育園・認定こども園】さくら保育園、渚保育園、のぼら保育園、今井保育園、寿保育園、みつば保育園、梓川西保育園、松本こども園、ささべ認定こども園 【幼稚園】信大附属幼稚園、松本幼稚園、青い鳥幼稚園
3 教職員等 右記学校・園の教職員、 保育士・幼稚園教諭等	「1 児童・生徒」及び「2 児童・生徒等の保護者」に掲載の学校・園 【高等学校】蟻ヶ崎高等学校、深志高等学校、松本工業高等学校、松商学園高等学校、エクセラン高等学校、むつみ高等学校
4 一般	市内に住民票のある18歳以上の方から2,000名を無作為抽出

※ 保育園・認定こども園、幼稚園、小学校、中学校、養護学校、高等学校は、前回調査との経年比較のため、同じ学校を抽出しています。

3 調査期間 令和7年12月1日から令和7年12月31日

4 調査方法

- (1) 児童・生徒、保護者、教職員の調査は電子回答フォームで行い、小学校、中学校の児童・生徒の調査は一人一台端末を使い、回答いただきました。
- (2) 一般の調査は郵送で調査用紙を送付し、電子又は紙のどちらでも回答できるようにしました。

5 回収状況

	配布数（単位：通）	有効回答数（単位：件）	有効回答率（単位：%）
児童・生徒	2,577 (1,299)	1,830 (1,020)	71.0 (78.5)
保護者	2,954 (1,641)	696 (1,266)	23.6 (77.1)
教職員	1,858 (1,479)	447 (1,101)	24.1 (74.4)
一般	2,000 (1,500)	735 (653)	36.8 (43.5)
合計	9,389 (5,919)	3,708 (4,040)	39.5 (68.3)

※ 括弧内は前回数値（令和2年度調査時）

6 調査結果の表示方法

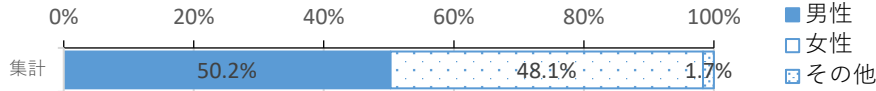
- (1) 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問、自由回答の設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 調査結果

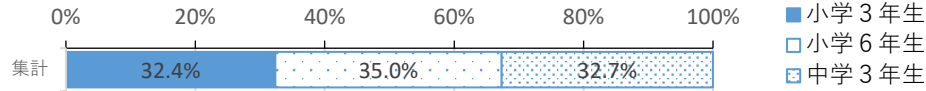
1 児童・生徒

(1) 回答者属性

ア 性別（問1） 回答者数 1,827



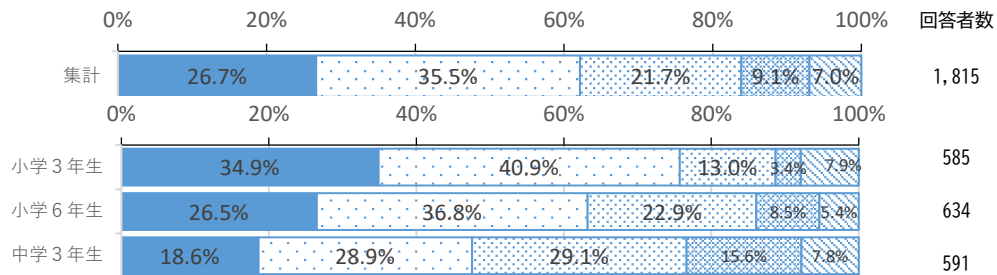
イ 学年（問2） 回答者数 1,825



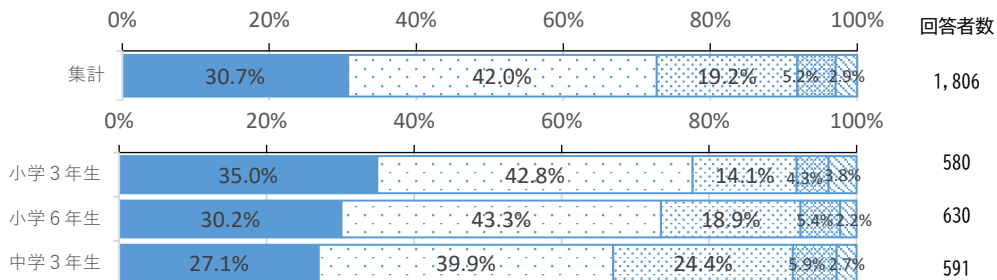
ウ 自己肯定感や自尊感情、心配ごとについて

問5-1 自分に自信がある

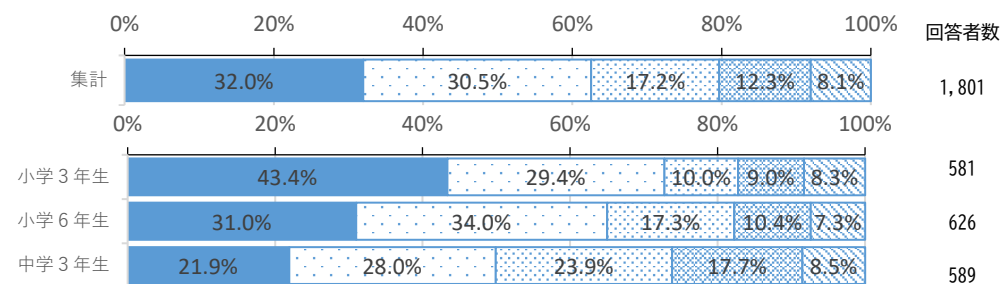
■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ▩ そう思わない ▪ わからない



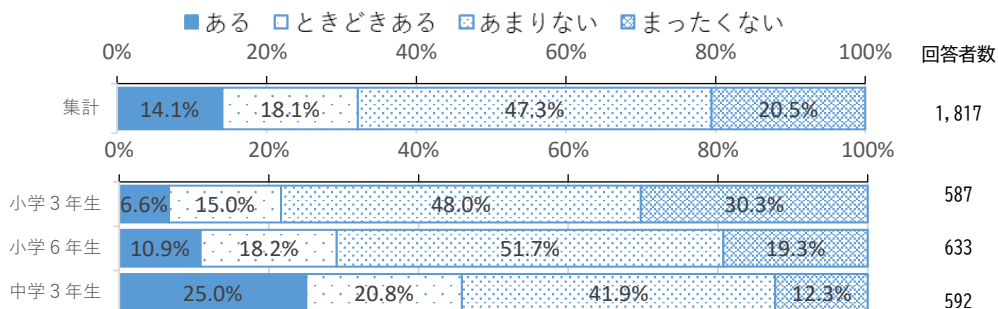
問5-2 いろいろなことに積極的に挑戦することができる



問5-3 自分のことが好き



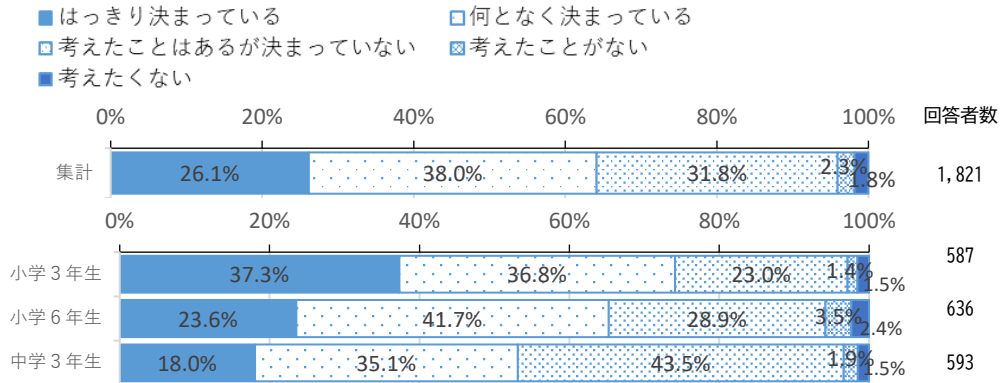
問23 心配ごとがある



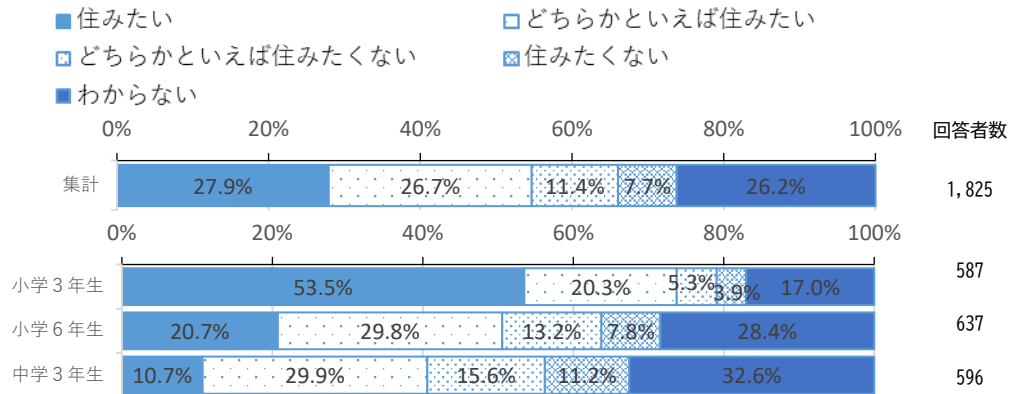
問24 心配ごとの内容（自由記述） 回答数 493

項目（主な内容）	割合：%
友人・人間関係（いじめ、けんかがある、嫌われていないか）	30.4
受験・進路（受験、進学先を決められない、進学先での生活に関して）	21.7
※「受験・進路」について、中学3年生のみで集計した場合の割合（回答数 245）	※41.6
学習・成績、授業内容（成績が悪い、授業・勉強が分からない、苦手な科目）	18.1
将来や人生（自分の将来、人生がどうなるか不安）	10.8
授業以外の学校生活（忘れ物をした、委員会の活動、発表のとき）	8.5
心身の健康や自分の性格、生活習慣（体調不良、ストレスがある）	6.7
家庭環境や家族との関係（家族のケガや病気、家族関係の悪化）	3.9
習い事（習い事がうまくいかない）	1.4
安全・災害など（地震、クマやイノシシが怖い、事故にあいそう）	1.2
その他（言いたくない、分からない、その他）	8.3

エ 将来やりたいこと（仕事や夢）がありますか（問30）

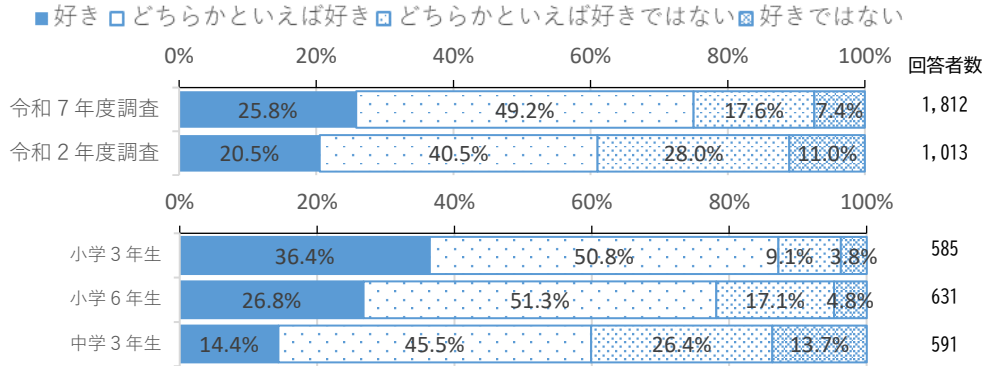


オ 将来、松本市に住みたいと思いますか（問31）

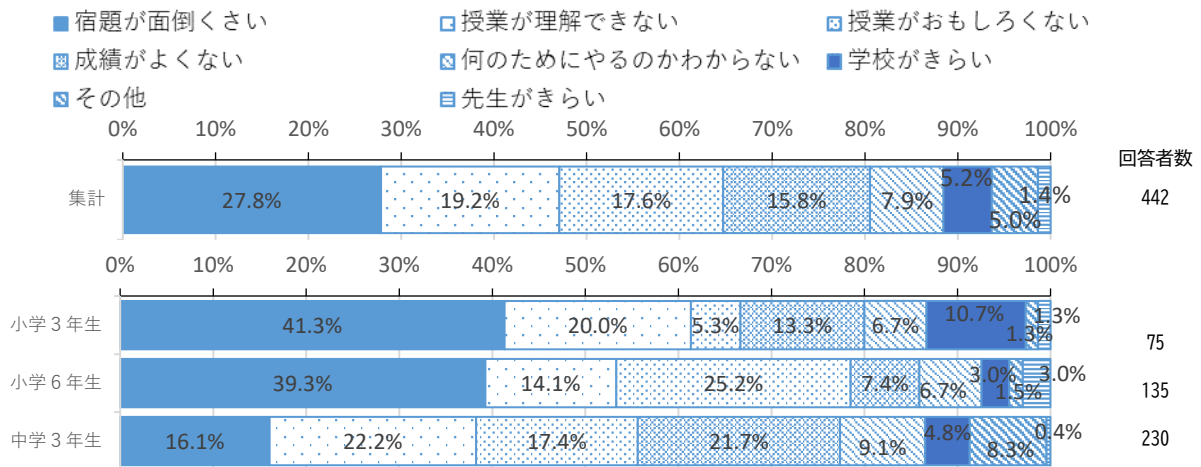


(2) 学習に関して

ア 学習することが好きですか（問9）

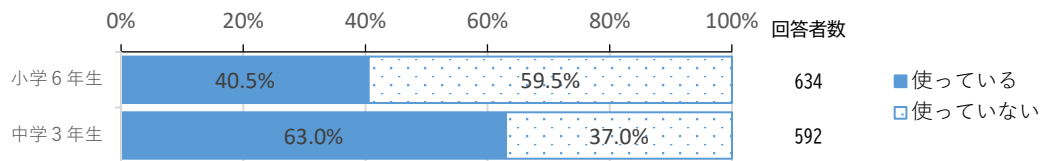


イ どうして学習することが好きではないのですか（問10 単一回答）

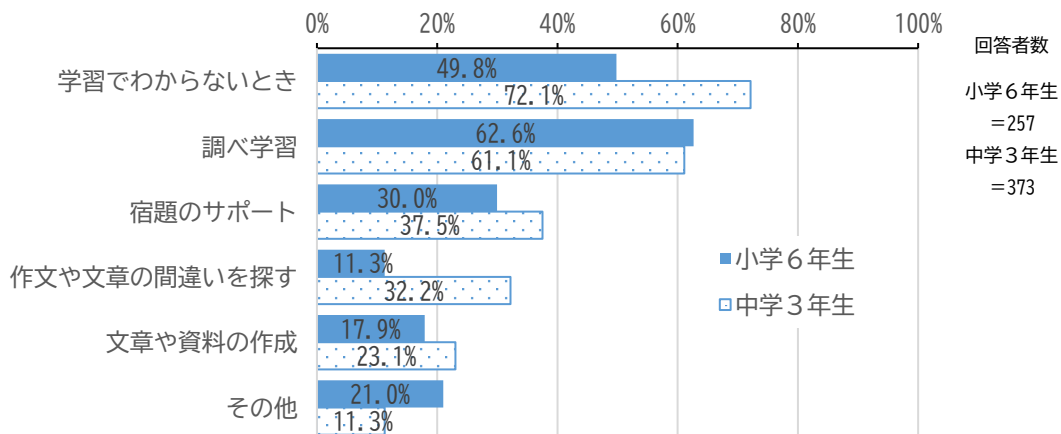


エ パソコンやタブレットを使うとき、AIを使っていますか（問21）

※小学6年生、中学3年生のみ

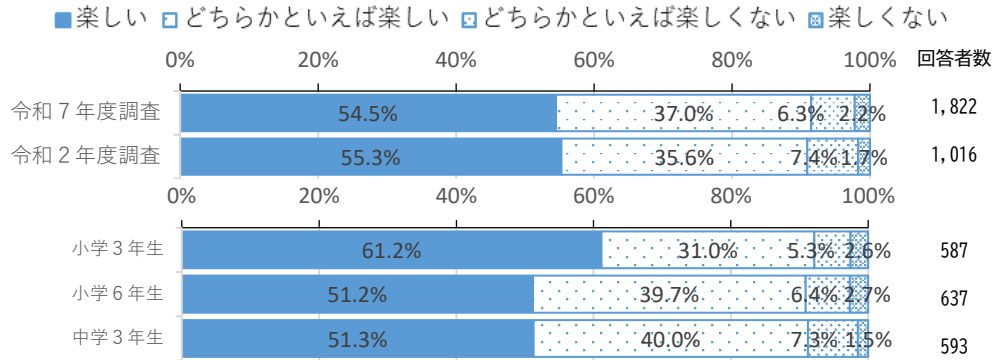


オ AIを使う時はどんな時ですか（問22 複数回答） ※小学6年生、中学3年生のみ

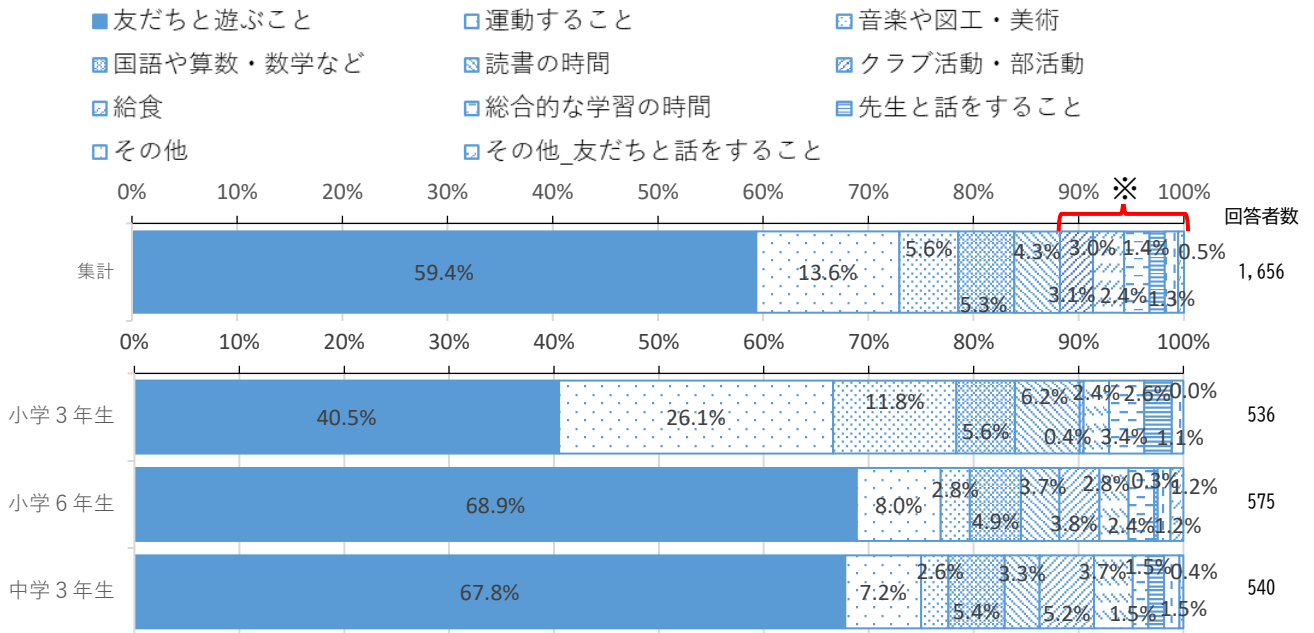


(3) 学校生活に関して

ア 学校が楽しいですか（問6）



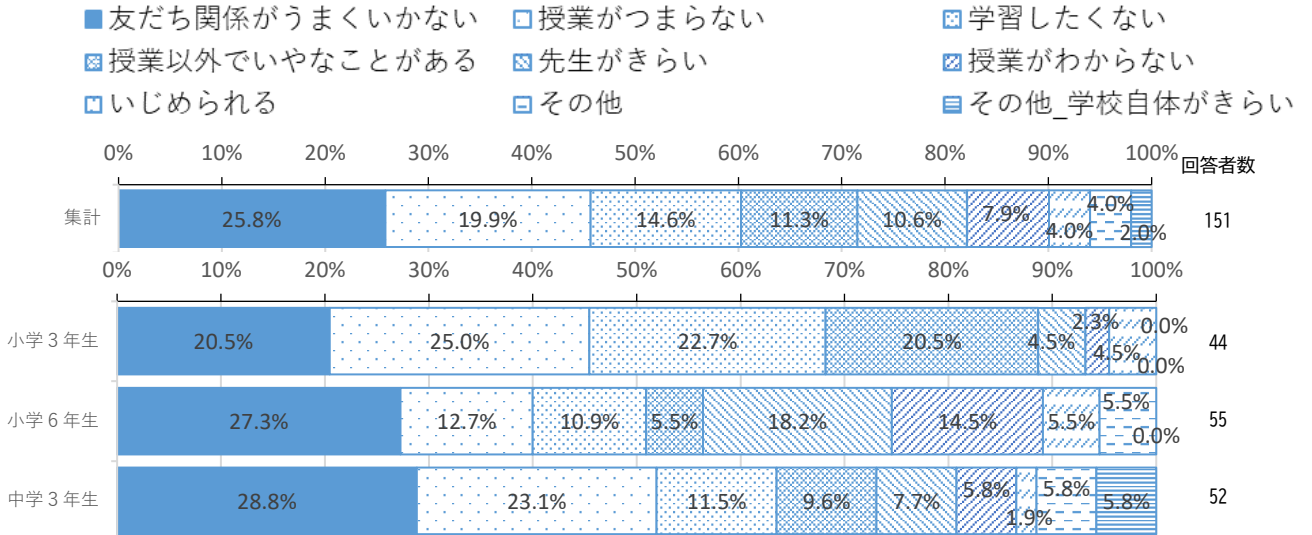
イ 学校で何をするのが楽しいですか（問7 単一回答）



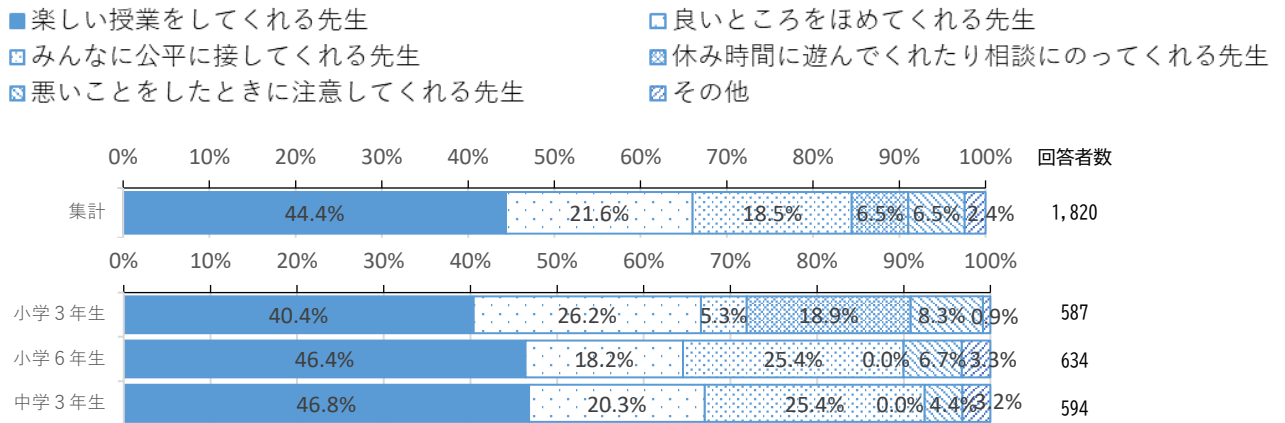
※ 回答割合上位6位以降の項目を再掲（単位：％）

学年	クラブ活動・部活動	給食	総合的な学習の時間	先生と話をすること	その他	その他_友だちと話をすること
全体	3.1	3.0	2.4	1.4	1.3	0.5
小学3年生	0.4	2.4	3.4	2.6	1.1	0.0
小学6年生	3.8	2.8	2.4	0.3	1.2	1.2
中学3年生	5.2	3.7	1.5	1.5	1.5	0.4

ウ どうして学校が楽しくないのですか（問8 単一回答）



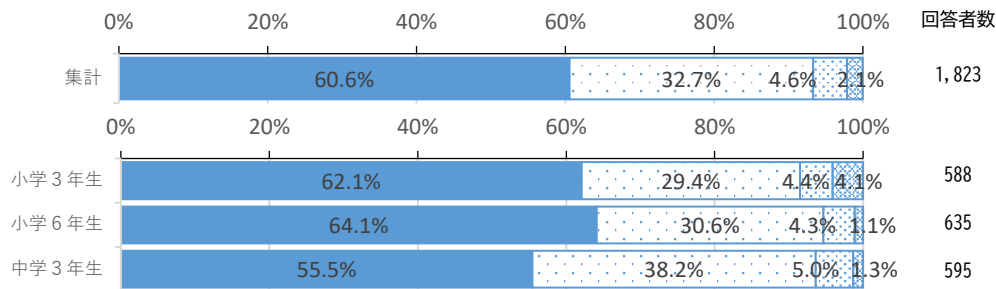
エ どんな先生が好きですか（問11 単一回答）



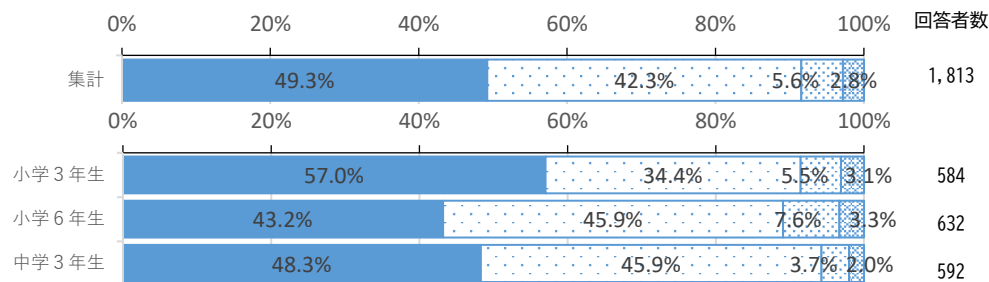
オ 友だち、先生との関係やクラスの雰囲気について

問1 2-1 友だちとの関係は良いか

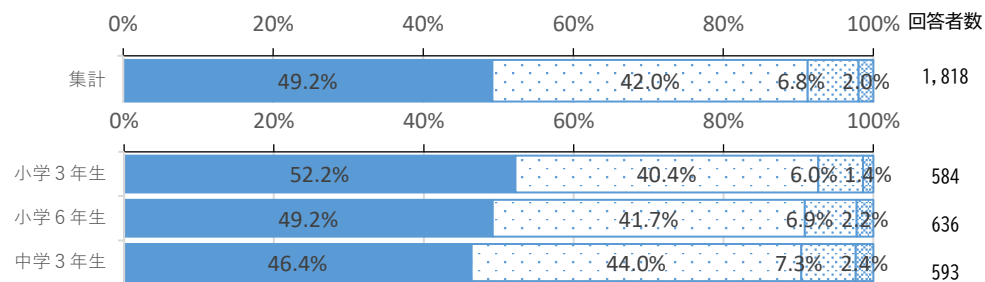
■ 良いと思う □ どちらかといえば良いと思う ▨ どちらかといえば良くないと思う ▩ 良くないと思う



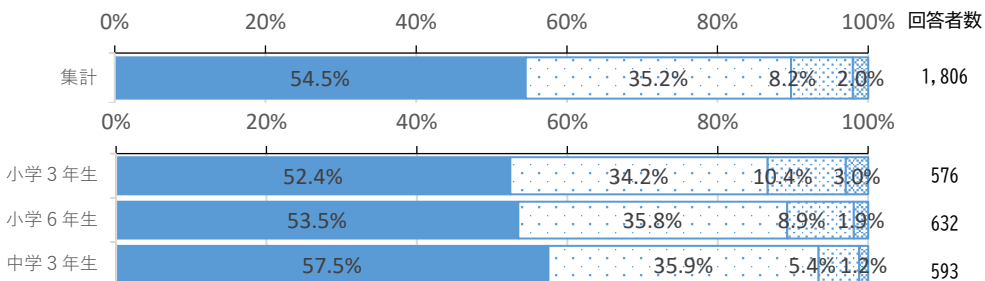
問1 2-2 先生との関係は良いか



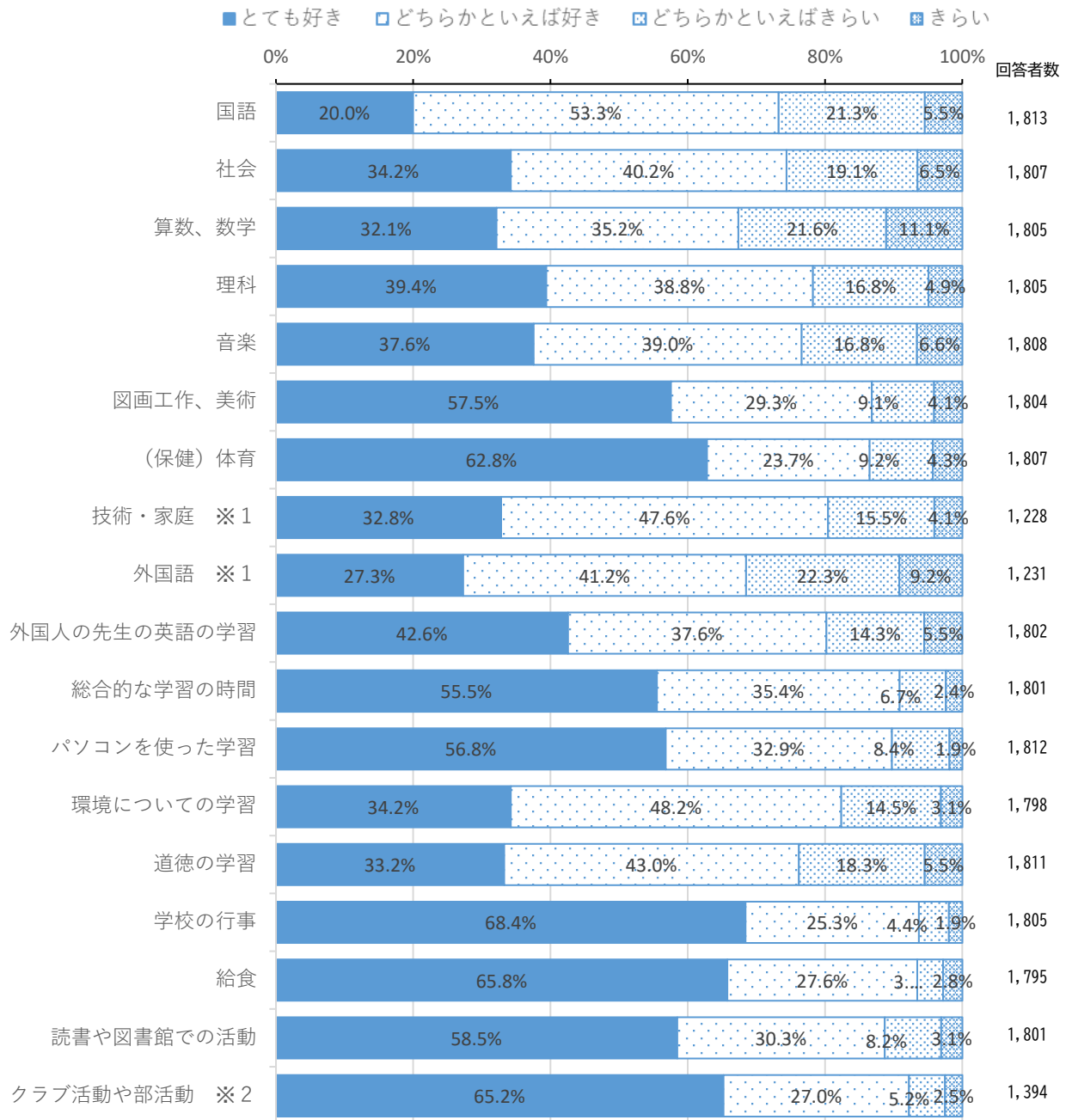
問1 2-3 学校の雰囲気は良いか



問1 2-4 クラスの雰囲気は良いか



カ 次の項目（科目等）について、どのくらい好きですか（問13 各項目について単一回答）

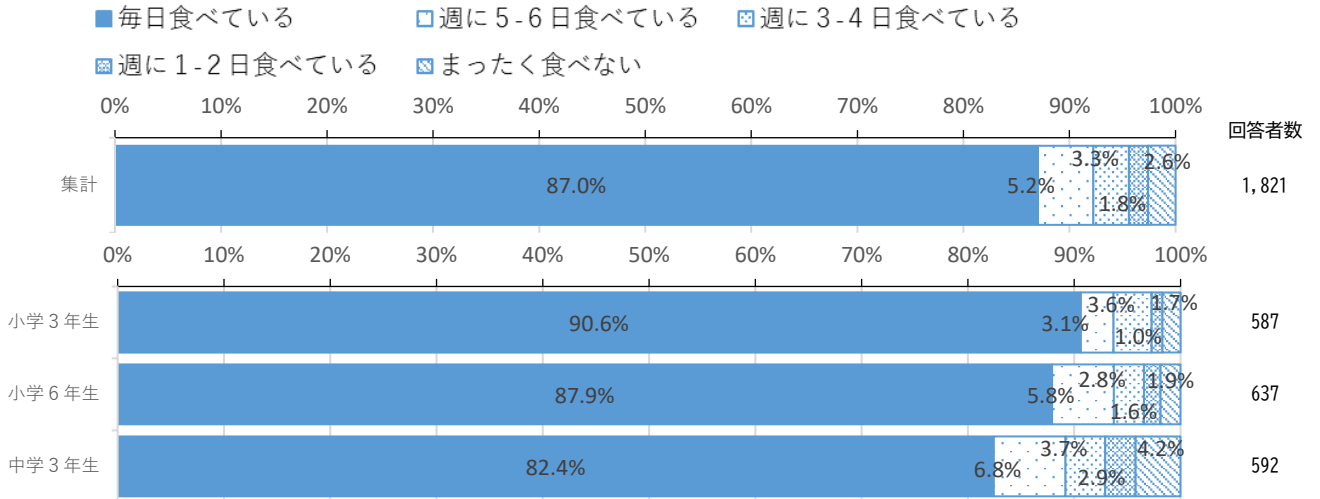


※1 小学6年生と中学3年生のみへの質問

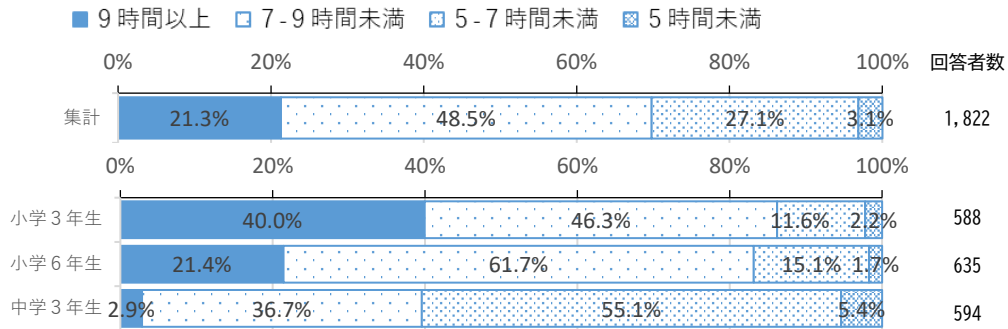
※2 クラブや部活動に入っている場合のみ回答

(4) 家庭など、学校以外での生活に関して

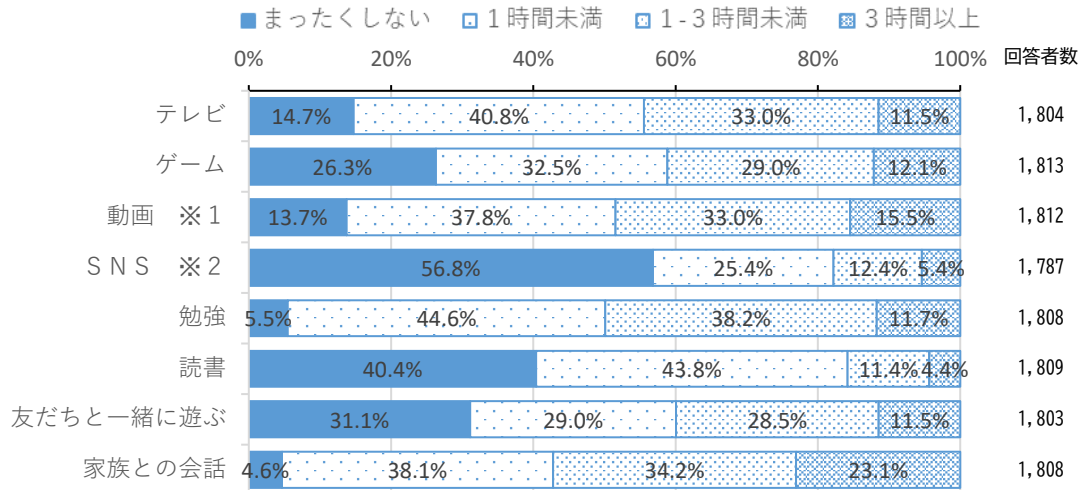
ア 朝食を食べていますか (問14)



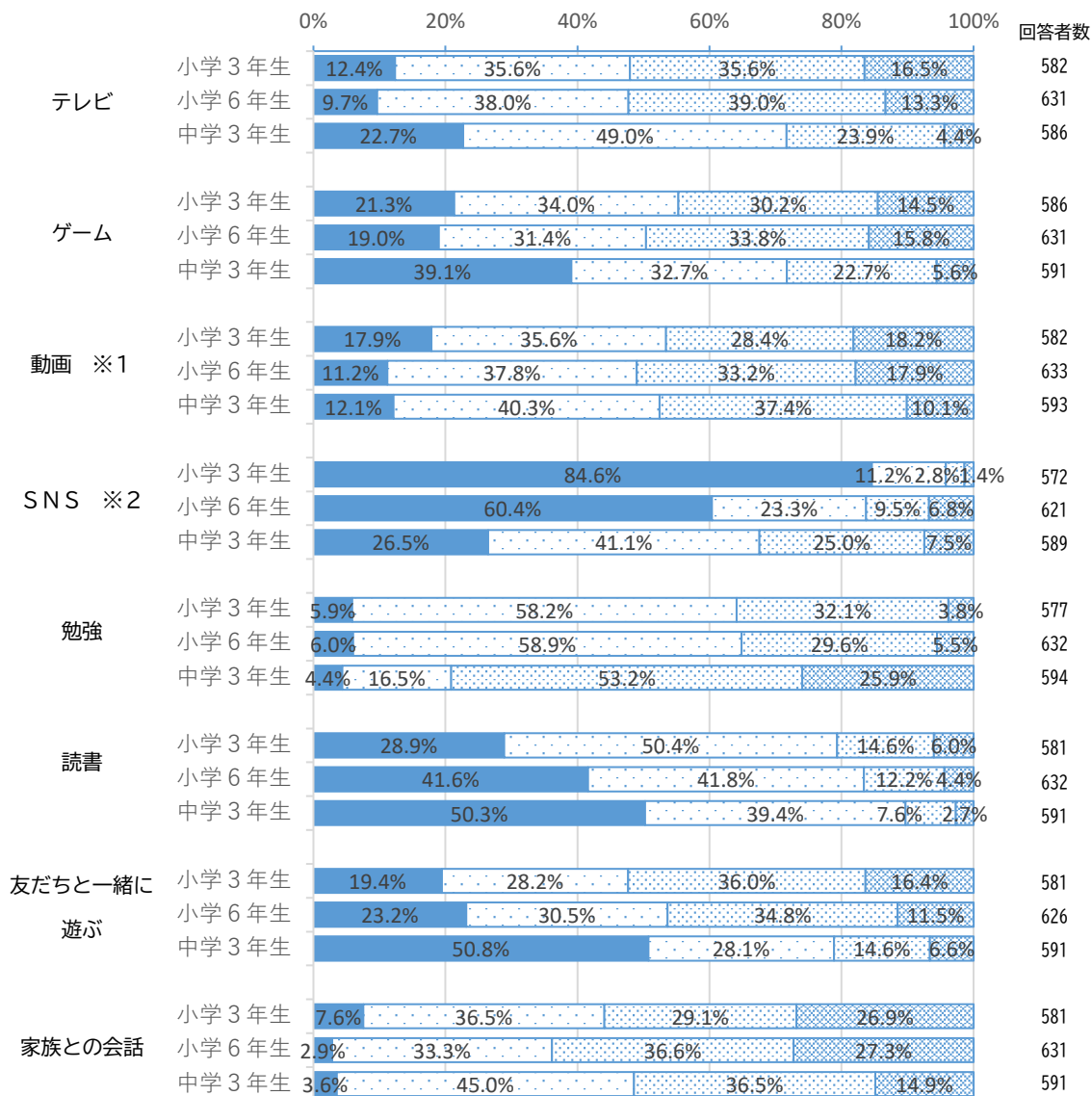
イ 睡眠時間は何時間ですか (問15)



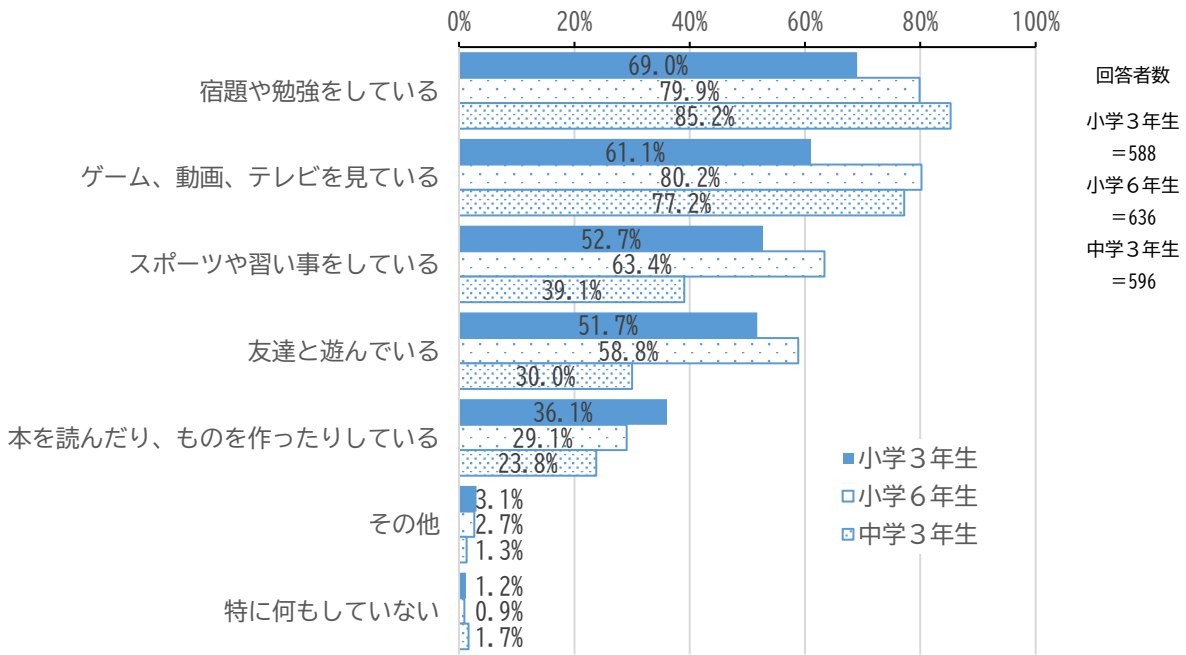
ウ 自宅での過ごし方について、平日1日あたりどれくらいしていますか（問16）



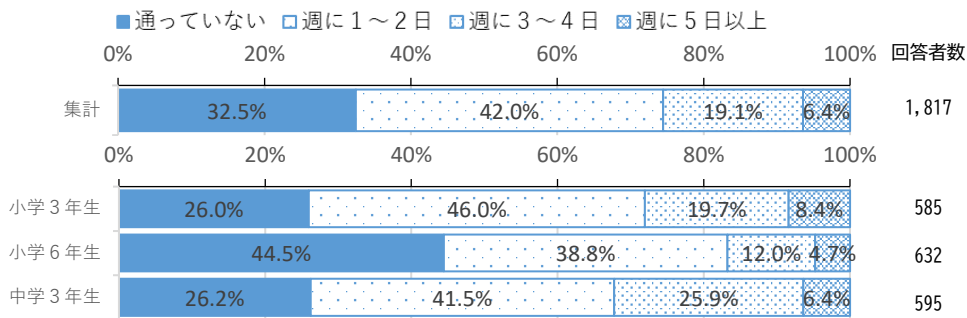
※1 YouTube等 ※2 インスタグラム、ライン、エックス等



エ 放課後はどんな過ごし方をしていますか（問17 複数回答）

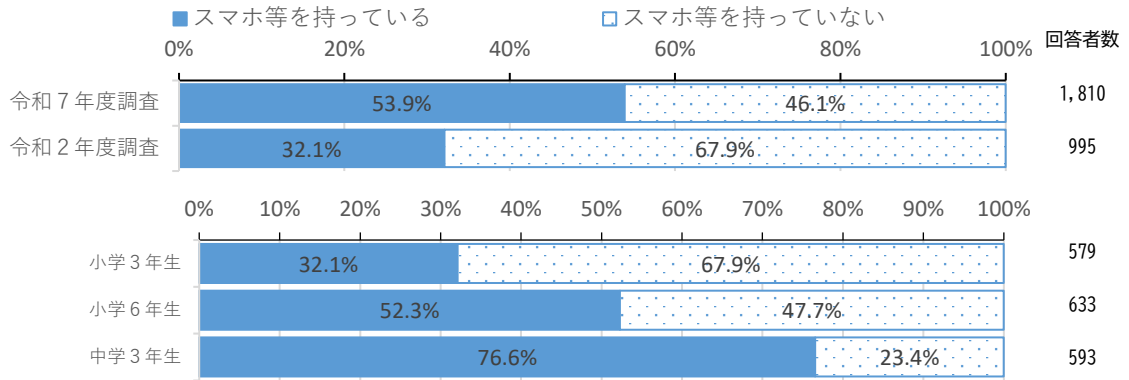


オ 学習塾（家庭教師を含む）や習い事に通っていますか（問18）

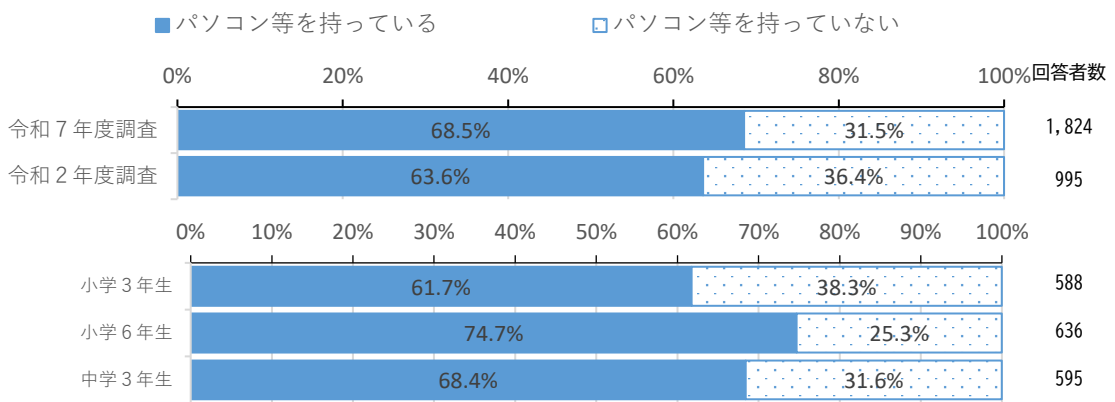


カ 自分の電子機器（携帯電話やスマホ、パソコンやタブレット等）を持っていますか

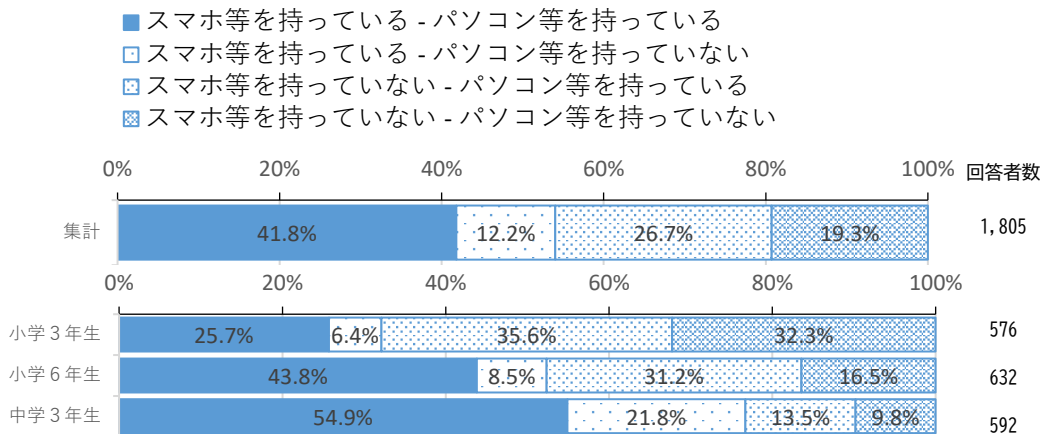
問19 自分の携帯電話やスマホを持っていますか



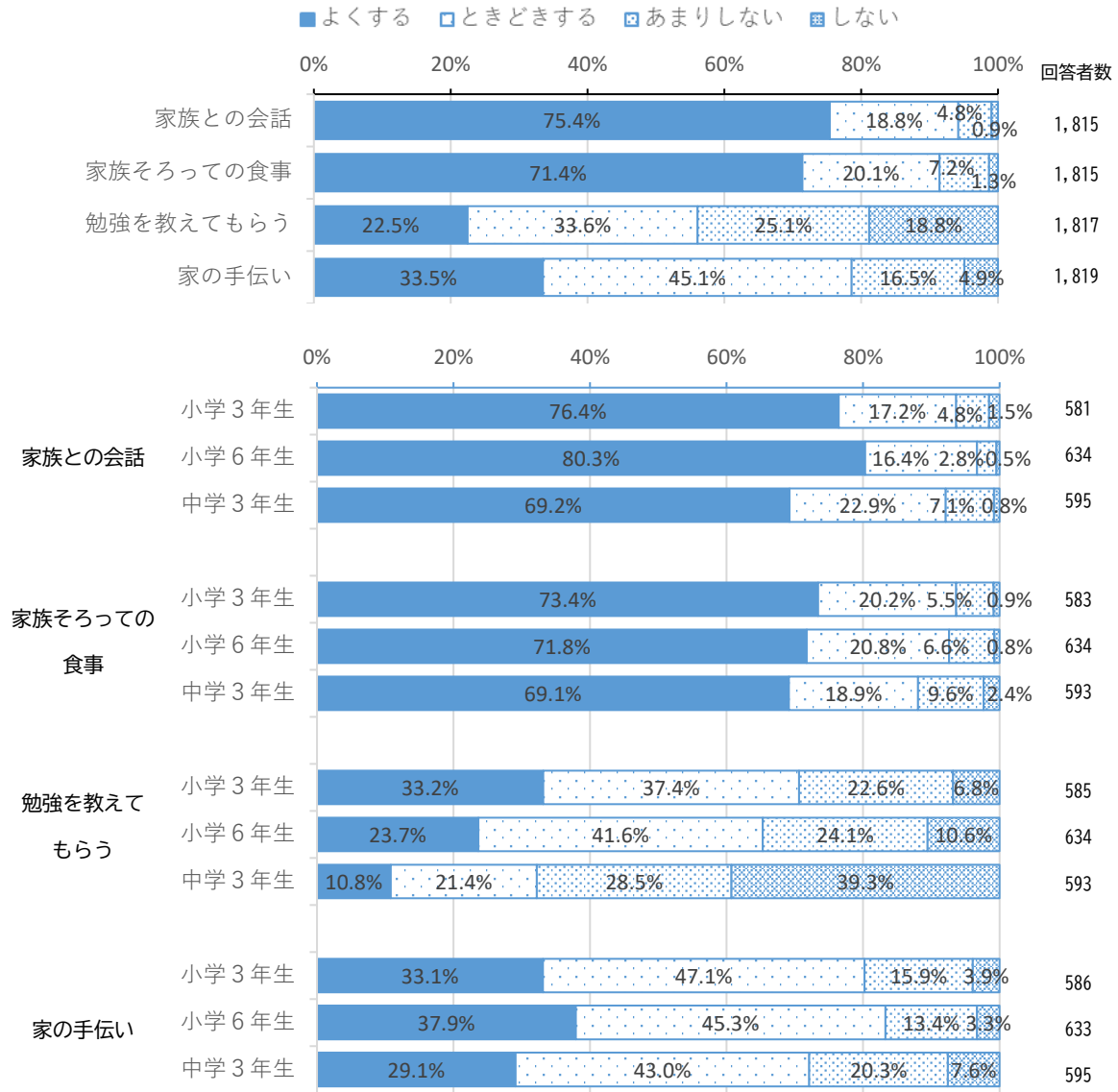
問20 自分のパソコンやタブレット、小型ゲーム機を持っていますか（学校で使う機器を除く）



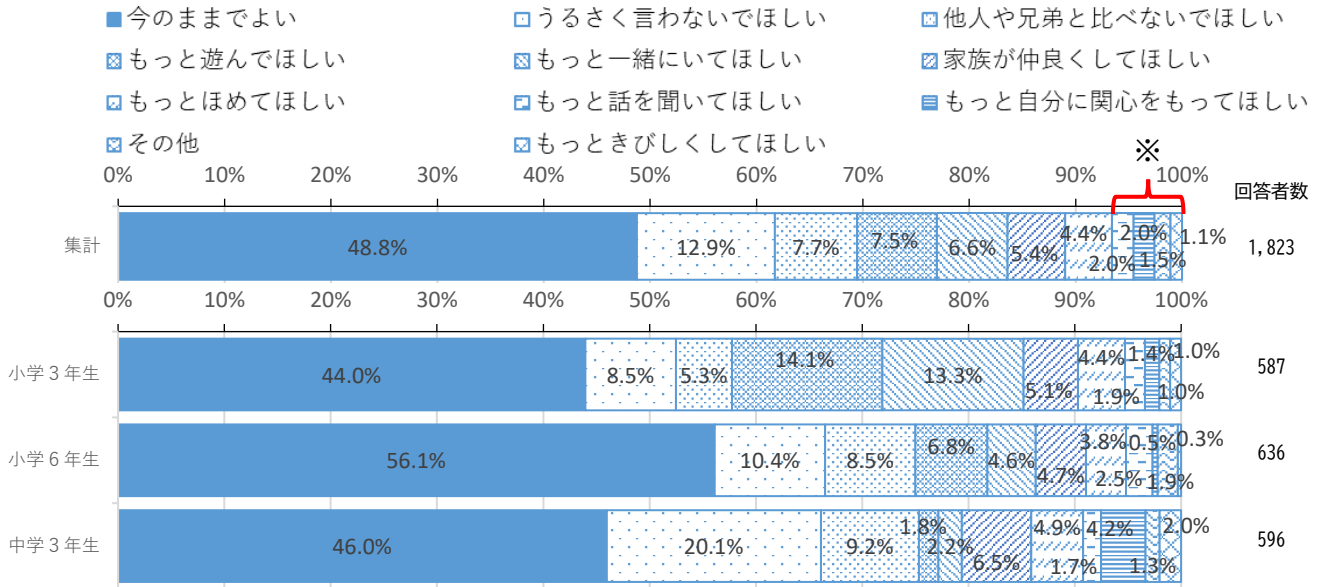
問19と問20のクロス集計



キ 家庭のなかで、次の項目についてどれくらいしていますか（問25 各項目について単一回答）



ク 親や家族にしてほしいことは何ですか（問26 単一回答）

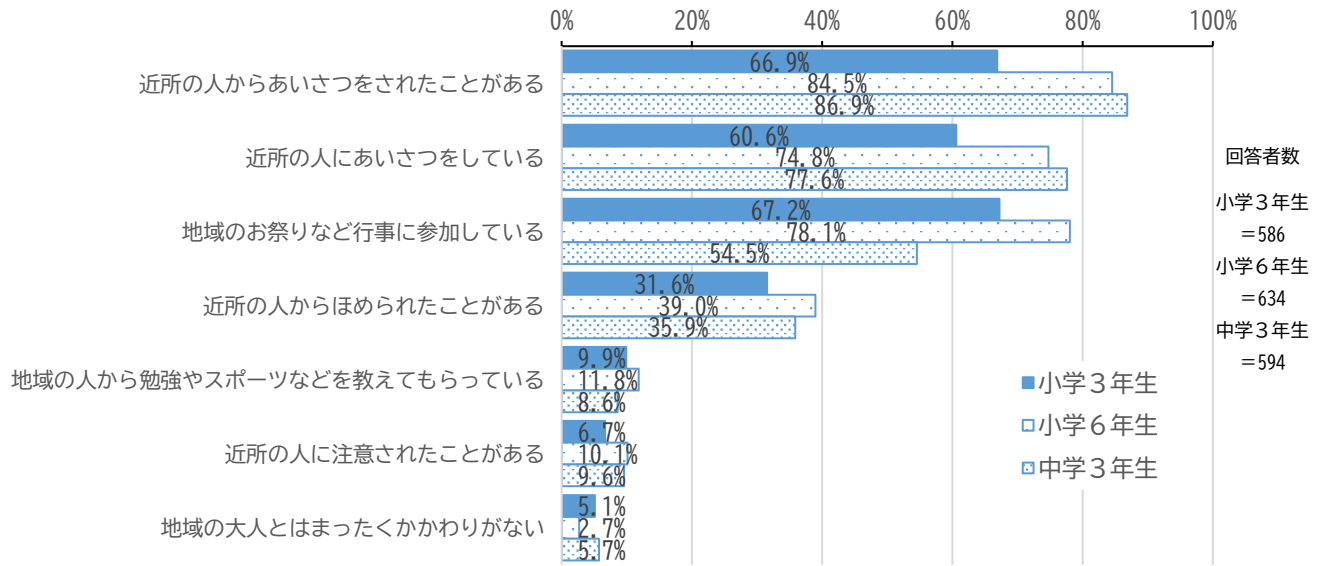


※ 回答割合上位8位以降の項目を再掲（単位：％）

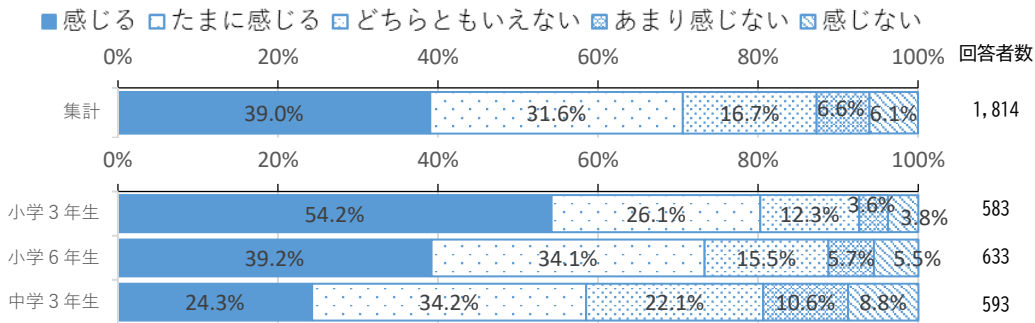
学年	もっと話を聞いてほしい	もっと自分に関心を持ってほしい	その他	もっときびしくしてほしい
全体	2.0	2.0	1.5	1.1
小学3年生	1.9	1.4	1.0	1.0
小学6年生	2.5	0.5	1.9	0.3
中学3年生	1.7	4.2	1.3	2.0

(5) 地域に関して

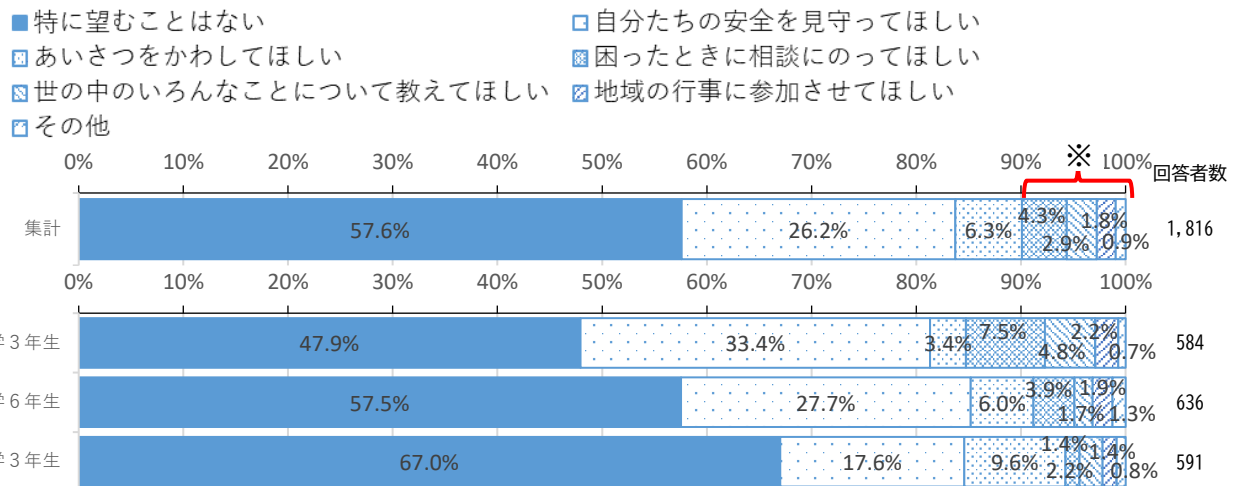
ア 地域で次のような経験がありますか (問27 複数回答)



イ 地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか (問28 単一回答)



ウ 地域の大人に望むことは何ですか (問29 単一回答)

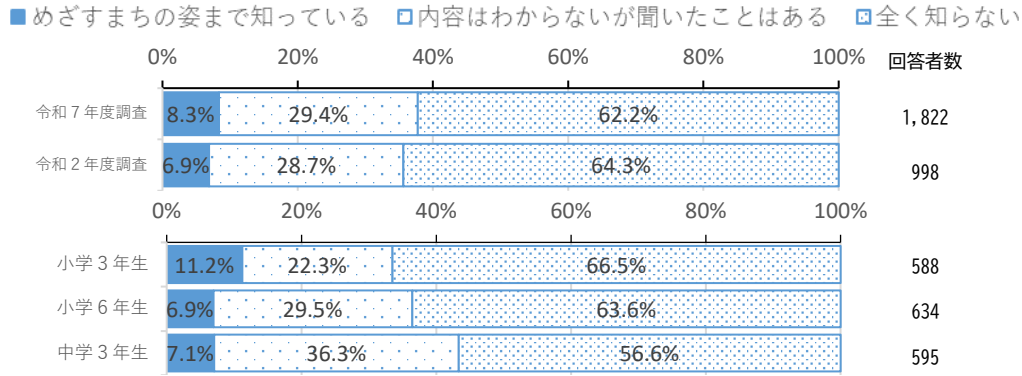


※ 回答割合上位4位以降の項目を再掲 (単位：%)

学年	困ったときの相談にのってほしい	世の中のいろんなことについて教えてほしい	地域の行事に参加させてほしい	その他
全体	4.3	2.9	1.8	0.9
小学3年生	7.5	4.8	2.2	0.7
小学6年生	3.9	1.7	1.9	1.3
中学3年生	1.4	2.2	1.4	0.8

(6) 学都松本、その他に関して

ア 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか（問32）



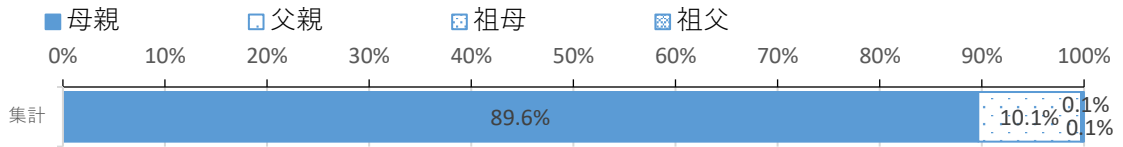
イ 学校や家庭、地域のことで、あなたが、日頃、感じていることを自由に書いてください（問33 自由記述） 回答数 724

項目（主な内容）
日々の生活、学校、暮らしが楽しい
家族や友人、先生への感謝（優しさ、愛情を感じる）
地域住民による見守りやあいさつへの感謝（見守ってくれていると感じる）
学校の生活や設備への要望・不満（体育館や校庭などを広くしてほしい、バリアフリー化を進めてほしい、校則が厳しい、先生に対する不満 など）
地域社会や環境への要望・不満（あいさつをしない人、ごみをポイ捨てする人がいる、行事やイベントに関する要望 など）
人間関係に関する悩み（けんかやいじめがある、人間関係が難しい など）
勉強・受験などへの不安、負担を感じる（宿題を少なくしてほしい、頑張らなければいけないと感じる など）
家庭内での悩み（けんかをしないでほしい、きょうだいと比べないでほしい など）
安全・防犯面の不安（交通ルールが守られない、治安が悪い、クマの出没 など）
その他（気候、記入時の気分 など）

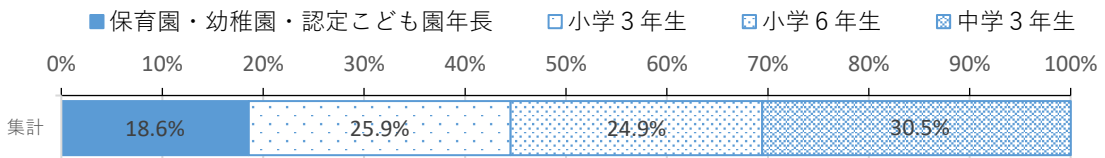
2 保護者

(1) 回答者属性

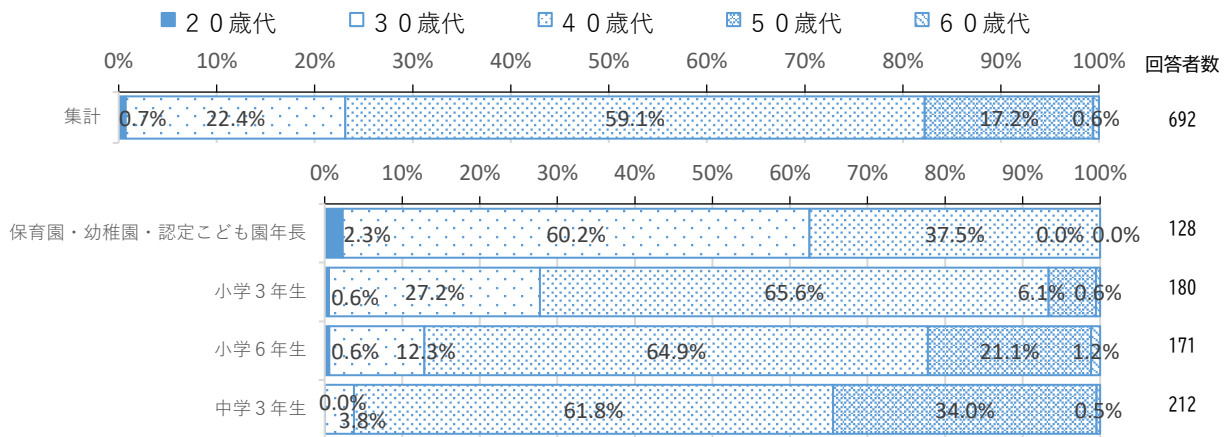
ア (調査対象の) お子さんとの続柄 (問1) 回答者数 694



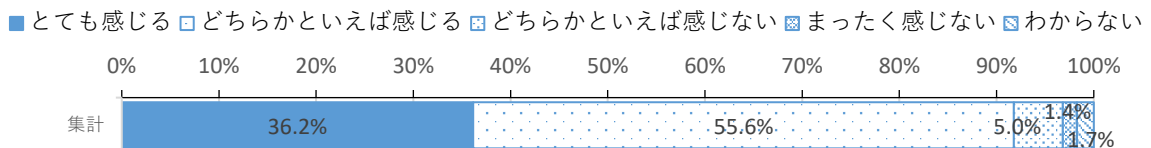
イ (調査対象の) お子さんの学年 (問2) 回答者数 694



ウ 年代 (問6)



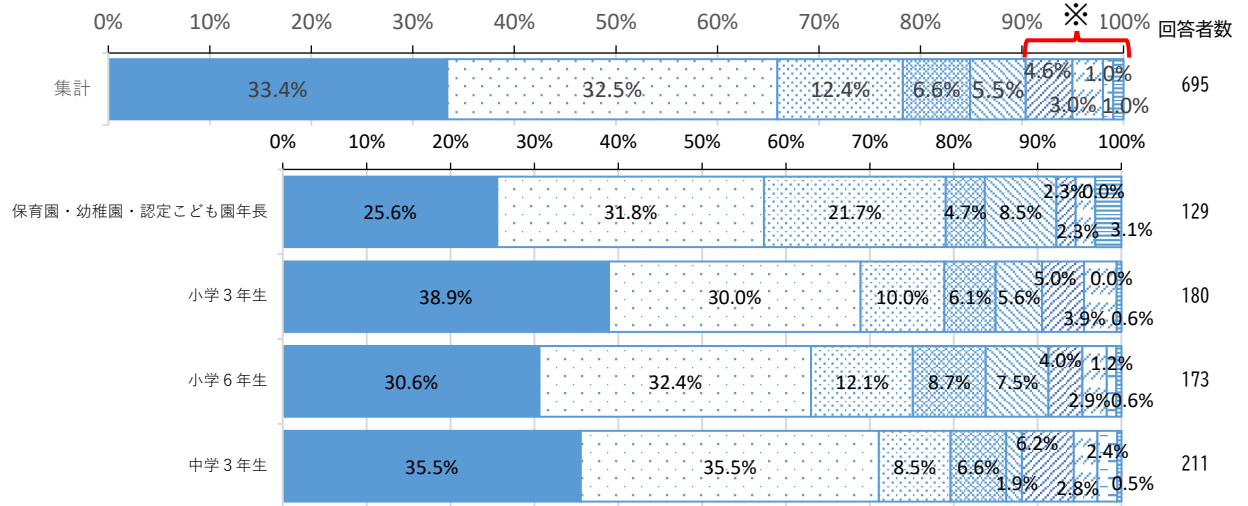
エ 松本市に親しみや愛着を感じますか (問7) 回答者数 694



(2) 子どもの教育に関して

ア 幼児教育の充実には、どのような取組みが必要だと思いますか（問11 単一回答）

- 発達状況に応じたきめ細かな対応
- 「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実
- ▨ 今のままで良い
- ▨ 保育士・幼稚園教諭の資質及び専門性の向上
- ▨ 幼児教育と小学校教育との連携
- ▨ 親育ちの場の充実
- ▨ 地域人材の活用等地域の支援
- ▨ つどいの広場の充実
- ▨ その他

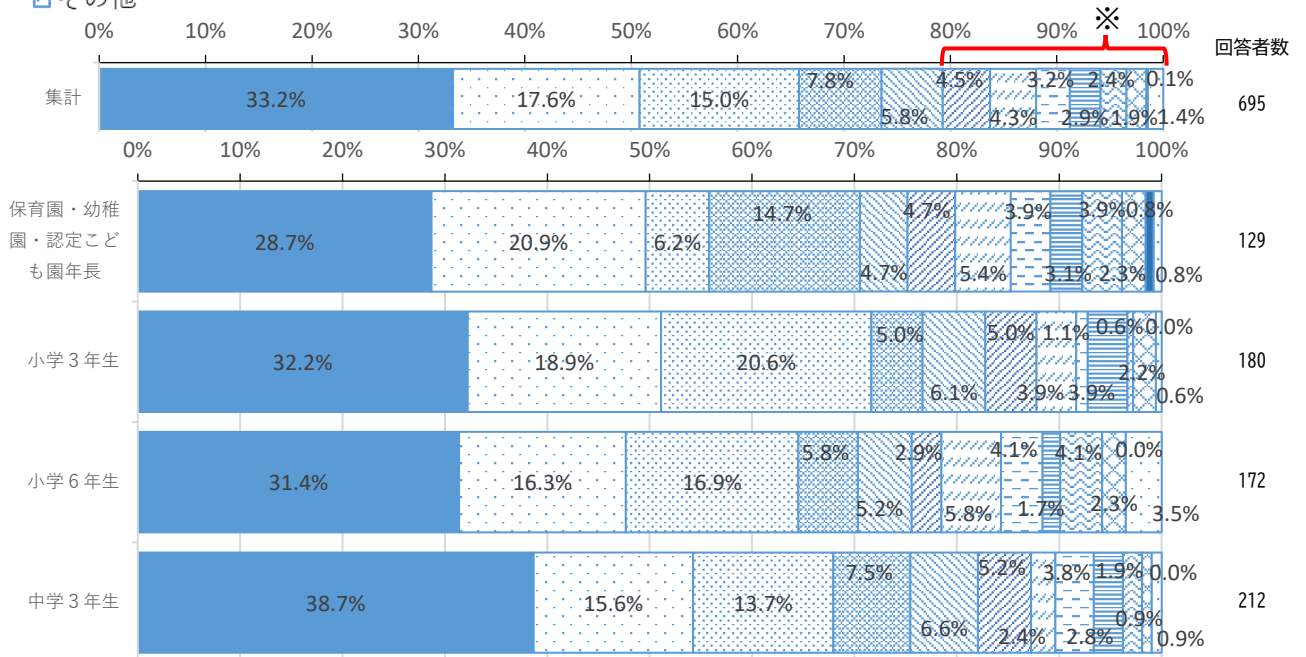


※ 回答割合上位6位以降の項目を再掲（単位：％）

学年	親育ちの場の充実	地域人材の活用等地域の支援	つどいの広場の充実	その他
全体	4.6	3.0	1.0	1.0
年長	2.3	2.3	0.0	3.1
小学3年生	5.0	3.9	0.0	0.6
小学6年生	4.0	2.9	1.2	0.6
中学3年生	6.2	2.8	2.4	0.5

イ 子どもの教育について、関心のあることは何ですか（問10 単一回答）

- 主体的に学ぶ力
- ▨ 子どもの道徳心や規範意識
- ▨ 子どもの基礎学力
- ▨ 子どもの基本的な生活習慣
- ▨ 教職員の指導力や専門性
- ▨ 家庭でのコミュニケーション
- ▨ 子どものいじめ問題
- ▨ 学校・家庭・地域の連携
- ▨ 家庭でのしつけ・教育
- ▨ 子どもの体力
- ▨ 地域での子育て・教育
- 学校の施設・設備
- ▨ その他

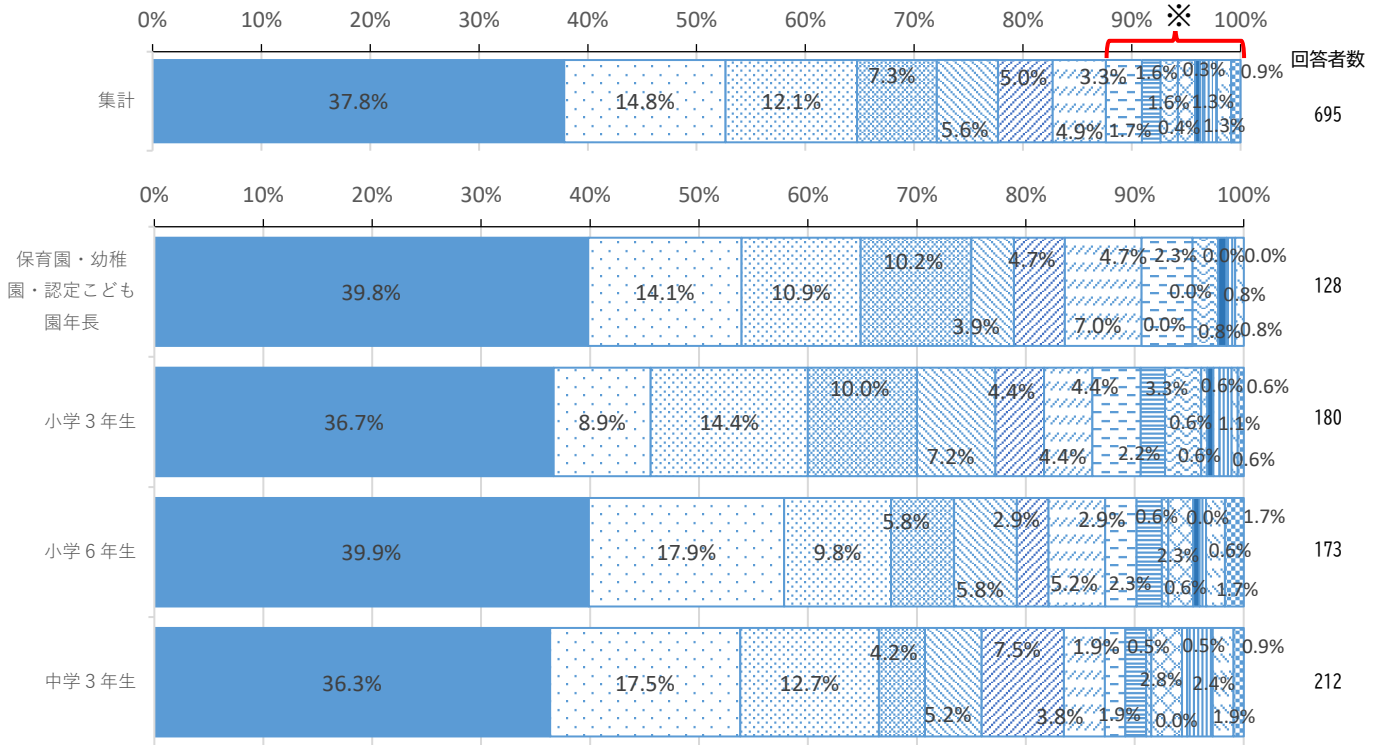


※ 回答割合上位6位以降の項目を再掲（単位：％）

学年	家庭でのコミュニケーション	子どものいじめ問題	学校・家庭・地域の連携	家庭でのしつけ・教育	子どもの体力	地域での子育て・教育	学校の施設・設備	その他
全体	4.5	4.3	3.2	2.9	2.4	1.9	0.1	1.4
年長	4.7	5.4	3.9	3.1	3.9	2.3	0.8	0.8
小学3年生	5.0	3.9	1.1	3.9	0.6	2.2	0.0	0.6
小学6年生	2.9	5.8	4.1	1.7	4.1	2.3	0.0	3.5
中学3年生	5.2	2.4	3.8	2.8	1.9	0.9	0.0	0.9

ウ 松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか（問13 単一回答）

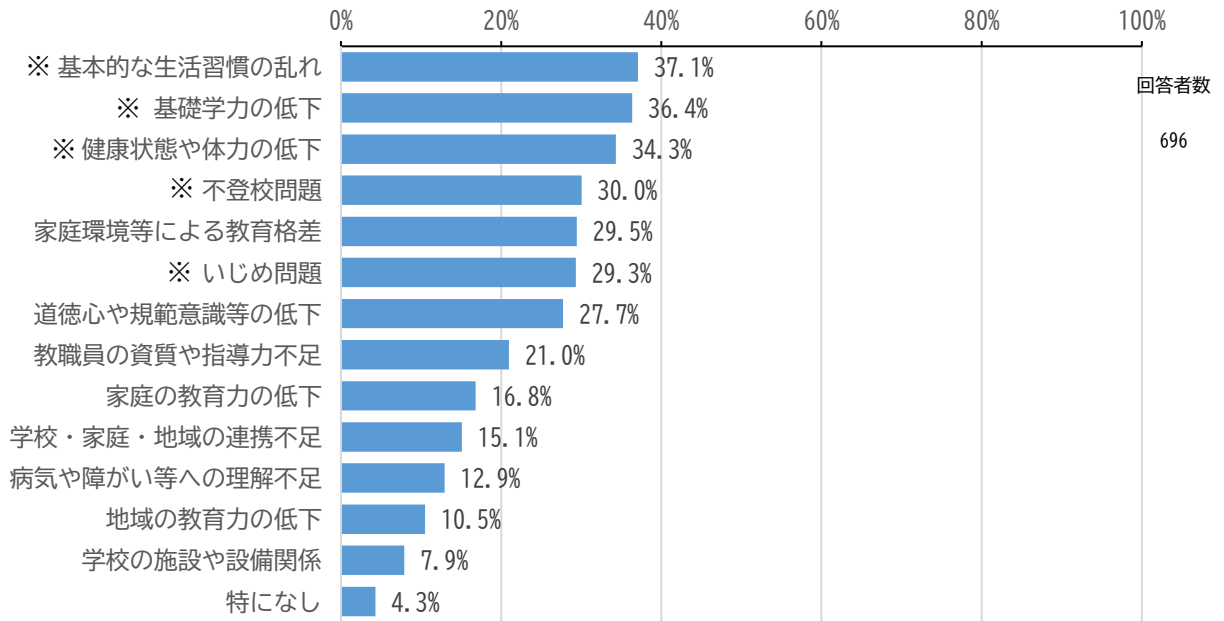
- 思いやりや、優しさを持った子ども
- ▣ ルールやマナーを守る子ども
- ▣ 創造性が豊かな子ども
- ▣ 自分の意見をはっきりと言える子ども
- ▣ ふるさとを愛する子ども
- ▣ 責任感を持った子ども
- ▣ 本（読書）が好きな子ども
- ▣ その他
- ▣ 向上心やチャレンジ精神のある子ども
- ▣ 健康で活発な子ども
- ▣ 夢を持っている子ども
- ▣ 努力できる子ども
- ▣ 意欲的に学習する子ども
- ▣ リーダーシップのある子ども
- ▣ 特にない
- ▣ わからない



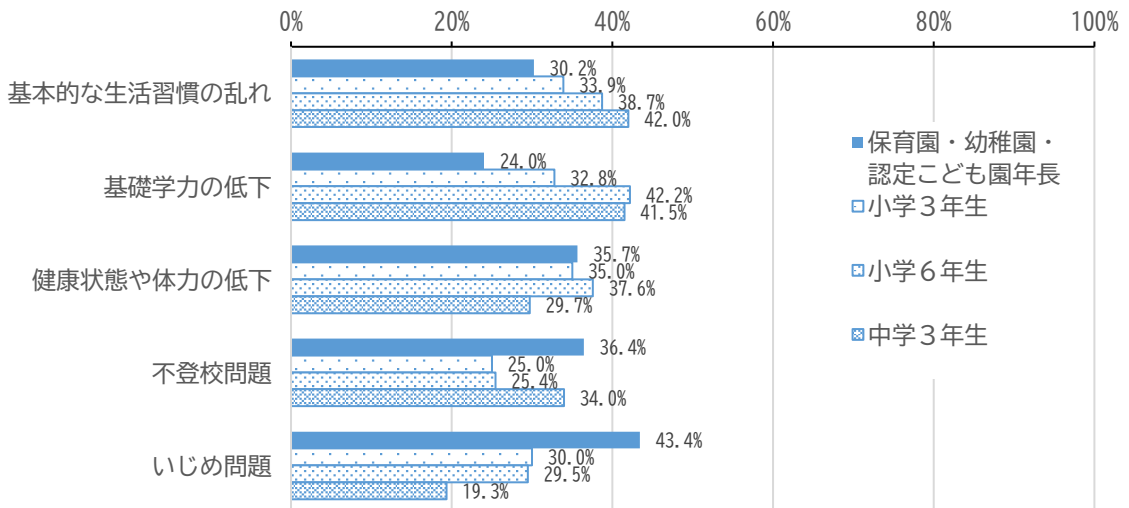
※ 回答割合上位8位以降の項目を再掲（単位：％）

学年	努力できる子ども	ふるさとを愛する子ども	意欲的に学習する子ども	責任感を持った子ども	リーダーシップのある子ども	本（読書）が好きな子ども	特にない	その他	わからない
全体	3.3	1.7	1.6	1.6	0.4	0.3	1.3	1.3	0.9
年長	4.7	0.0	2.3	0.0	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0
小学3年生	4.4	2.2	3.3	0.6	0.6	0.6	1.1	0.6	0.6
小学6年生	2.9	2.3	0.6	2.3	0.6	0.0	0.6	1.7	1.7
中学3年生	1.9	1.9	0.5	2.8	0.0	0.5	2.4	1.9	0.9

エ 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか（問15 複数回答）



※ 学年によって回答に差がある主な項目

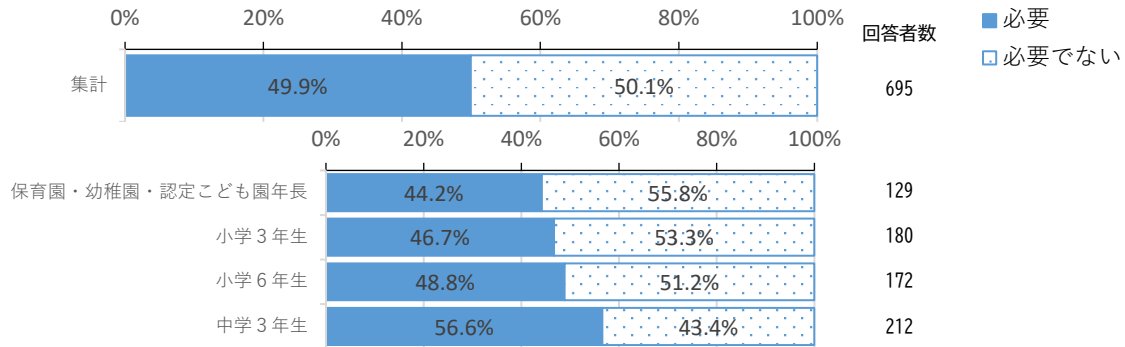


学年	回答者数	基本的な生活習慣の乱れ	基礎学力の低下	健康状態や体力の低下	不登校問題	家庭環境等による教育格差	いじめ問題	道徳心や規範意識等の低下	教職員の資質や指導力不足	家庭の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携不足	病気や障がい等への理解不足	地域の教育力の低下	学校の施設や設備関係	特になし
保育園・幼稚園・認定こども園年長	129	30.2	24.0	35.7	36.4	33.3	43.4	34.1	20.2	14.7	18.6	17.1	10.1	9.3	6.2
小学3年生	180	33.9	32.8	35.0	25.0	32.2	30.0	25.0	20.6	21.7	18.3	8.3	12.8	6.7	4.4
小学6年生	173	38.7	42.2	37.6	25.4	26.6	29.5	24.9	20.2	12.7	10.4	13.9	8.1	6.4	4.6
中学3年生	212	42.0	41.5	29.7	34.0	26.9	19.3	28.3	22.2	17.0	13.7	13.7	10.4	9.0	2.8

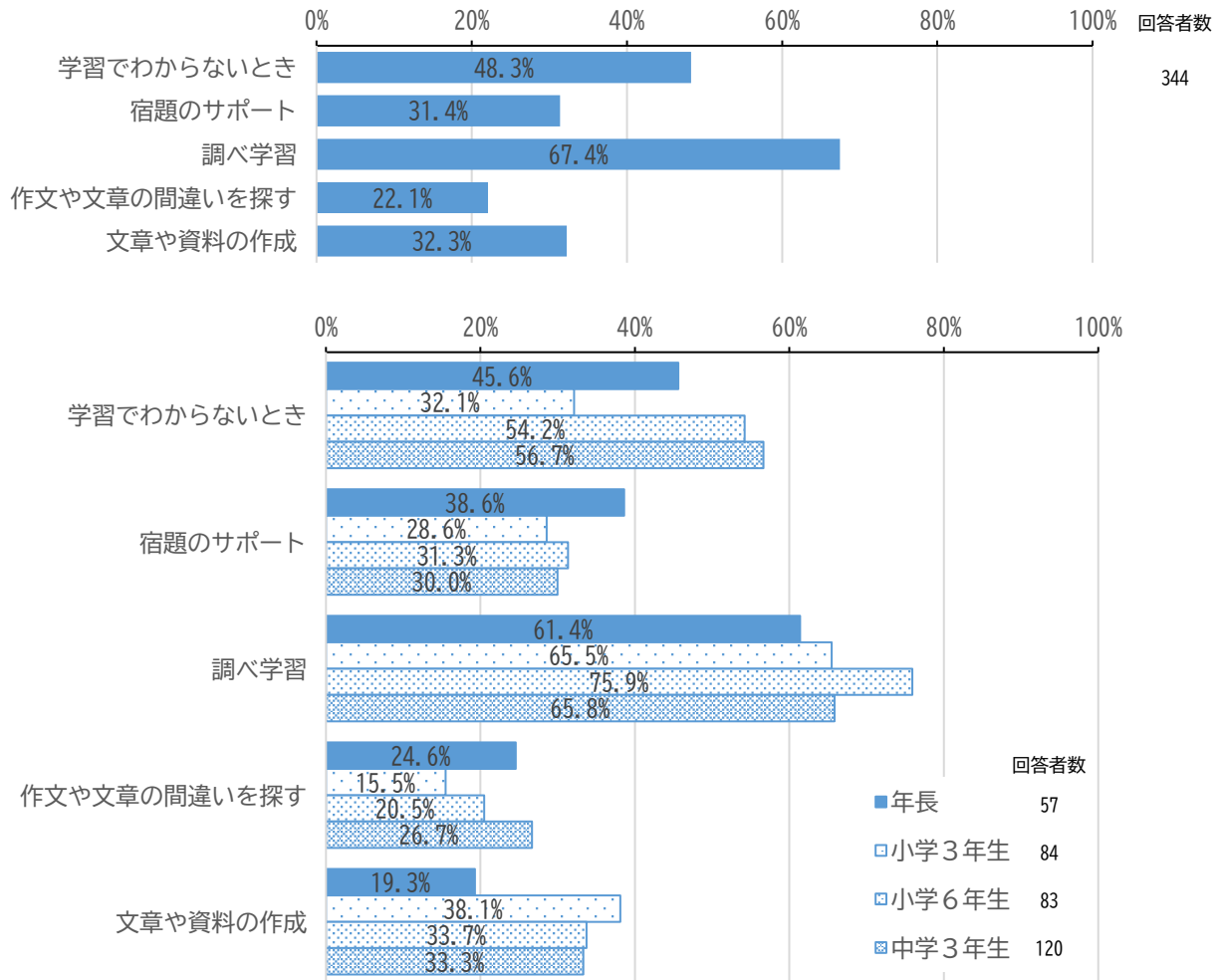
回答割合の上位3項目を着色（単位：％）

オ 子どもの学びにA I※は必要だと思いますか（問16）

※ A Iとは、人工知能（Artificial Intelligence）の略で、コンピューターが人間のように学習、推論、判断を行う技術です。ChatGPT、Gemini など



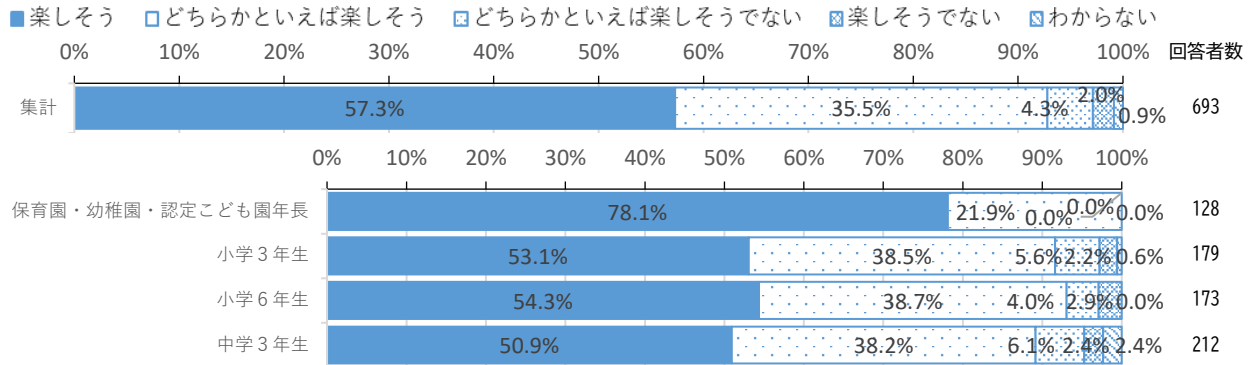
カ A Iはどういった用途で使うのが好ましいと思いますか（問17 複数回答）



(3) お子さんの通う学校等に関して

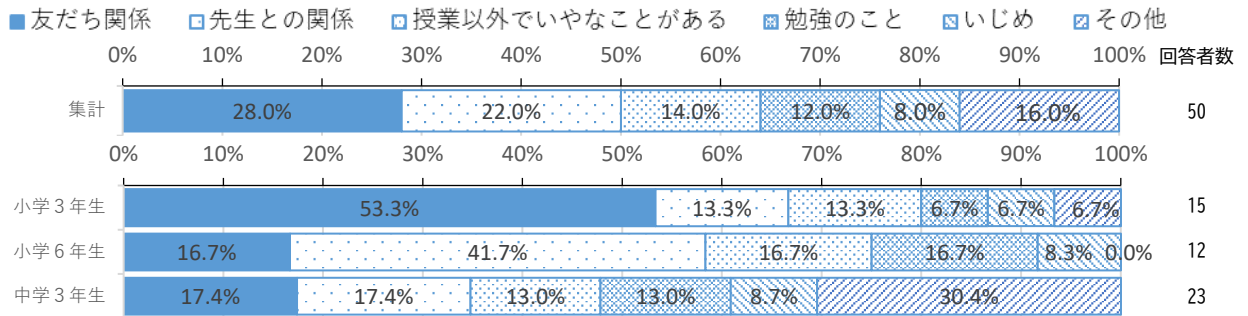
※学校等…教育支援センター・保育園・幼稚園等を含みます。

ア お子さんの学校等での様子はどうか（問8）



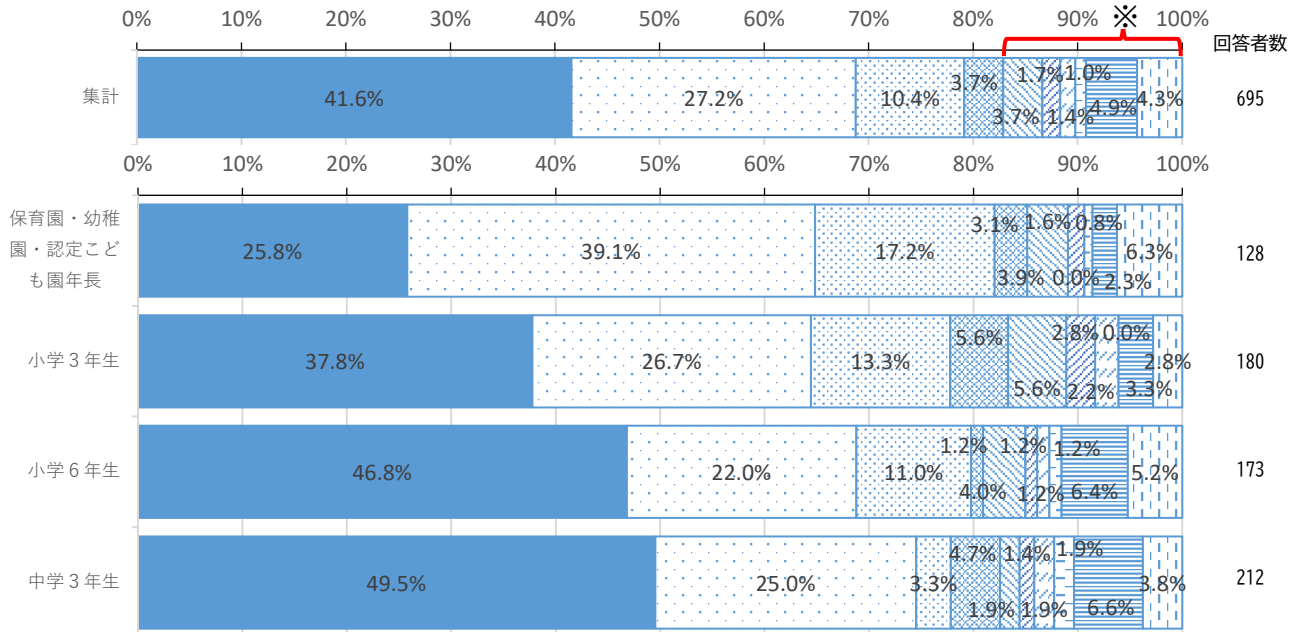
イ 学校等が楽しそうでないといった理由は何だと思えますか（問9 単一回答）

※ 問8で「どちらかといえば楽しそうでない」「楽しそうでない」「わからない」と回答した方への質問



ウ 学校等に対して何を望みますか（問10 単一回答）

- 授業を充実してほしい
- ▨ 普段の授業風景をみたい
- ▨ 保護者等がボランティアとして学校等を支援する仕組みをつくってほしい
- ▨ その他_教育の充実
- ▨ その他
- ▨ 学校等での出来事など情報を提供してほしい
- ▨ 学校等の施設を地域に開放してほしい
- ▨ 学校等の教育方針を説明してほしい
- ▨ その他_学校施設的环境整備
- ▨ その他_特にない



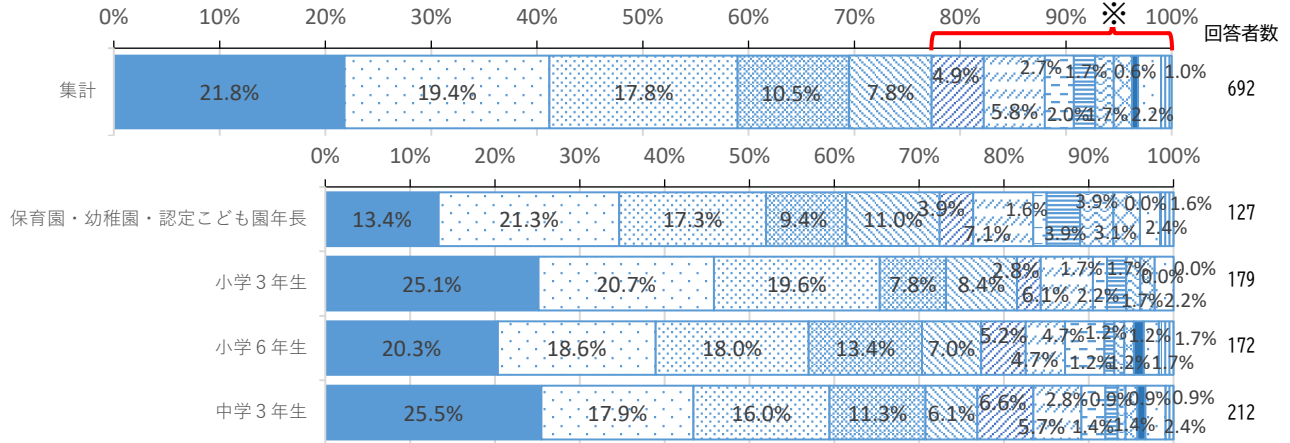
※ 回答割合上位5位以降の項目を再掲（単位：％）

学年	保護者等がボランティアとして学校等を支援する仕組みを作してほしい	学校等の教育方針を説明してほしい	その他教育の充実	その他学校施設的环境整備	その他	その他特にない
全体	3.7	1.7	1.4	1.0	4.9	4.3
年長	3.9	1.6	0.0	0.8	2.3	6.3
小学3年生	5.6	2.8	2.2	0.0	3.3	2.8
小学6年生	4.0	1.2	1.2	1.2	6.4	5.2
中学3年生	1.9	1.4	1.9	1.9	6.6	3.8

(4) 家庭に関して

ア 子どもの子育てで大切にしていることはどんなことですか（問22 単一回答）

- スキンシップや会話をたくさんすること
- ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること
- できるだけ子どもと過ごす時間をとること
- 規則正しい生活をさせること
- 自分がゆとりをもって子どもと接すること
- いろいろな人と接する機会をつくること
- 笑顔で子どもに接すること
- 自分自身が子育てを楽しむこと
- 自然に触れる機会をつくること
- できるだけ外遊びをさせるようにすること
- 食事の作法、トイレの仕方、マナーなどを教えること
- 文字や数など知的な経験の機会をつくること
- その他
- 特にない

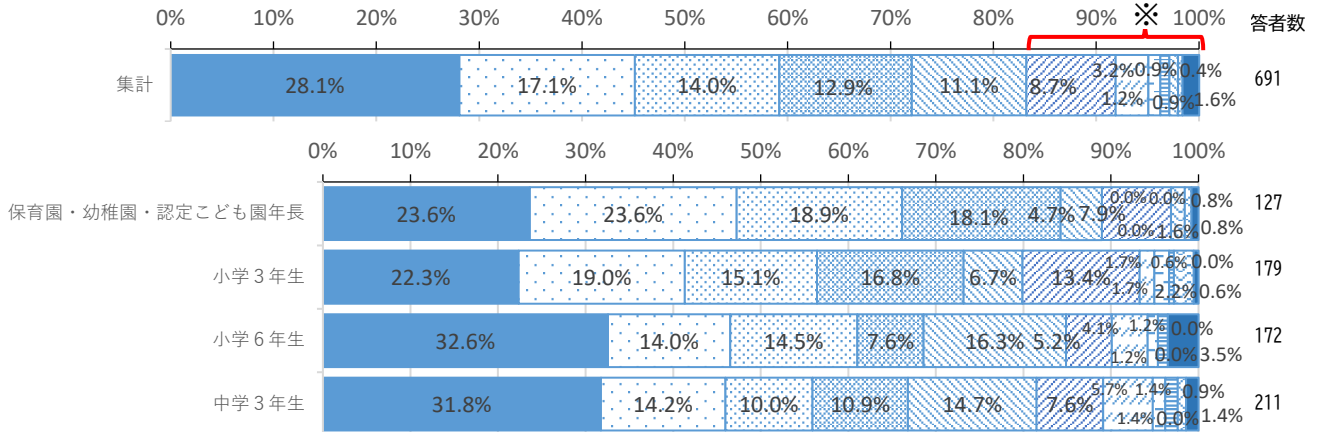


※ 回答割合上位6以降の項目を再掲（単位：％）

学年	いろいろな人と接する機会をつくること	笑顔で子どもに接すること	自分自身が子育てを楽しむこと	自然に触れる機会をつくること	できるだけ外遊びをさせるようにすること	食事の作法、トイレの仕方、マナーなどを教えること	文字や数など知的な経験の機会をつくること	その他	特にない
全体	4.9	5.8	2.7	2.0	1.7	1.7	0.6	2.2	1.0
年長	3.9	7.1	1.6	3.9	3.9	3.1	0.0	2.4	1.6
小学3年生	2.8	6.1	1.7	2.2	1.7	1.7	0.0	2.2	0.0
小学6年生	5.2	4.7	4.7	1.2	1.2	1.2	1.2	1.7	1.7
中学3年生	6.6	5.7	2.8	1.4	0.9	1.4	0.9	2.4	0.9

イ 自分のお子さんによく注意することは何ですか（問23 単一回答）

- 長い時間のゲームやテレビ、スマホの使用を控えること
- 自分でできることは自分ですること
- ▣ 思いやり、やさしさの気持ち、約束を守ること
- ▣ ものごとの善悪
- ▣ 早寝、早起きなど規則正しい生活
- ▣ あいさつ
- ▣ 勉強
- 家事の手伝い
- ▣ 体を動かすこと
- ▣ 好き嫌いをしない、残さず食べること
- ▣ 学校での出来事を家族に話すこと
- その他

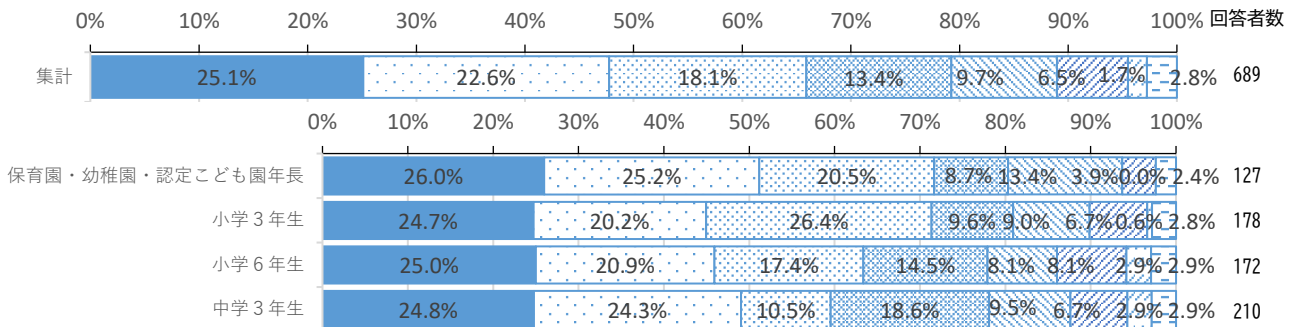


※ 回答割合上位6位以降の項目を再掲（単位：％）

学年	あいさつ	勉強	家事の手伝い	体を動かすこと	好き嫌いをしない、残さず食べること	学校での出来事を家族に話すこと	その他
全体	8.7	3.2	1.2	0.9	0.9	0.4	1.6
年長	7.9	0.0	0.0	0.0	1.6	0.8	0.8
小学3年生	13.4	1.7	1.7	0.6	2.2	0.0	0.6
小学6年生	5.2	4.1	1.2	1.2	0.0	0.0	3.5
中学3年生	7.6	5.7	1.4	1.4	0.0	0.9	1.4

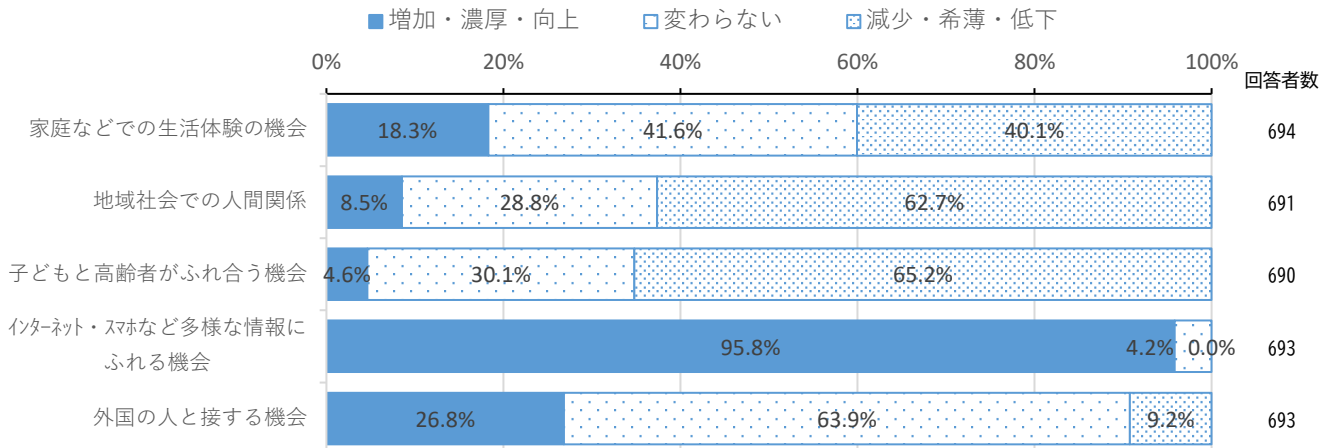
ウ 家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか（問24 単一回答）

- 子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定
- 大人が自ら見本となる意識の向上
- ▣ 子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実
- ▣ 食事を通じた家族だんらんの場の設定
- ▣ しつけや教育について相談できる場の充実
- ▣ 保護者同士の情報交換の場の設定
- ▣ 子どもと保護者が一緒に読書を行う機会の充実
- その他

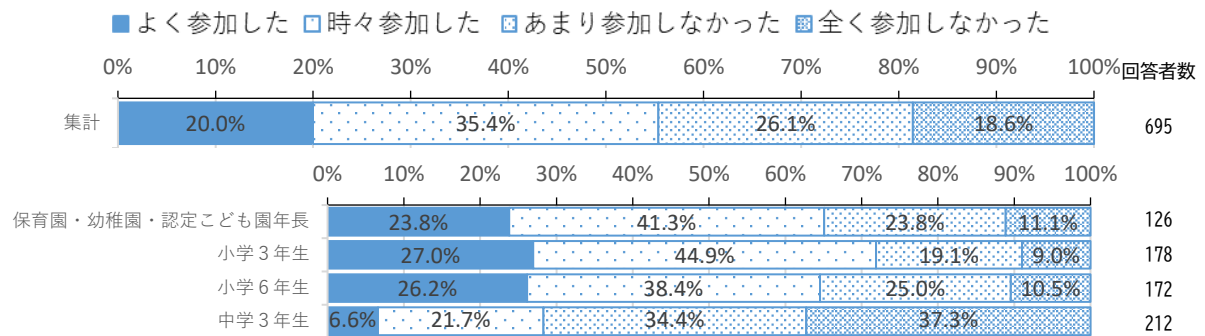


(5) 地域社会に関して

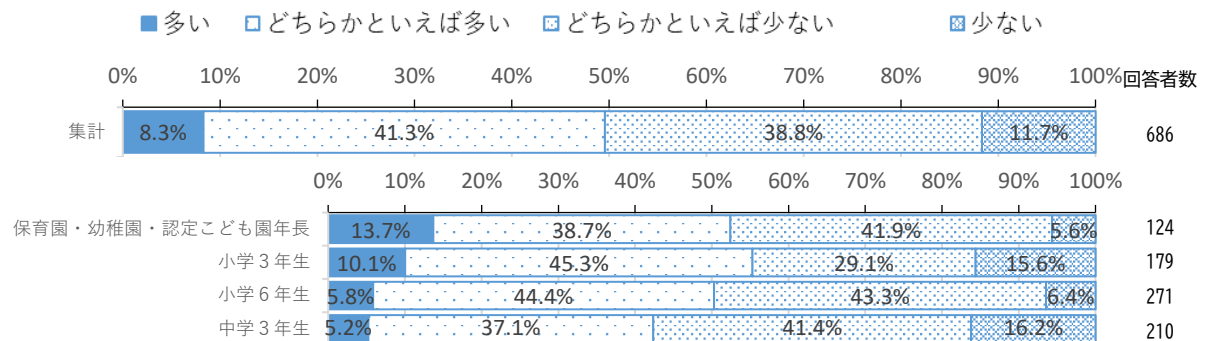
ア 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか
(問14 各項目について単一回答)



イ 昨年1年間で、地域の行事にお子さんと一緒にどの程度参加しましたか (問20)

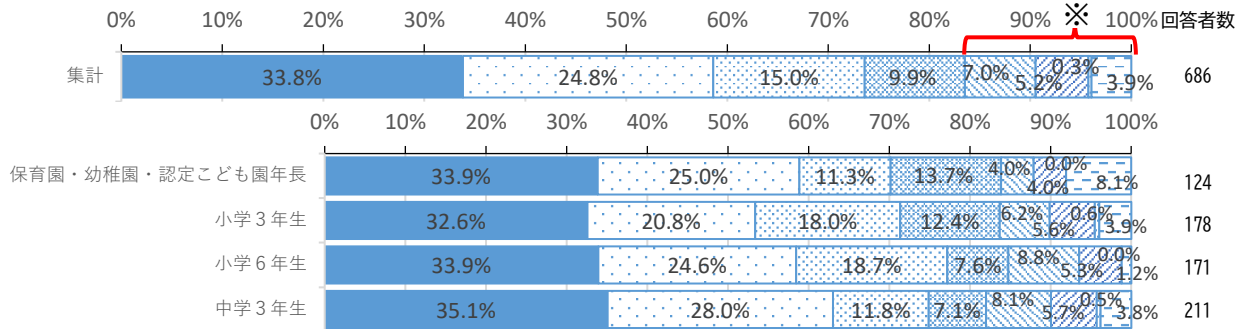


ウ 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子どもたちの教育に関わってくれる人が多いと思いますか (問21)



エ 地域で子どもを育てるためにはどのような取組みが必要だと思いますか（問25 単一回答）

- 良好な治安、環境の維持
- 地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける
- ▣ 地域活動、行事への積極的参加
- ▤ 地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進
- ▥ 伝統・文化・芸能等の子どもへの伝承
- ▦ 大人同士の近所付き合いの活発化
- ▧ その他
- 特になし

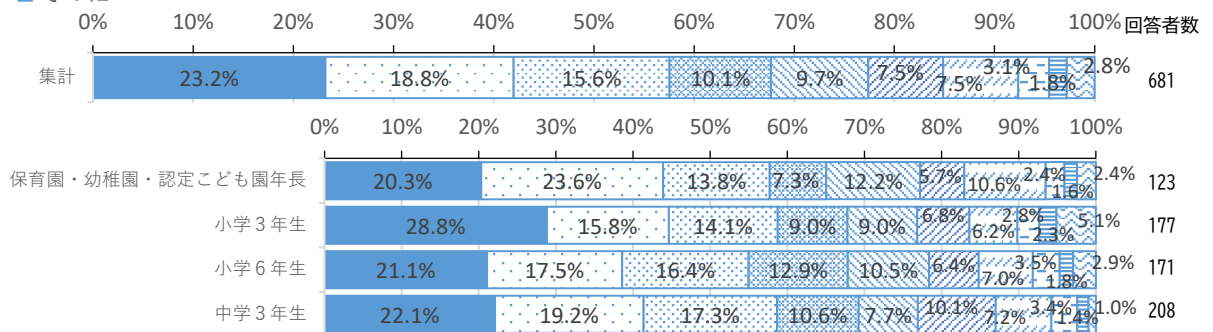


※ 回答割合上位5位以降の項目を再掲（単位：％）

学年	伝統・文化・芸能等の子どもへの伝承	大人同士の近所付き合いの活発化	その他	特になし
全体	7.0	5.2	0.3	3.9
年長	4.0	4.0	0.0	8.1
小学3年生	6.2	5.6	0.6	3.9
小学6年生	8.8	5.3	0.0	1.2
中学3年生	8.1	5.7	0.5	3.8

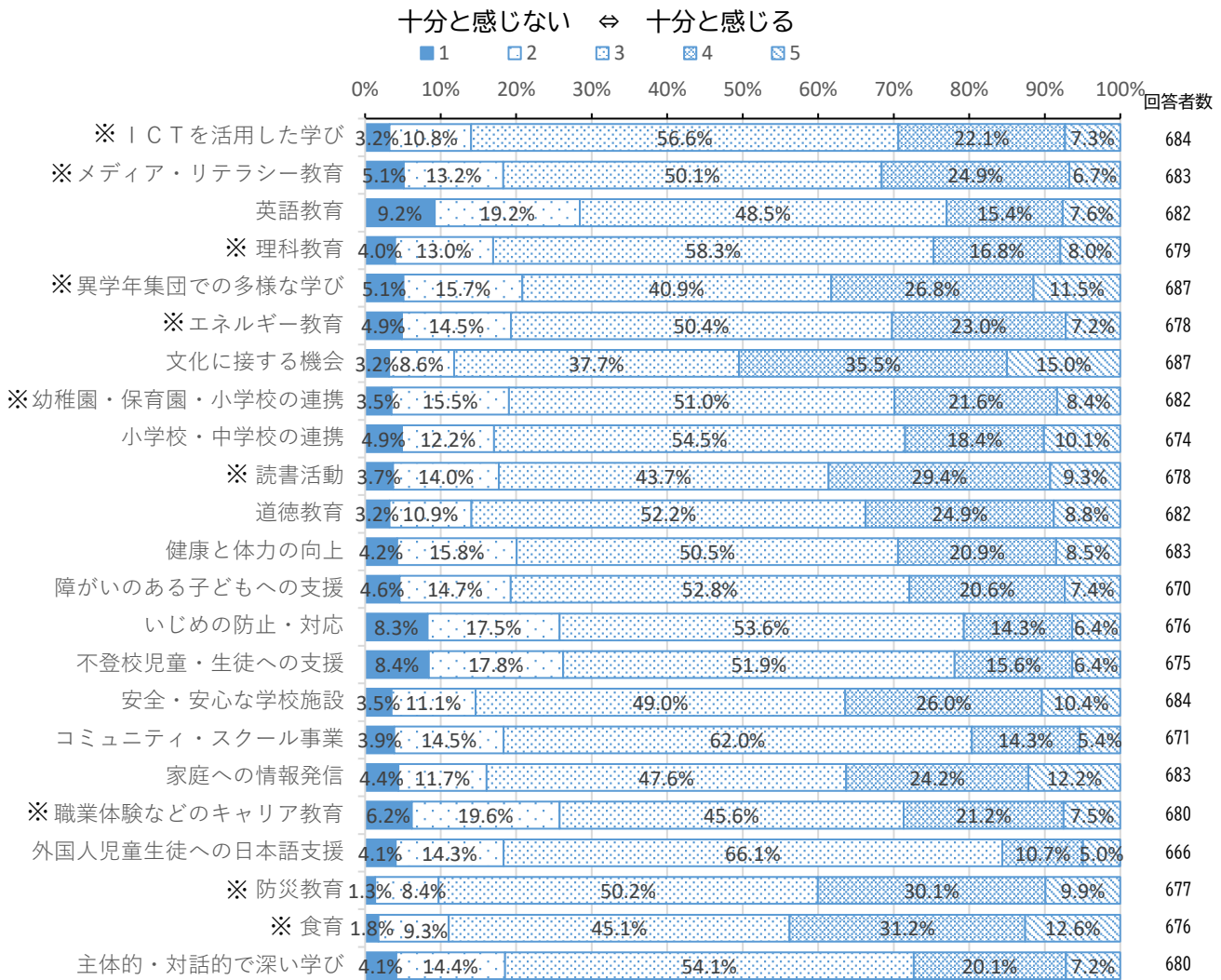
オ 学校、家庭、地域が連携協力するためには何が重要だと思いますか（問26 単一回答）

- 子どもの地域行事等への保護者や地域住民の積極的な参加
- 学校から保護者や地域への情報提供
- ▣ 地域行事に参加できるような工夫
- ▤ 保護者の参画意識の向上
- ▥ 運動会等の学校行事への保護者や地域住民の協力
- ▦ 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会
- ▧ 学校の授業への地域住民の協力
- ▨ 学校施設の地域への開放
- ▩ 学校開放日等の設置による地域の人の学校参観
- その他



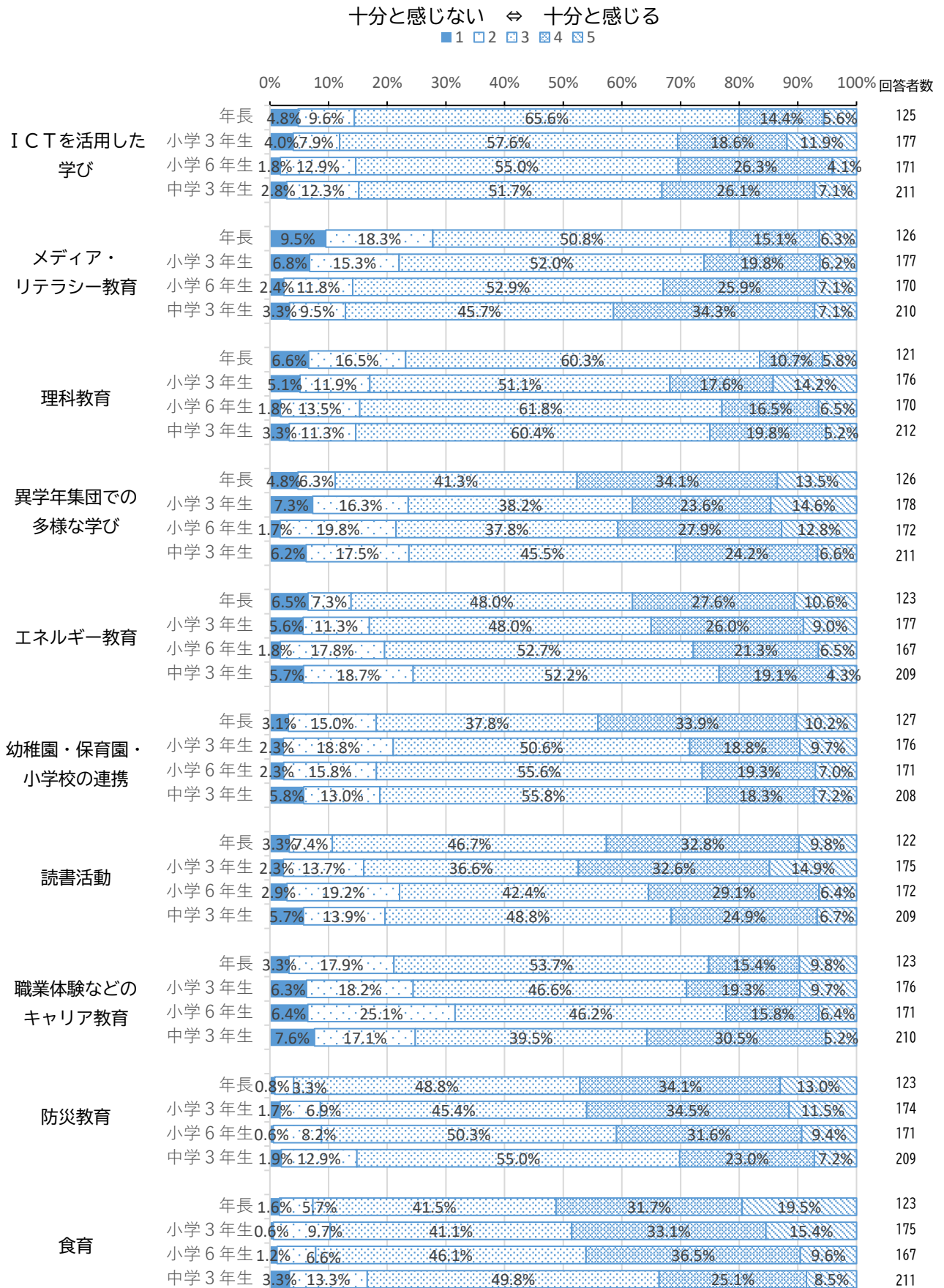
(6) 松本市の教育に関して

ア 松本市の教育の「現在の状況」について、考えに最も近い番号を選んでください（問18）

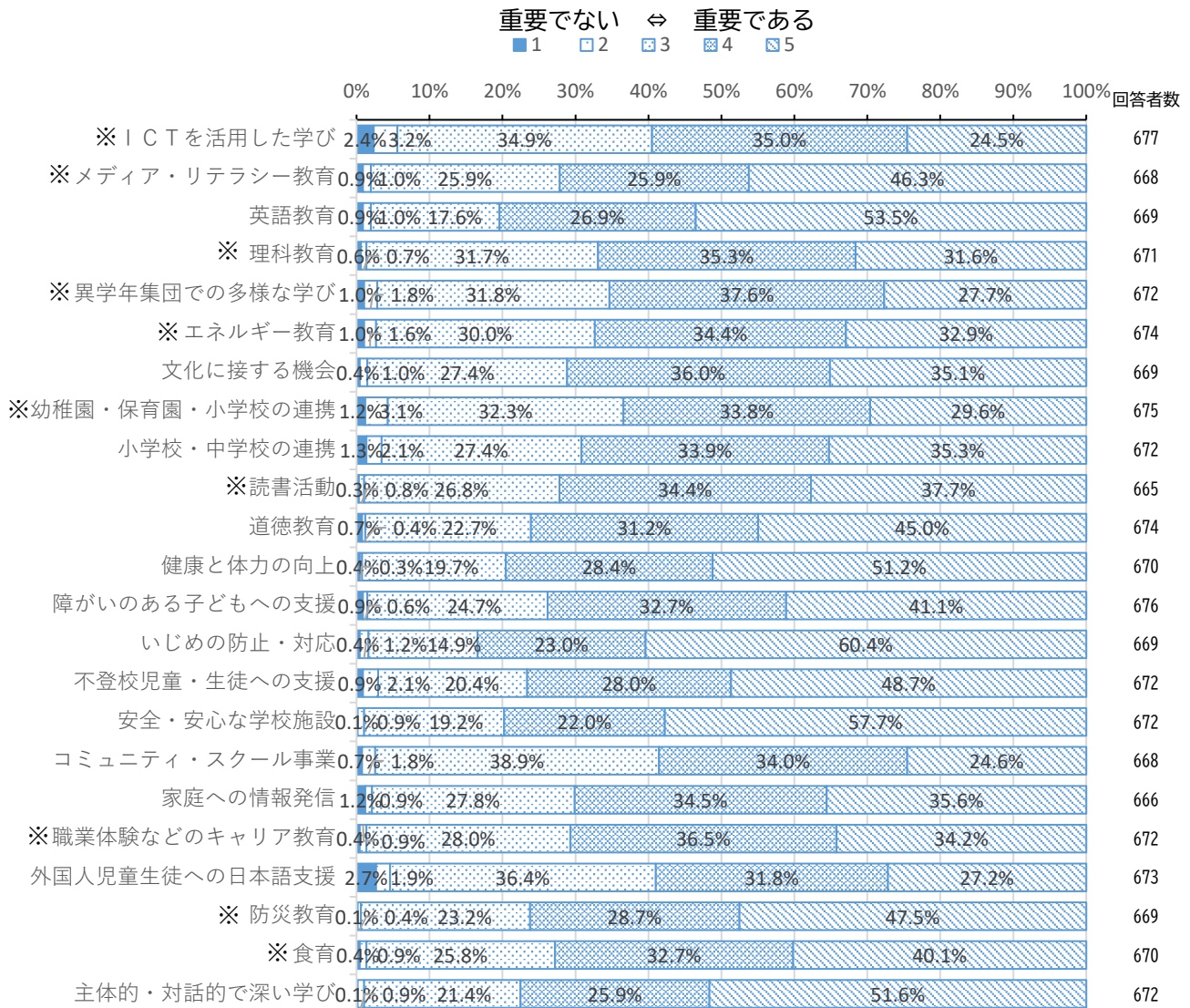


※ 学校等の区分によって回答に差がある項目（次ページ掲載）

※ 学年によって回答に差がある項目

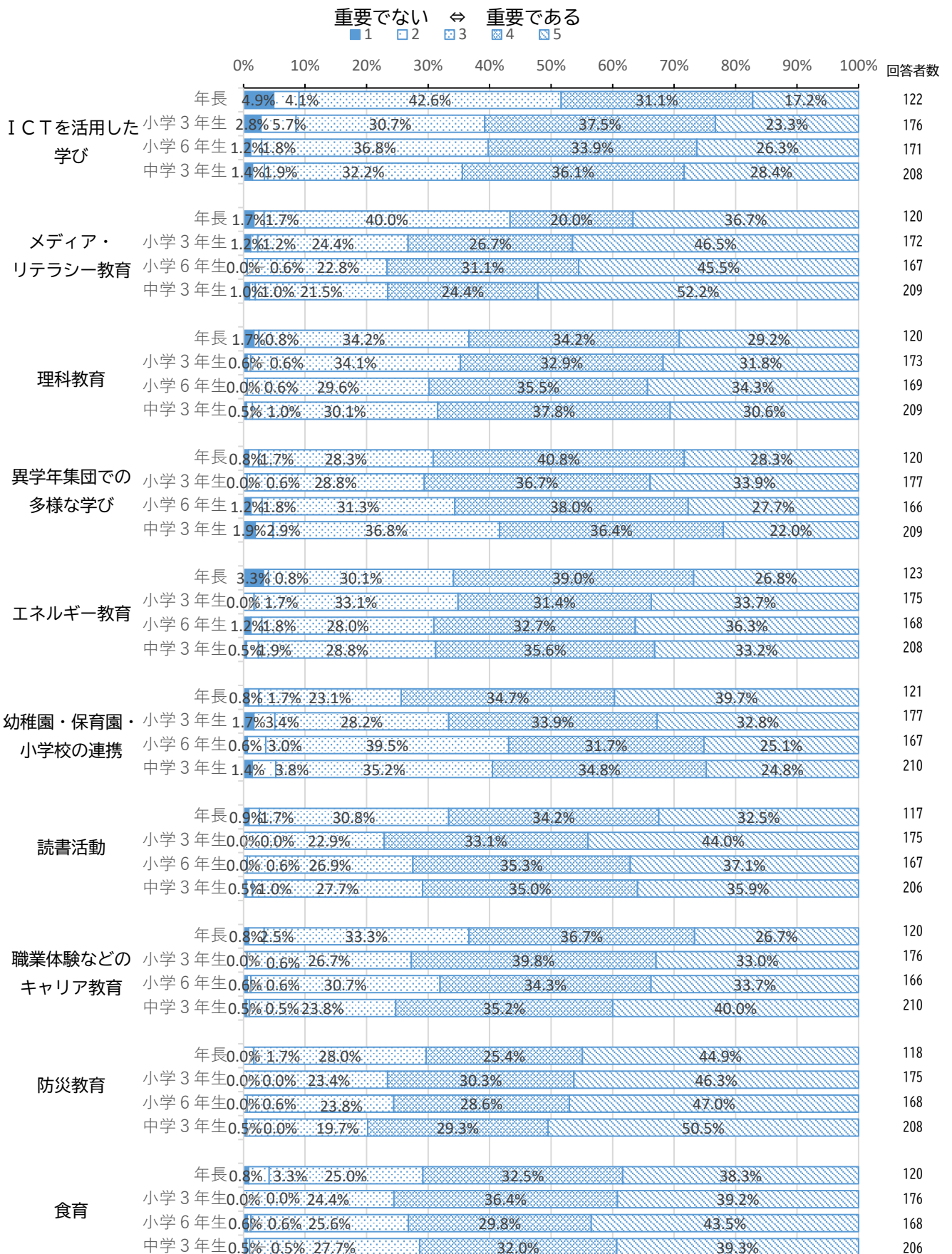


イ 松本市の教育の「今後の重要度」について、考えに最も近い番号を選んでください（問19）

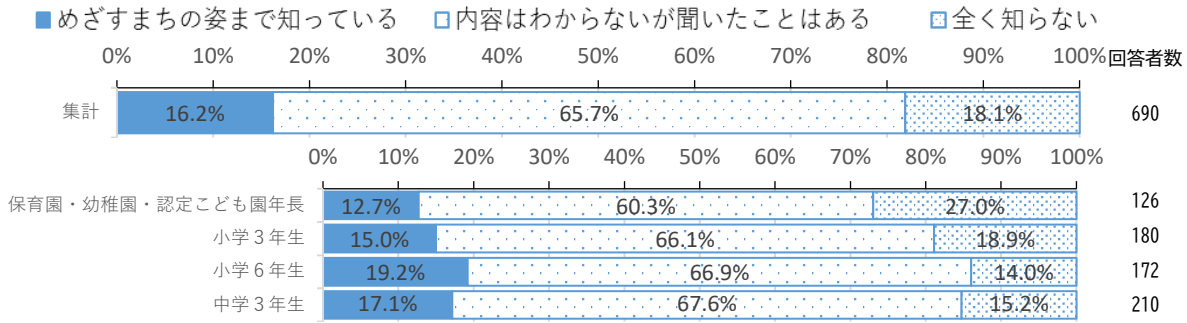


※ 学校等の区分によって回答に差がある項目（次ページ掲載）

※ 学年によって回答に差がある項目



ウ 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか（問27）



エ 松本市の学校教育に関する意見（問28 自由記述） 回答数 129

項目（主な内容）	割合 (%)
教育内容や学力（基礎学力の定着、体験学習の充実、探究活動、主体性を育む学び）、ICT活用の在り方（オンライン授業の活用、ICTの適切な利用）	24.8
教員の質や指導力不足、格差（担任によって子どもの学力の差、「当たり外れ」がある）	14.7
不登校、発達障がい等への対応（学校の体制整備、受け皿やシステムの拡充）	14.0
教員の負担軽減、処遇改善（少人数学級の実施、教員の増員、仕事の分担）	10.9
学校生活に関して（校則や制服などの見直し など）	10.1
部活動地域移行、放課後の居場所（経済格差に伴う学力・体験格差の拡大）	7.0
情報発信（学校で行われていること、松本市の教育に関する情報が伝わってこない）	5.4
保護者の負担軽減（親への押し付けが多い、PTAの廃止を考えてほしい）	5.4
公立私立間・学校間・地域間の格差（公立私立への支援の差 など）	4.7
その他（いじめへの対応、校舎・設備等の更新・充実、先生への感謝 など） ※内容が多岐にわたり、分類した項目の割合が4%を下回るため、その他として集計	14.0

オ 松本市の教育全般に関する意見（問29 自由記述） 回答数 96

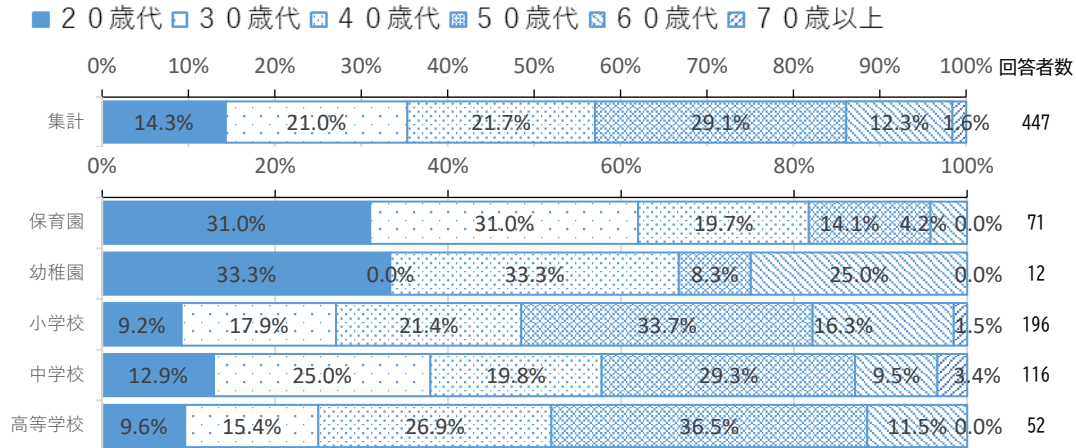
項目（主な内容）	割合 (%)
教育内容や学力（基礎学力の定着、体験学習の充実、主体性を育む教育）	15.6
家庭や地域での教育（家庭教育の促進、保護者向けの講座の実施、地域行事への参加）	14.6
教員の負担軽減、処遇改善（教員の増員、仕事の分担 など）	11.5
教員の質や指導力不足、格差（教員によって生徒への指導に差がある）	9.4
子どもの居場所の充実（子どもが遊んだり自習できる施設・環境の充実）	9.4
不登校、発達障がい等への対応（学校の体制整備 など）	8.3
文化・芸術に触れる機会の充実（音楽鑑賞、伝統文化に触れる機会を増やしてほしい）	6.3
保護者の負担軽減（給食費、学年費等の高騰、部活動地域移行に伴う負担）	4.2
部活動地域移行、放課後の居場所（経済格差に伴う学力・体験格差の拡大）	4.2
公立私立間・学校間・地域間の格差（私学に通う子どもの地域行事参加について）	4.2
その他（情報発信、設備等の充実、アンケート調査に対する意見 など） ※内容が多岐にわたり、分類した項目の割合が4%を下回るため、その他として集計	29.2

3 教職員、保育士・幼稚園教諭等

※ 認定こども園の回答者数が少なかったため、クロス集計する項目においては保育園のカテゴリーに統合して集計しています。また、クロス集計時にカテゴリー別の回答数が少なくなる設問においては、保育園、認定こども園、幼稚園を「幼保認」のカテゴリーに統合して集計しています。

(1) 回答者属性

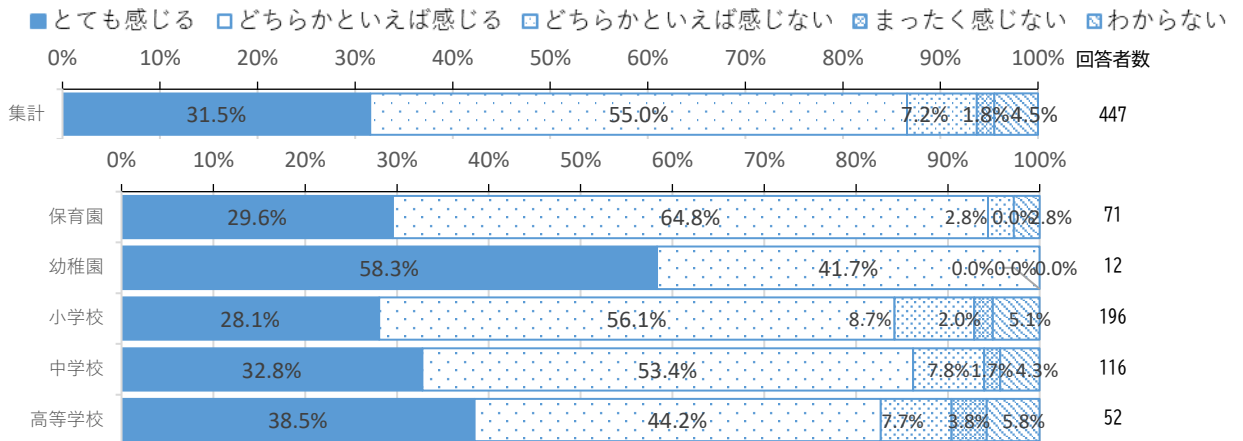
ア 年代（問1）



イ 勤務先（問2）

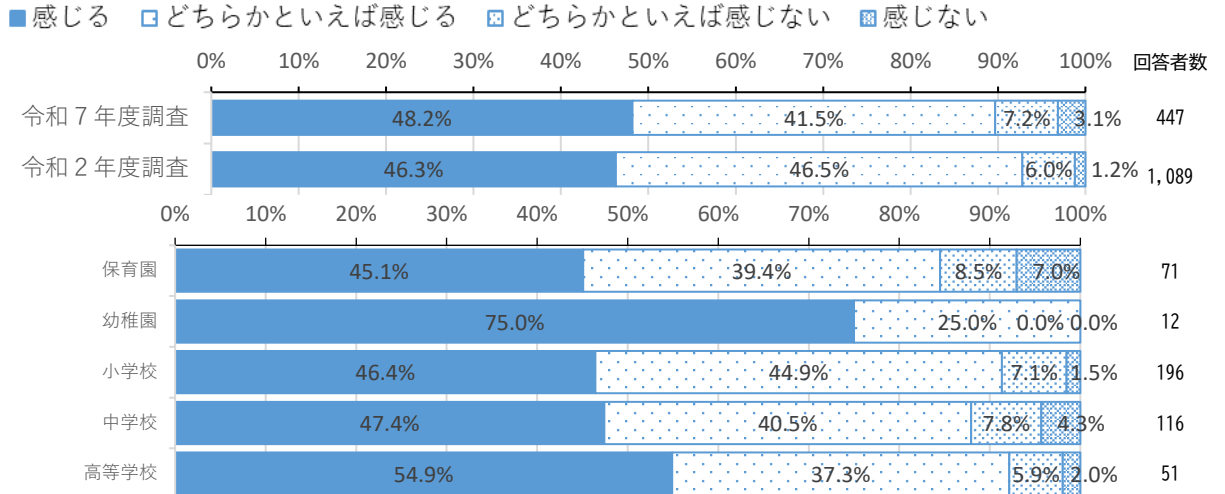


ウ 松本市に親しみや愛着を感じますか（問13）

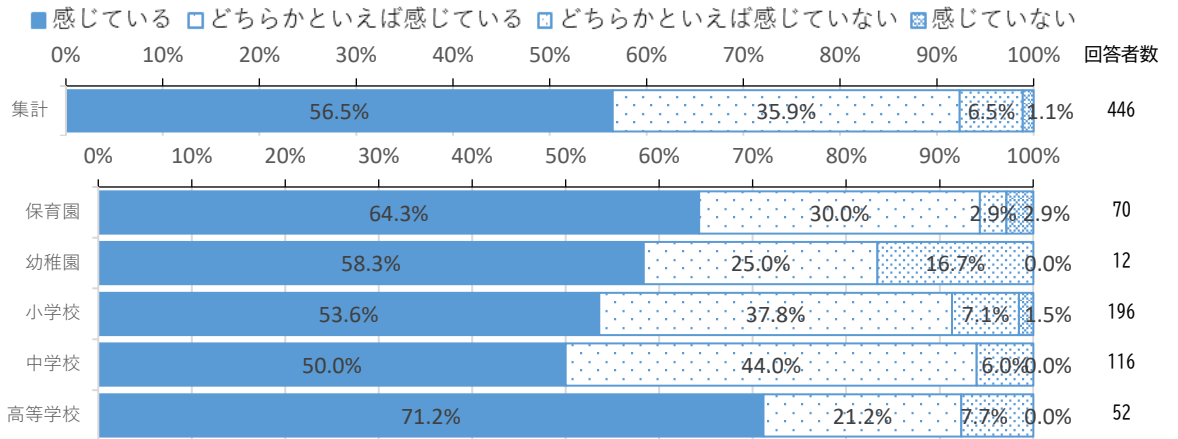


(2) 自分の職務（教職等）に関して

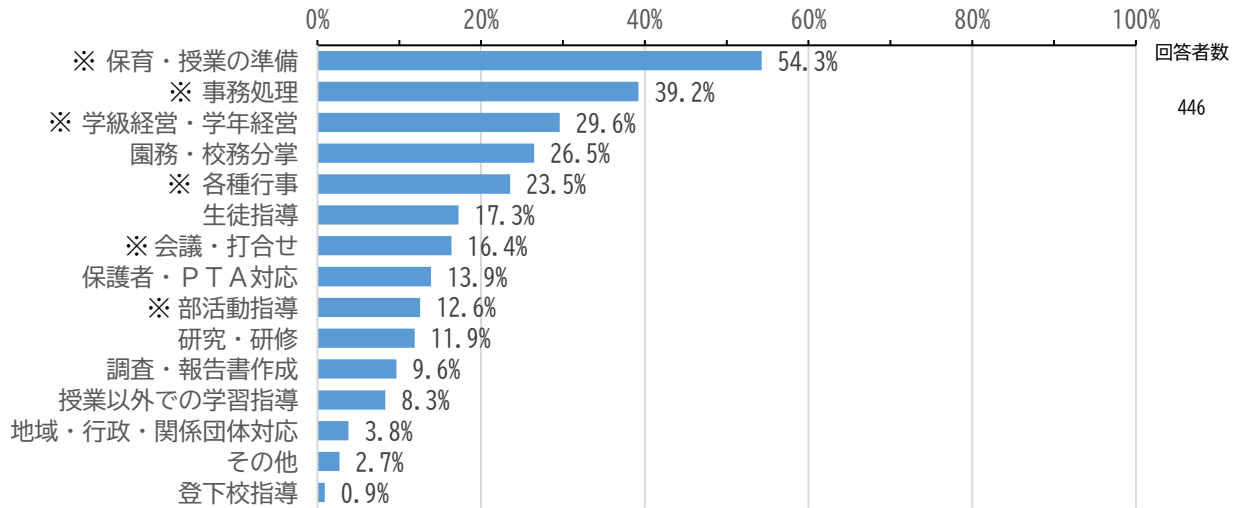
ア 自身の職務に「生きがい」、「やりがい」を感じますか（問7）



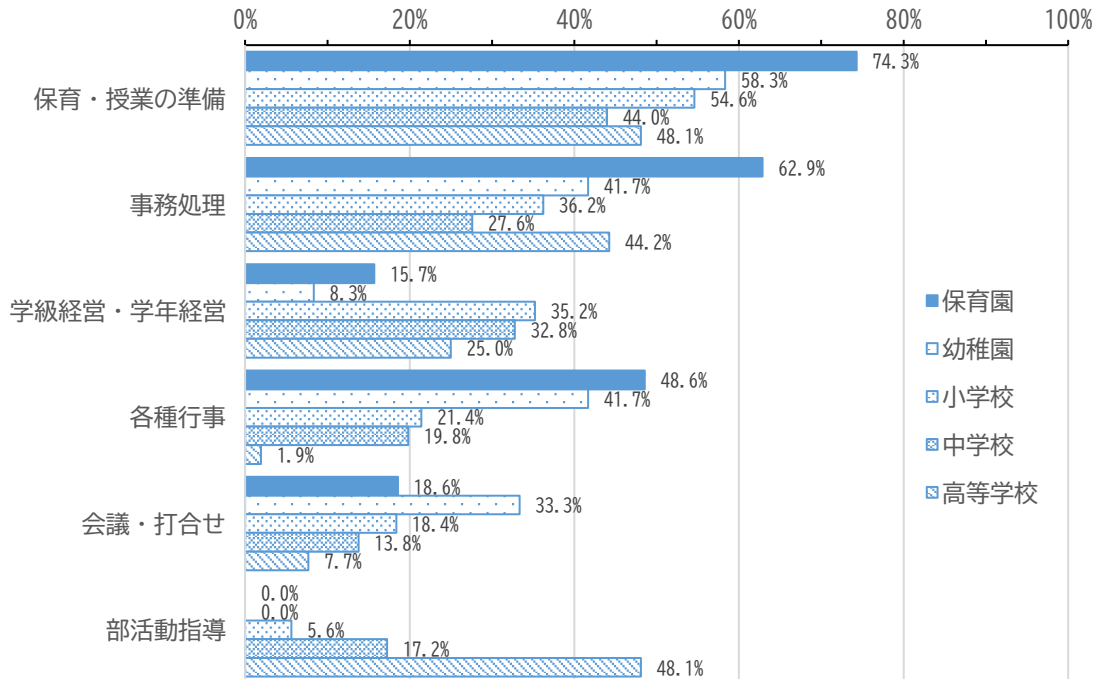
イ ご自身の職務について忙しいと感じていますか（問8）



ウ 仕事をするうえで時間をかけている業務は、どのような業務ですか（問9 上位3つ以内）



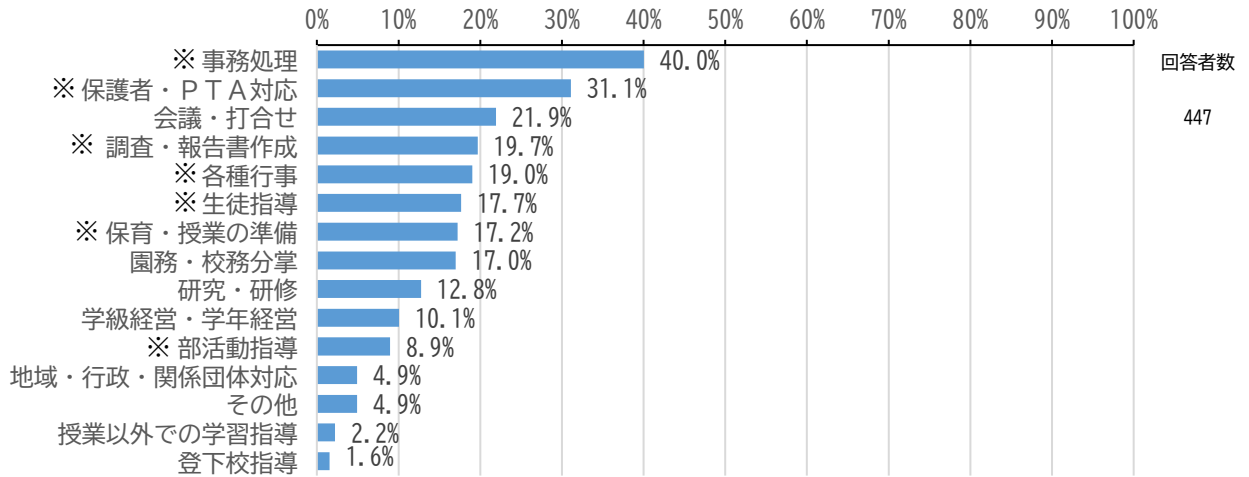
※ 学校等によって回答に差がある主な項目



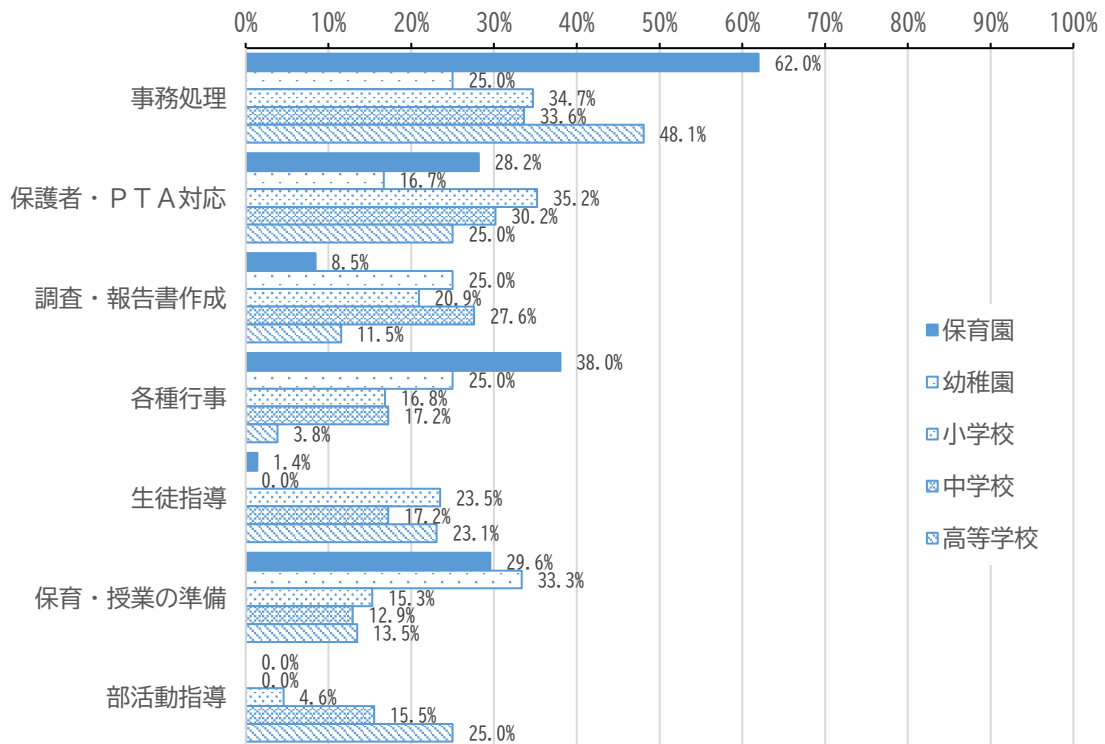
学校等	回答者数	保育・授業の準備	事務処理	学級経営・学年経営	園務・校務分掌	各種行事	生徒指導	会議・打合せ	保護者・PTA対応	部活動指導	研究・研修	調査・報告書作成	授業以外での学習指導	地域・行政・関係団体対応	その他	登下校指導
保育園	70	74.3	62.9	15.7	15.7	48.6	4.3	18.6	12.9	0.0	5.7	5.7	0.0	1.4	0.0	0.0
幼稚園	12	58.3	41.7	8.3	33.3	41.7	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	25.0	0.0	16.7	8.3	0.0
小学校	196	54.6	36.2	35.2	26.5	21.4	18.4	18.4	15.3	5.6	9.2	11.2	8.2	3.6	3.1	1.0
中学校	116	44.0	27.6	32.8	32.8	19.8	24.1	13.8	13.8	17.2	17.2	8.6	11.2	5.2	4.3	1.7
高等学校	52	48.1	44.2	25.0	25.0	1.9	19.2	7.7	13.5	48.1	17.3	7.7	15.4	1.9	0.0	0.0

回答割合の上位3項目を着色（単位：%）

エ 仕事をするうえで負担を感じている業務は、どのような業務ですか（問10 上位3つ以内）



※ 学校等によって回答に差がある主な項目

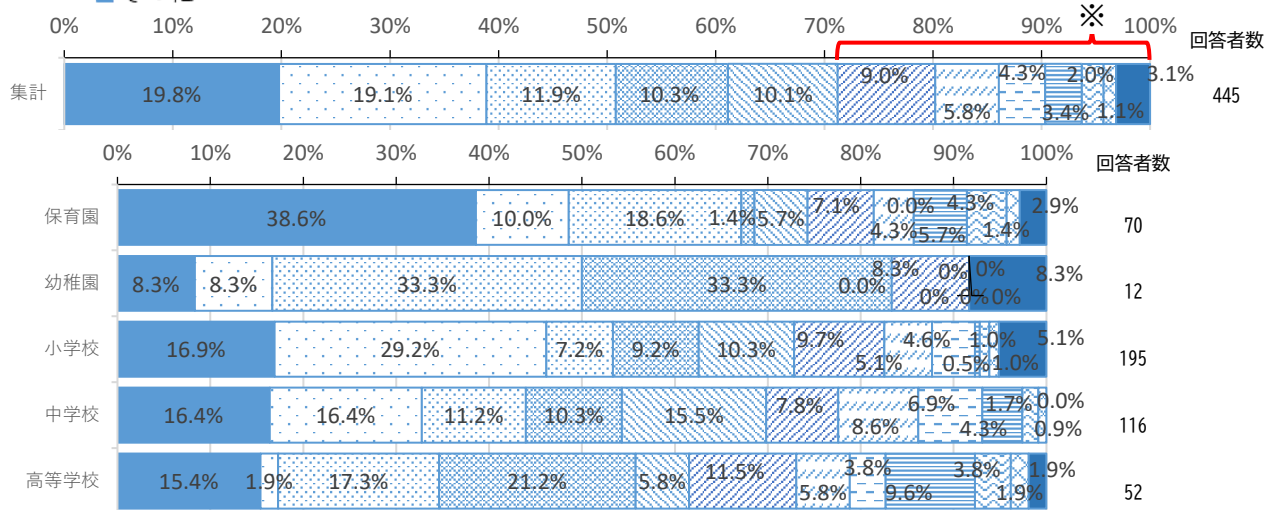


学校等	回答者数	事務処理	保護者・PTA対応	会議・打合せ	調査・報告書作成	各種行事	生徒指導	保育・授業の準備	園務・校務分掌	研究・研修	学級経営・学年経営	部活動指導	地域・行政・関係団体対応	その他	授業以外での学習指導	登下校指導
保育園	71	62.0	28.2	19.7	8.5	38.0	1.4	29.6	8.5	15.5	11.3	0.0	1.4	7.0	0.0	0.0
幼稚園	12	25.0	16.7	8.3	25.0	25.0	0.0	33.3	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
小学校	196	34.7	35.2	23.5	20.9	16.8	23.5	15.3	19.4	15.8	8.7	4.6	5.1	4.6	2.6	1.0
中学校	116	33.6	30.2	19.8	27.6	17.2	17.2	12.9	18.1	10.3	9.5	15.5	6.0	4.3	2.6	4.3
高等学校	52	48.1	25.0	26.9	11.5	3.8	23.1	13.5	17.3	0.0	17.3	25.0	7.7	3.8	3.8	0.0

回答割合の上位3項目を着色 (単位：%)

オ 多忙を解消するために必要なことは何だと思いますか（問11 単一回答）

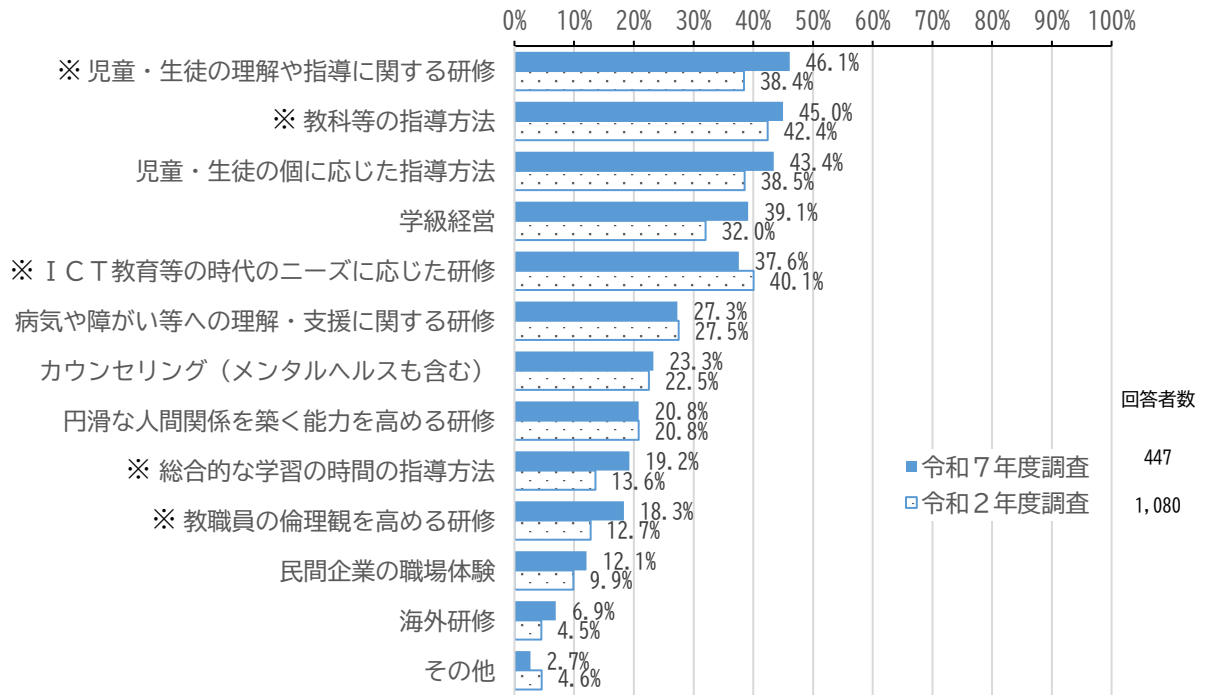
- 調査や事務関係の書類の提出を少なくする
- 学級定員の引き下げ
- ▣ 教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事を減らす
- ▤ 校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る
- ▥ 支援員を増やす
- ▧ 会議や研究会の効率化・スリム化を図る
- 外部人材を活用する
- その他 教員の増員
- ▩ 定時退勤日、ノー部活デー、ノー会議デーを徹底する
- 年次有給休暇等の計画的な取得を推進する
- ICT機器の積極的な活用を促進する
- その他



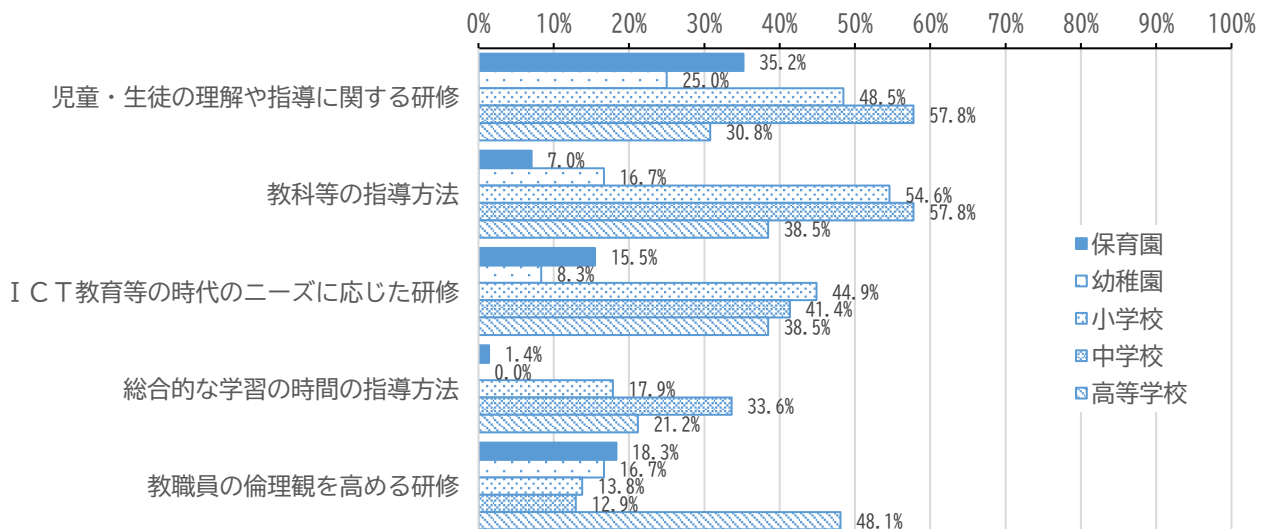
※ 回答割合上位6位以降の項目を再掲（単位：%）

学校等	会議や研究会の効率化・スリム化を図る	外部人材を活用する	その他 教員の増員	定時退勤日、ノー部活デー、ノー会議デーを徹底する	年次有給休暇等の計画的な取得を推進する	ICT機器の積極的な活用を促進する	その他
全体	9.0	5.8	4.3	3.4	2.0	1.1	3.1
保育園	7.1	4.3	0.0	5.7	4.3	1.4	2.9
幼稚園	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
小学校	9.7	5.1	4.6	0.5	1.0	1.0	5.1
中学校	7.8	8.6	6.9	4.3	1.7	0.9	0.0
高等学校	11.5	5.8	3.8	9.6	3.8	1.9	1.9

カ 教職員の資質向上のためにどのような研修が必要だと思いますか（問12 複数回答）



※ 学校等によって回答に差がある主な項目



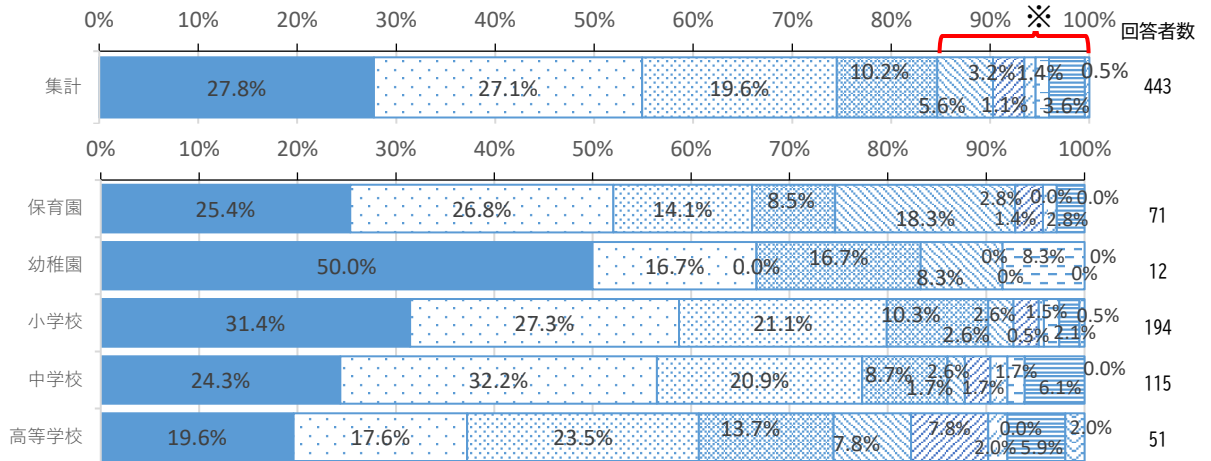
学校等	回答者数	児童・生徒の理解や指導に関する研修	教科等の指導方法	児童・生徒の個に応じた指導方法	学級経営	ICT教育等の時代のニーズに応じた研修	病気や障がい等への理解・支援に関する研修	カウンセリング（メンタルヘルスも含む）	円滑な人間関係を築く能力を高める研修	総合的な学習の時間の指導方法	教職員の倫理観を高める研修	民間企業の職場体験	海外研修	その他
保育園	71	35.2	7.0	42.3	32.4	15.5	19.7	18.3	12.7	1.4	18.3	7.0	2.8	1.4
幼稚園	12	25.0	16.7	41.7	41.7	8.3	25.0	33.3	16.7	0.0	16.7	8.3	16.7	0.0
小学校	196	48.5	54.6	44.4	40.8	44.9	25.5	20.4	20.9	17.9	13.8	12.2	6.1	2.0
中学校	116	57.8	57.8	50.0	41.4	41.4	36.2	27.6	24.1	33.6	12.9	9.5	4.3	3.4
高等学校	52	30.8	38.5	26.9	36.5	38.5	25.0	28.8	25.0	21.2	48.1	25.0	19.2	5.8

回答割合の上位3項目を着色（単位：％）

(3) 子どもの教育に関して

ア 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか（問13 単一回答）

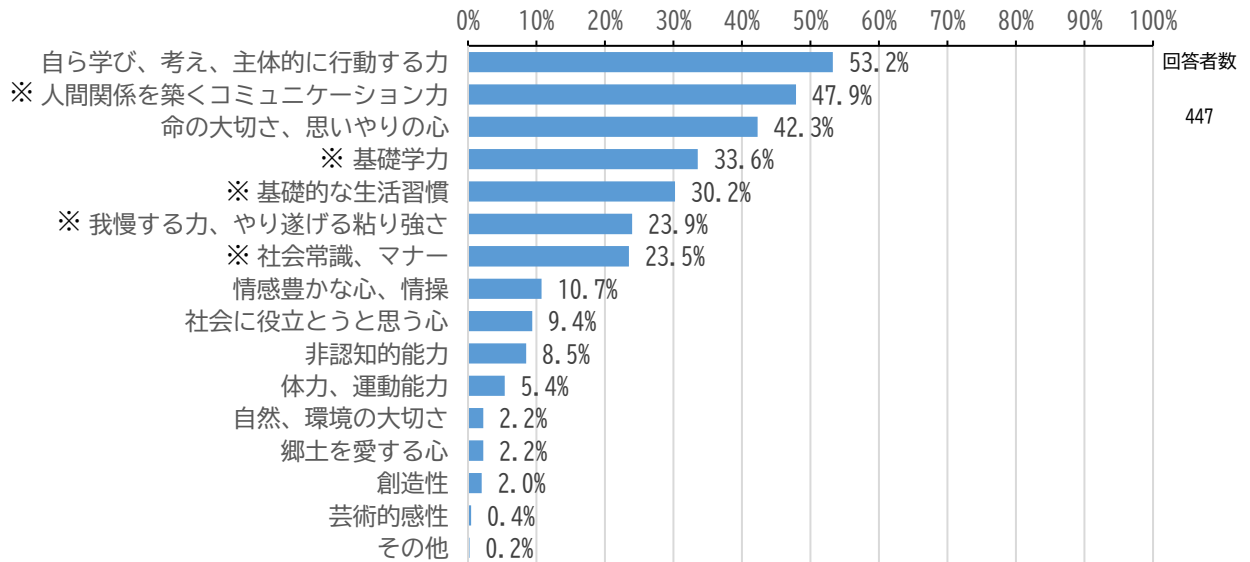
- 「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実
- ▣ 発達状況に応じたきめ細かな対応
- ▤ 親育ちの場の充実
- ▥ 幼児教育と小学校教育との連携
- ▦ 保育士・幼稚園教諭の資質及び専門性の向上
- ▧ 地域人材の活用等地域の支援
- ▨ つどいの広場の充実
- ▩ その他
- 今のままでよい
- その他_わからない



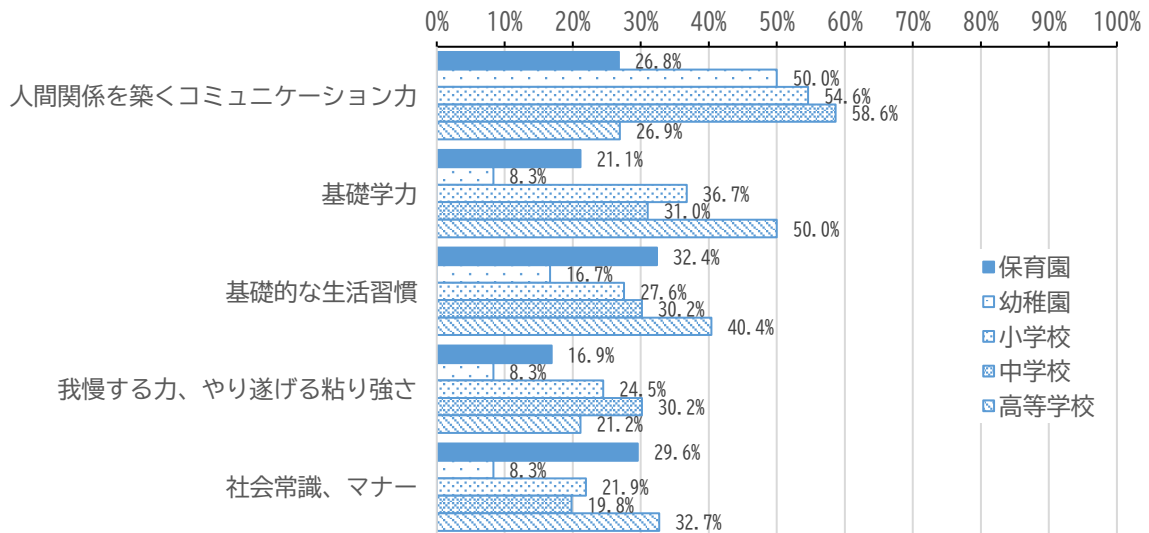
※ 回答割合上位5位以降の項目を再掲（単位：％）

学校等	保育士・幼稚園教諭の資質及び専門性の向上	地域人材の活用等地域の支援	つどいの広場の充実	その他	今のままでよい	その他_わからない
全体	5.6	3.2	1.1	1.4	3.6	0.5
保育園	18.3	2.8	1.4	0.0	2.8	0.0
幼稚園	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
小学校	2.6	2.6	0.5	1.5	2.1	0.5
中学校	1.7	2.6	1.7	1.7	6.1	0.0
高等学校	7.8	7.8	2.0	0.0	5.9	2.0

イ 学校教育等で特に子どもたちに学んでほしいことを選んでください（問17 上位3つ以内）



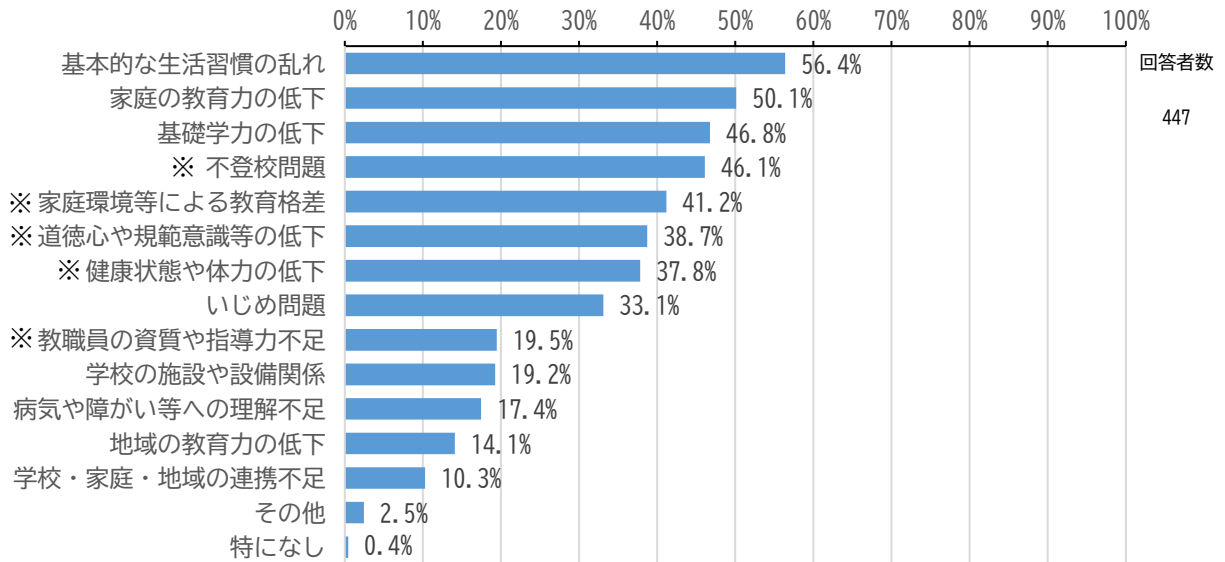
※ 学年によって回答に差がある主な項目



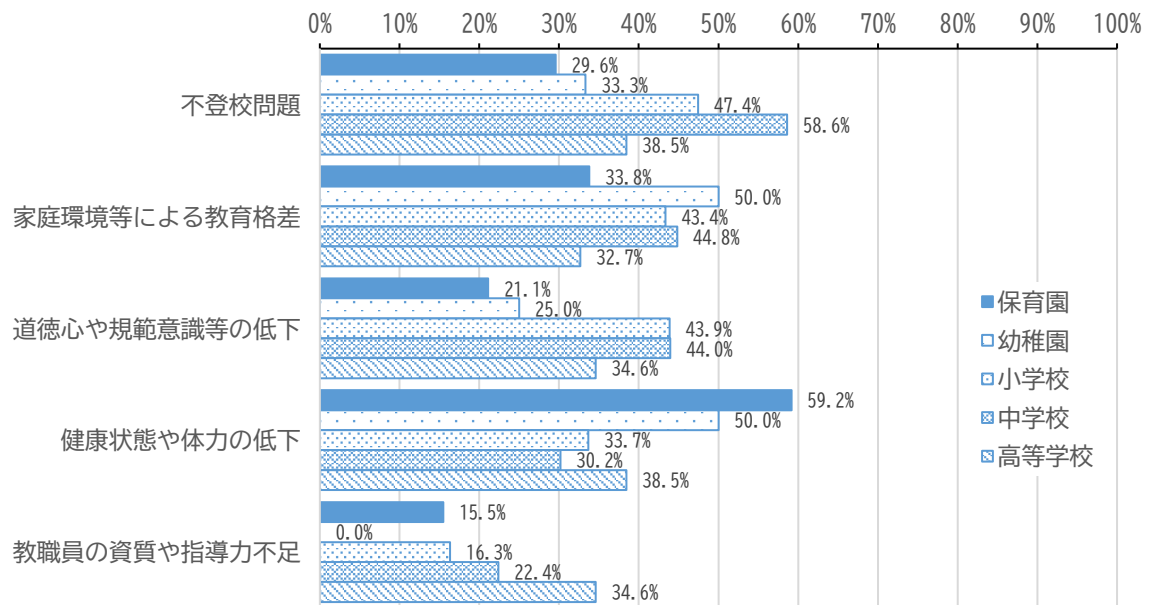
学校等	回答者数	自ら学び、考え、主体的に行動する力	人間関係を築くコミュニケーション力	命の大切さ、思いやりの心	基礎学力	基礎的な生活習慣	我慢する力、やり遂げる粘り強さ	社会常識、マナー	情感豊かな心、情操	社会に役立つと思う心	非認知的能力	体力、運動能力	自然、環境の大切さ	郷土を愛する心	創造性	芸術的感性	その他
保育園	71	71.9	28.1	43.8	21.9	35.9	17.2	28.1	7.8	3.1	10.9	15.6	6.3	1.6	3.1	0.0	0.0
幼稚園	12	66.7	50.0	50.0	8.3	16.7	8.3	8.3	25.0	0.0	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
小学校	196	49.0	54.6	44.4	36.7	27.6	24.5	21.9	12.8	8.7	8.7	3.6	1.0	2.0	1.0	0.5	0.0
中学校	116	49.1	58.6	41.4	31.0	30.2	30.2	19.8	7.8	12.9	8.6	2.6	1.7	2.6	0.9	0.9	0.0
高等学校	52	50.0	26.9	26.9	50.0	40.4	21.2	32.7	11.5	15.4	0.0	1.9	3.8	3.8	7.7	0.0	0.0

回答割合の上位3項目を着色（単位：％）

ウ 子どもの教育に関して課題は何だと思いますか（問18 複数回答）



※ 学校等によって回答に差がある主な項目

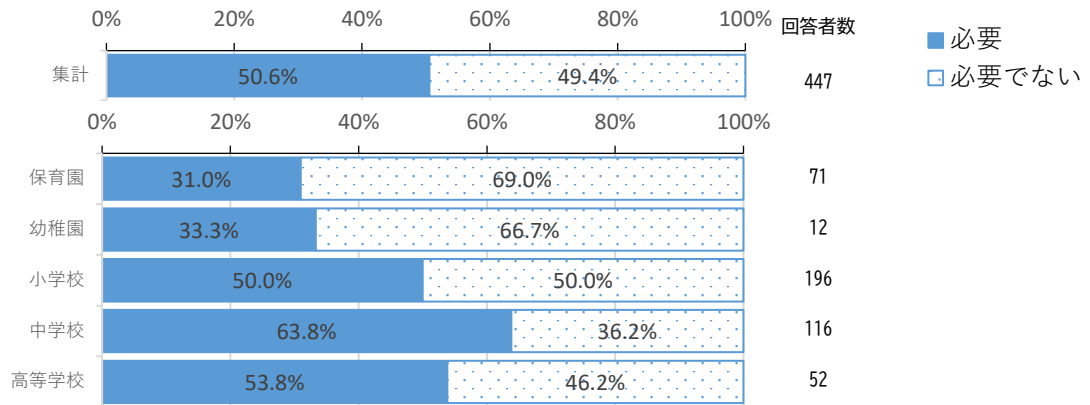


学校等	回答者数	基本的な生活習慣の乱れ	家庭の教育力の低下	基礎学力の低下	不登校問題	家庭環境等による教育格差	道徳心や規範意識等の低下	健康状態や体力の低下	いじめ問題	教職員の資質や指導力不足	学校の施設や設備関係	病気や障がい等への理解不足	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携不足	その他	特になし
保育園	71	53.5	35.2	31.0	29.6	33.8	21.1	59.2	32.4	15.5	4.2	22.5	5.6	8.5	1.4	0.0
幼稚園	12	58.3	50.0	0.0	33.3	50.0	25.0	50.0	33.3	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0
小学校	196	59.2	51.5	48.5	47.4	43.4	43.9	33.7	33.7	16.3	17.3	14.8	12.2	9.7	2.0	0.0
中学校	116	57.8	54.3	53.4	58.6	44.8	44.0	30.2	36.2	22.4	27.6	20.7	16.4	8.6	3.4	0.0
高等学校	52	46.2	55.8	57.7	38.5	32.7	34.6	38.5	25.0	34.6	28.8	15.4	28.8	19.2	1.9	3.8

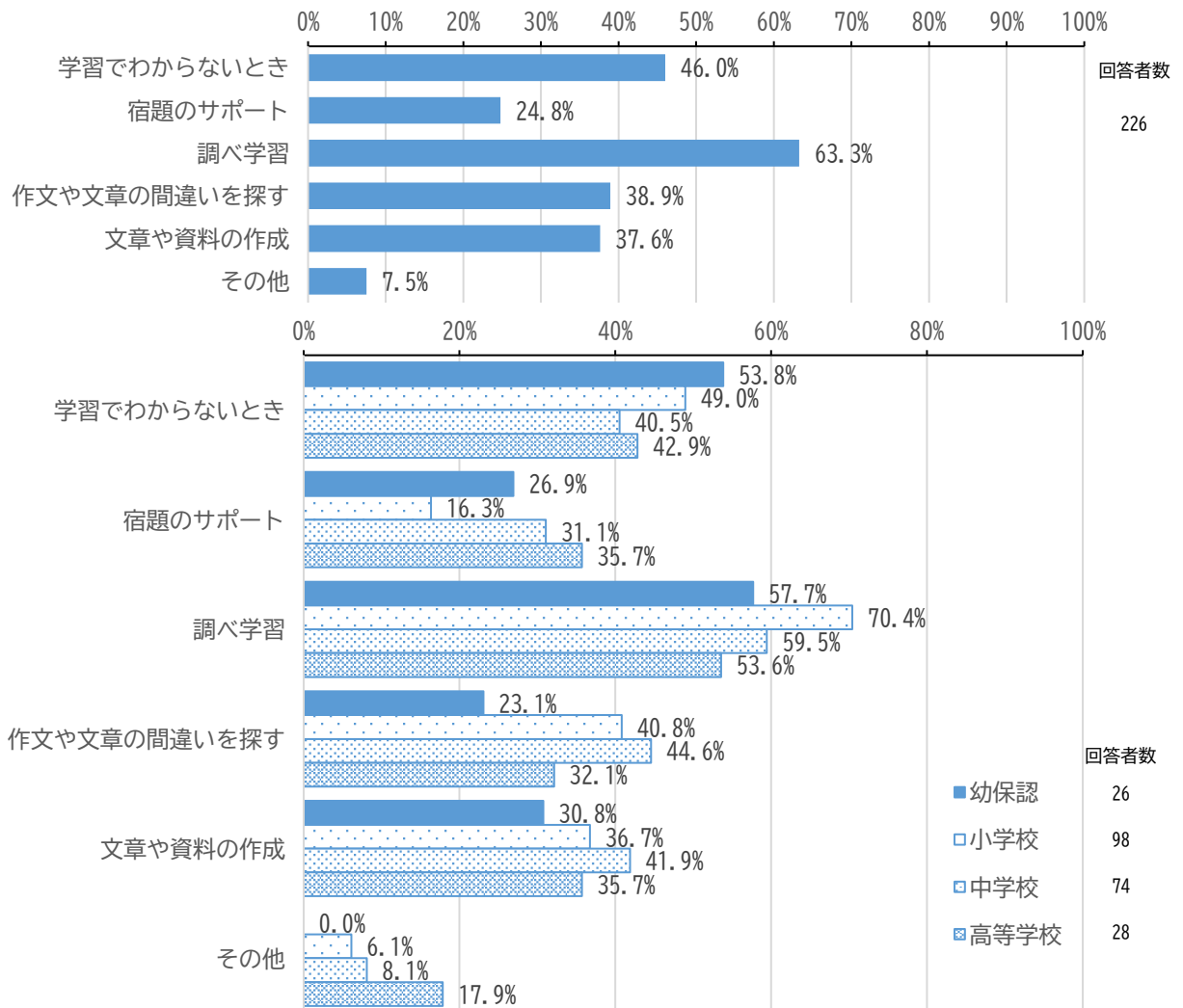
回答割合の上位3項目を着色（単位：%）

オ 子どもの学びにA I※は必要だと思いますか（問19）

※ A Iとは、人工知能（Artificial Intelligence）の略で、コンピューターが人間のように学習、推論、判断を行う技術です。ChatGPT、Gemini など



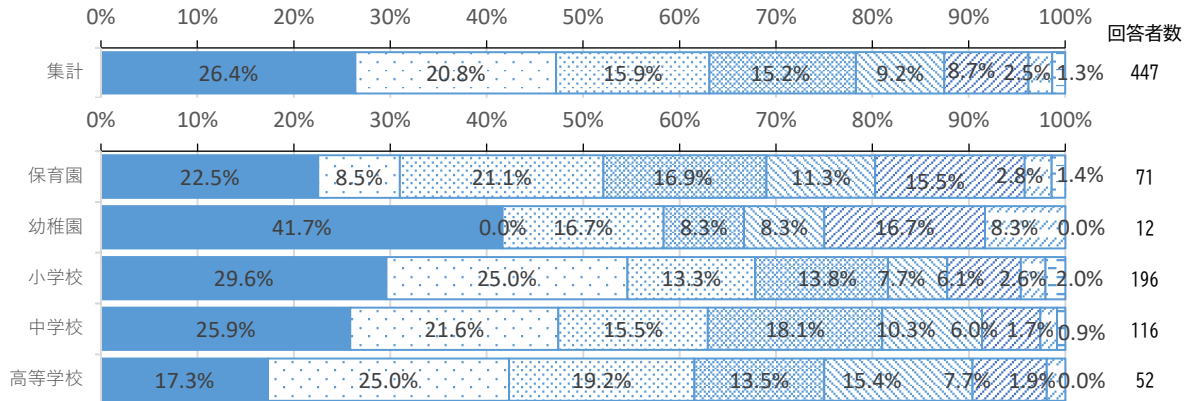
カ A Iはこういった用途で使うのが好ましいと思いますか（問20 複数回答）



(4) 家庭や地域に関して

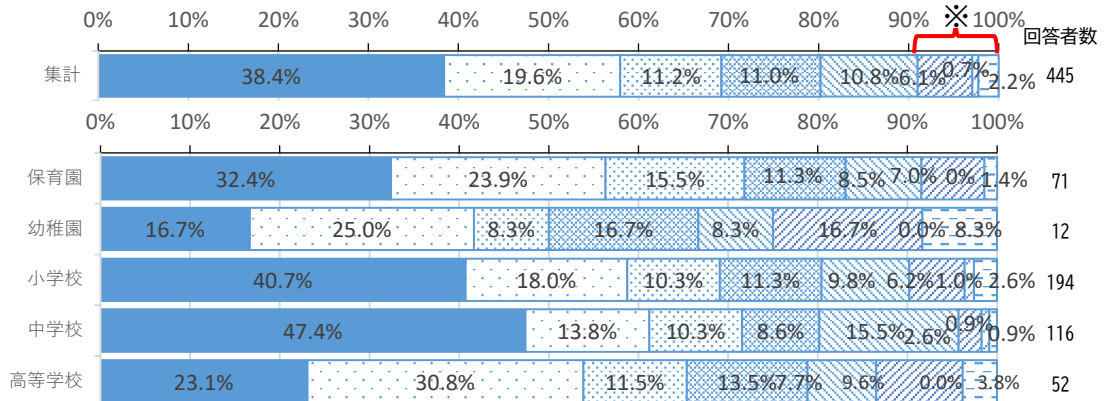
ア 家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか（問21 単一回答）

- 子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定
- 大人が自ら見本となる意識の向上
- 子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実
- しつけや教育について相談できる場の充実
- 食事を通した家族だんらんの場の設定
- 保護者同士の情報交換の場の設定
- 子どもと保護者が一緒に読書を行う機会の充実
- その他



イ 地域で子どもを育てるためにはどのような取組みが必要だと思いますか（問22 単一回答）

- 地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける
- 良好な治安、環境の維持
- 地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進
- 大人同士の近所付き合いの活発化
- 地域活動、行事への積極的参加
- 伝統・文化・芸能等の子どもへの伝承
- その他
- 特になし

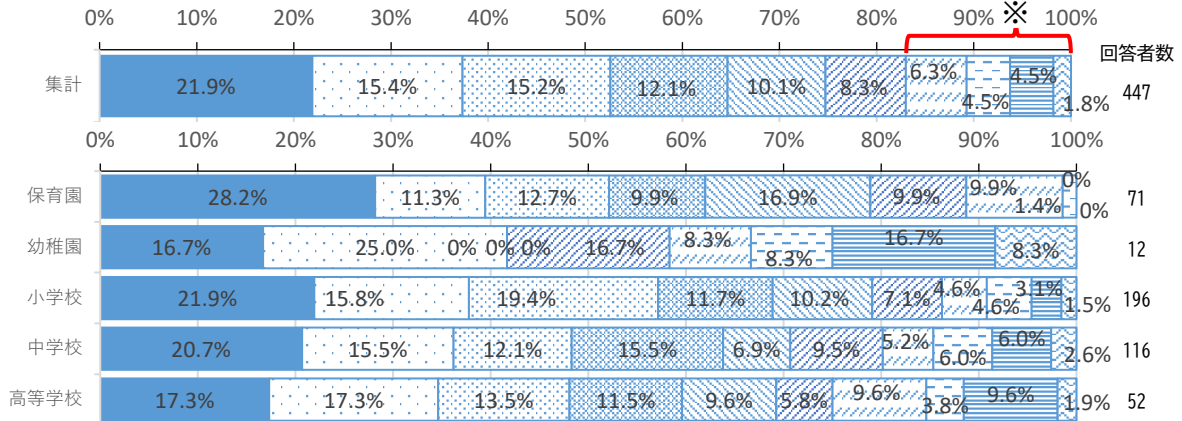


※ 回答割合上位6位以降の項目を再掲（単位：％）

学校等	伝統・文化・芸能等の子どもへの伝承	その他	特になし
全体	6.1	0.7	2.2
保育園	7.0	0.0	1.4
幼稚園	16.7	0.0	8.3
小学校	6.2	1.0	2.6
中学校	2.6	0.9	0.9
高等学校	9.6	0.0	3.8

ウ 学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか（問23 単一回答）

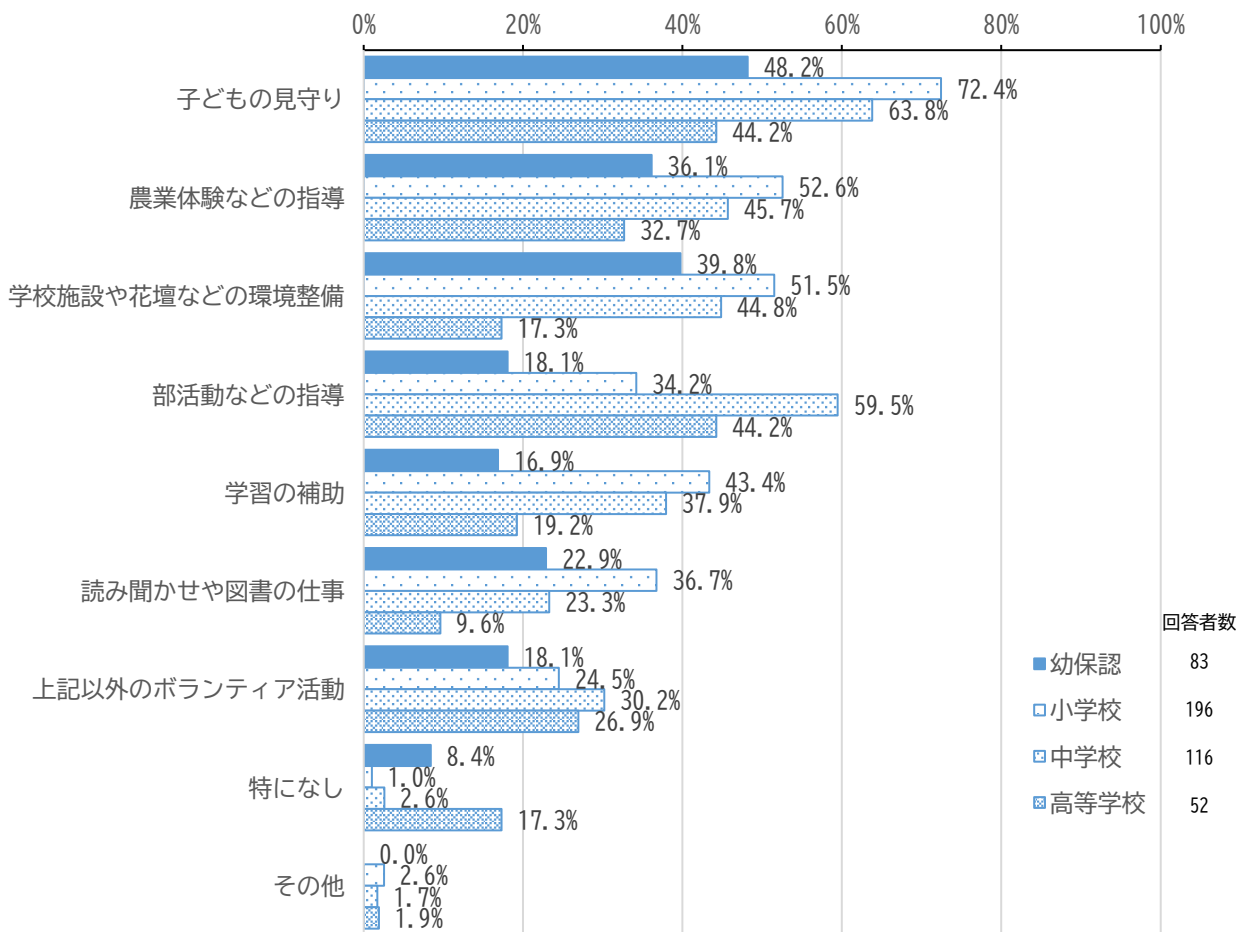
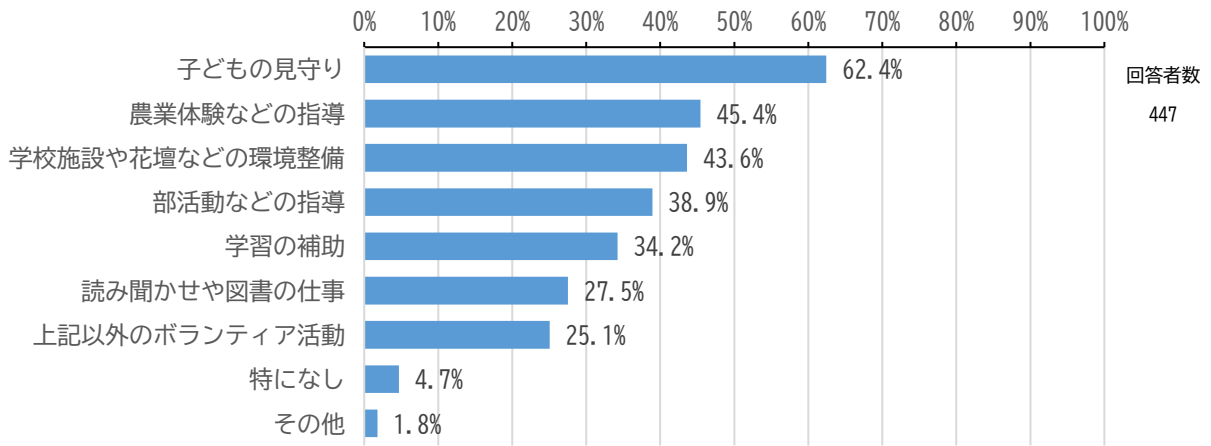
- 子どもの地域行事等への保護者や地域住民の積極的な参加
- 保護者の参画意識の向上
- ▣ 学校の授業への地域住民の協力
- ▤ 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会
- ▥ 運動会等の学校行事への保護者や地域住民の協力
- ▦ 地域行事に参加できるような工夫
- ▧ 学校から保護者や地域への情報提供
- ▨ 学校開放日等の設置による地域の人の学校参観
- ▩ 学校施設の地域への開放
- その他



※ 回答割合上位7位以降の項目を再掲（単位：％）

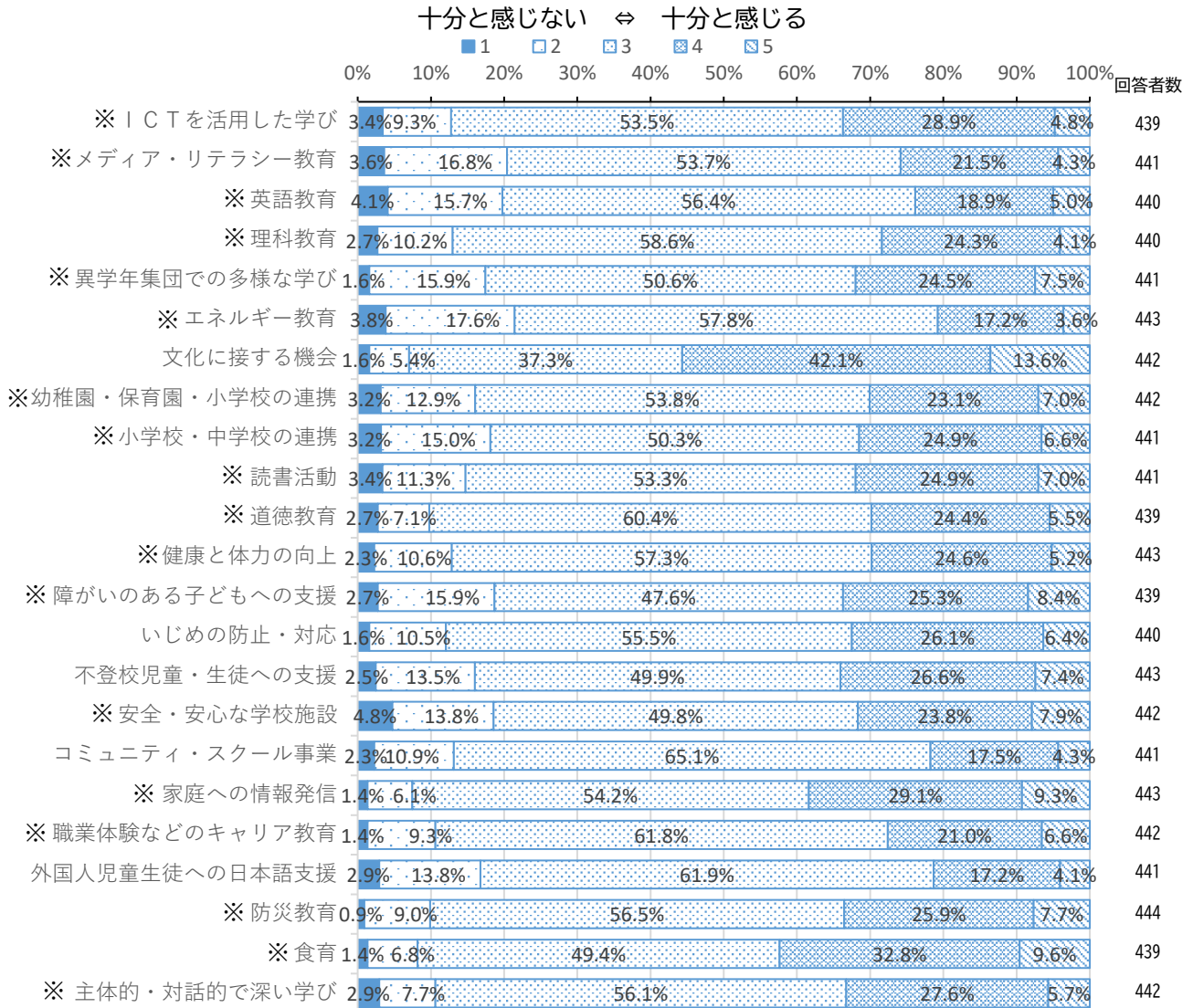
学校等	学校から保護者や地域への情報提供	学校開放日等の設置による地域の人の学校参観	学校施設の地域への開放	その他
全体	6.3	4.5	4.5	1.8
保育園	9.9	1.4	0.0	0.0
幼稚園	8.3	8.3	16.7	8.3
小学校	4.6	4.6	3.1	1.5
中学校	5.2	6.0	6.0	2.6
高等学校	9.6	3.8	9.6	1.9

エ 学校等が、地域に協力してもらいたいことがありますか（問24 複数回答）



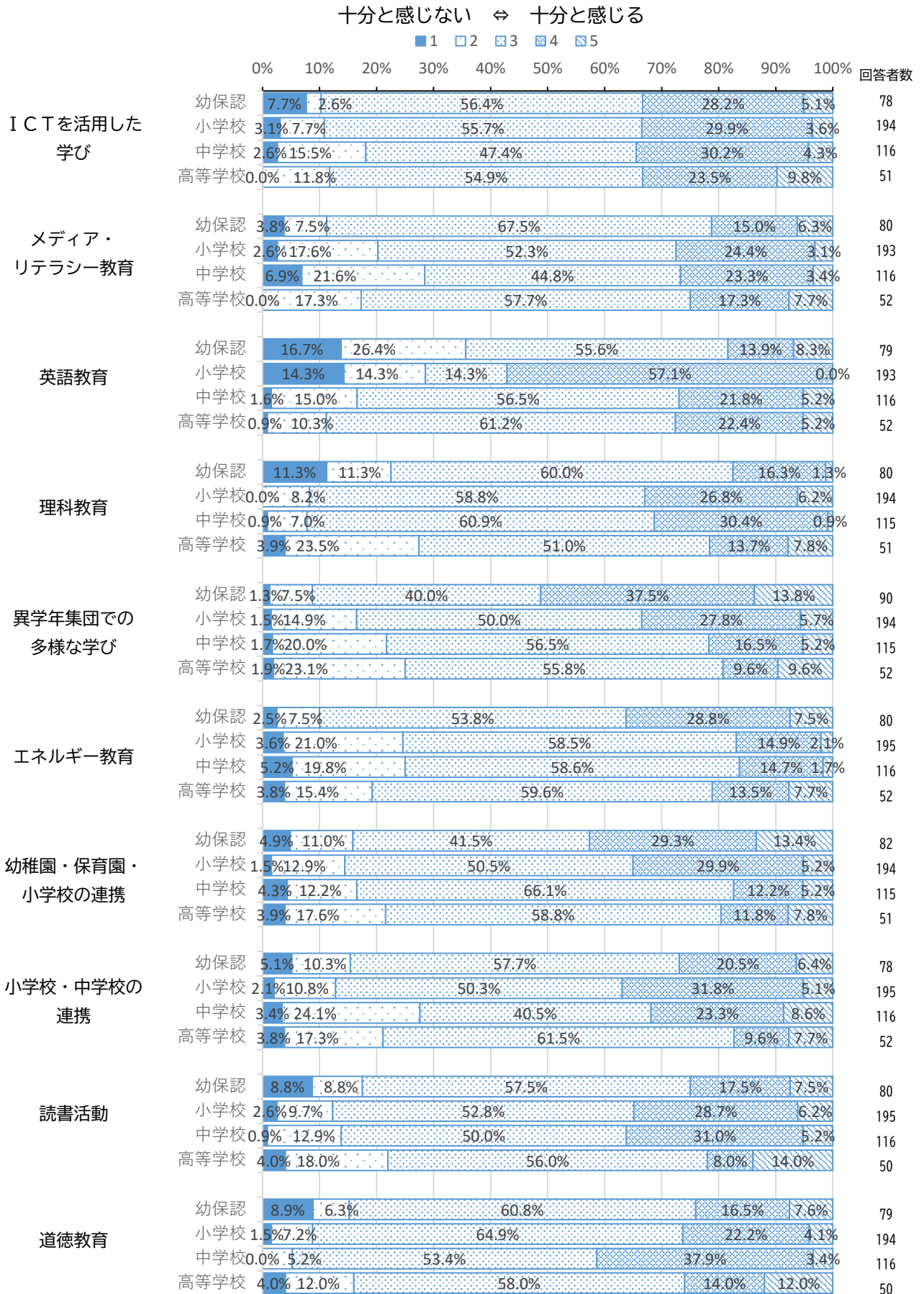
(5) 松本市の教育に関して

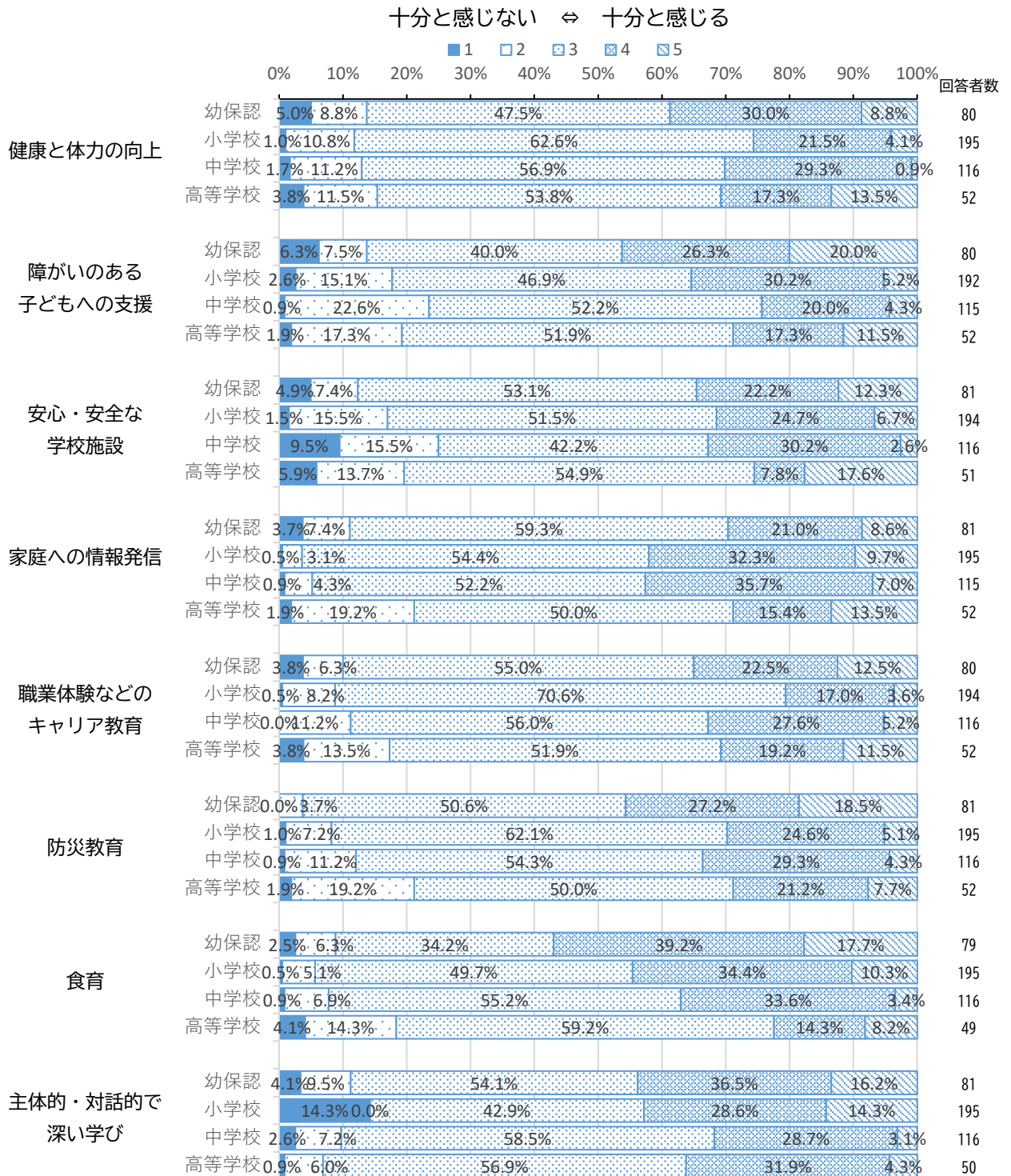
ア 松本市の教育の「現在の状況」について、考えに最も近い番号を選んでください（問15）



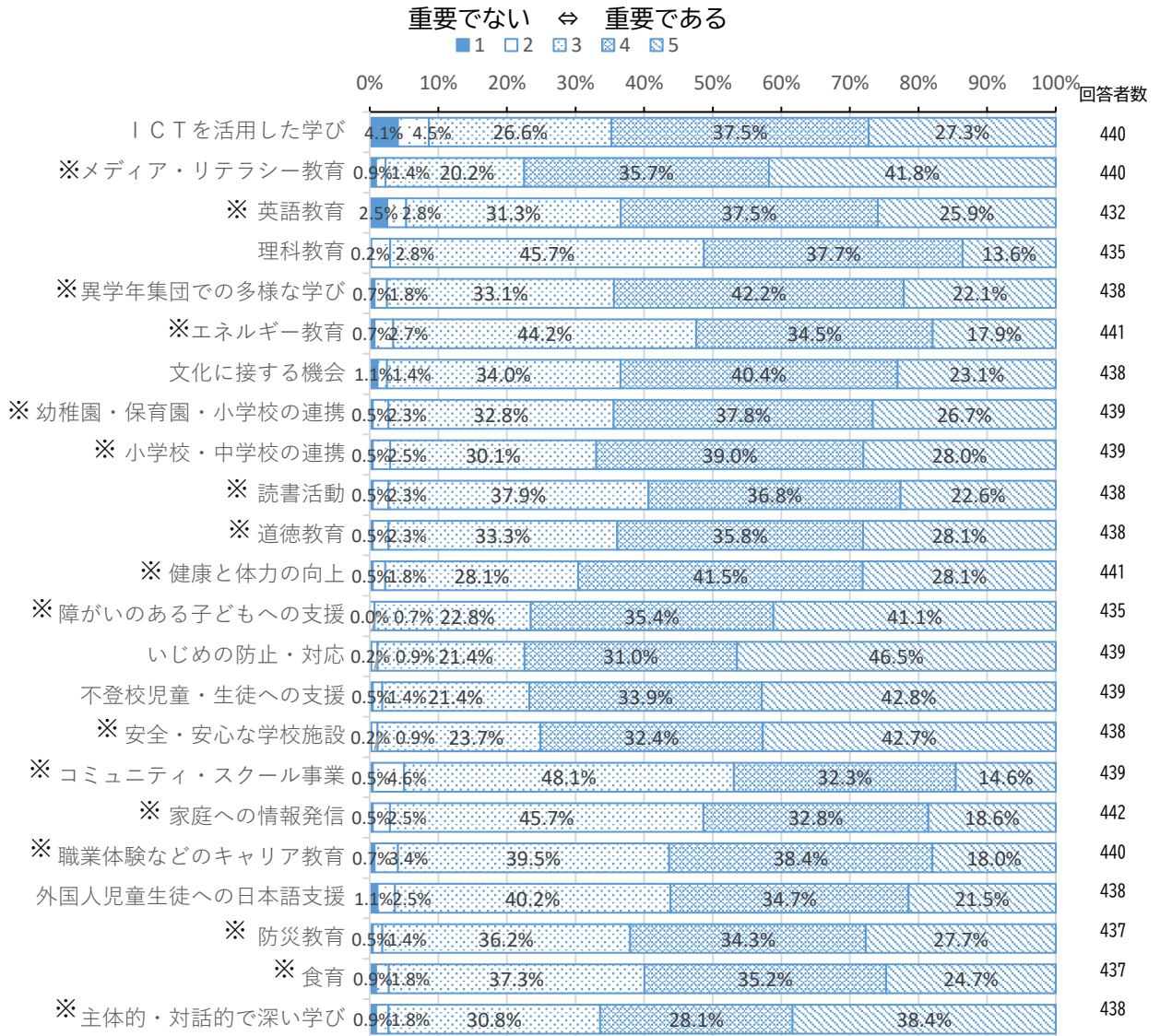
※ 学校等の区分によって回答に差がある項目（次ページ掲載）

※ 学校等の区分によって回答に差がある項目



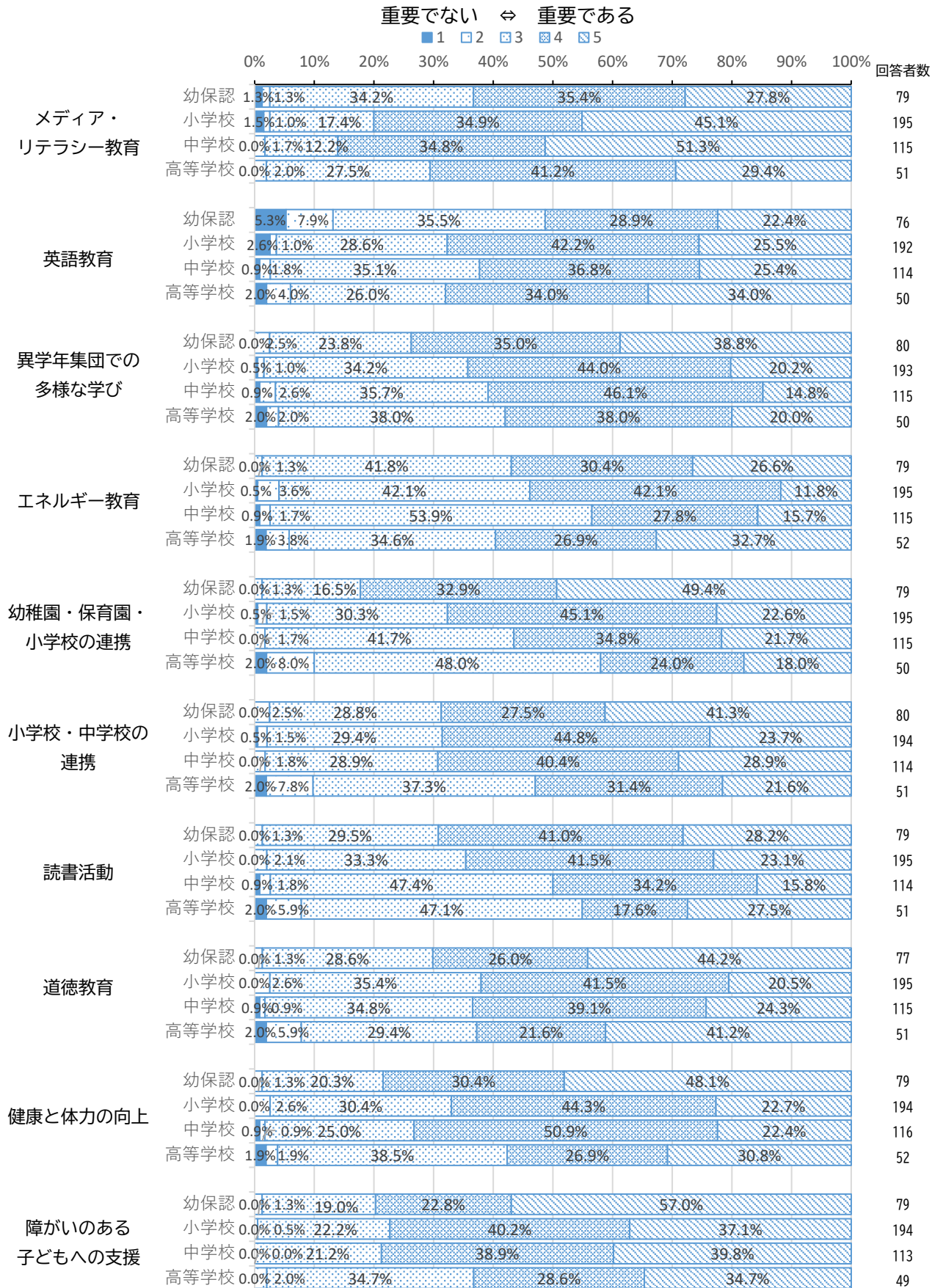


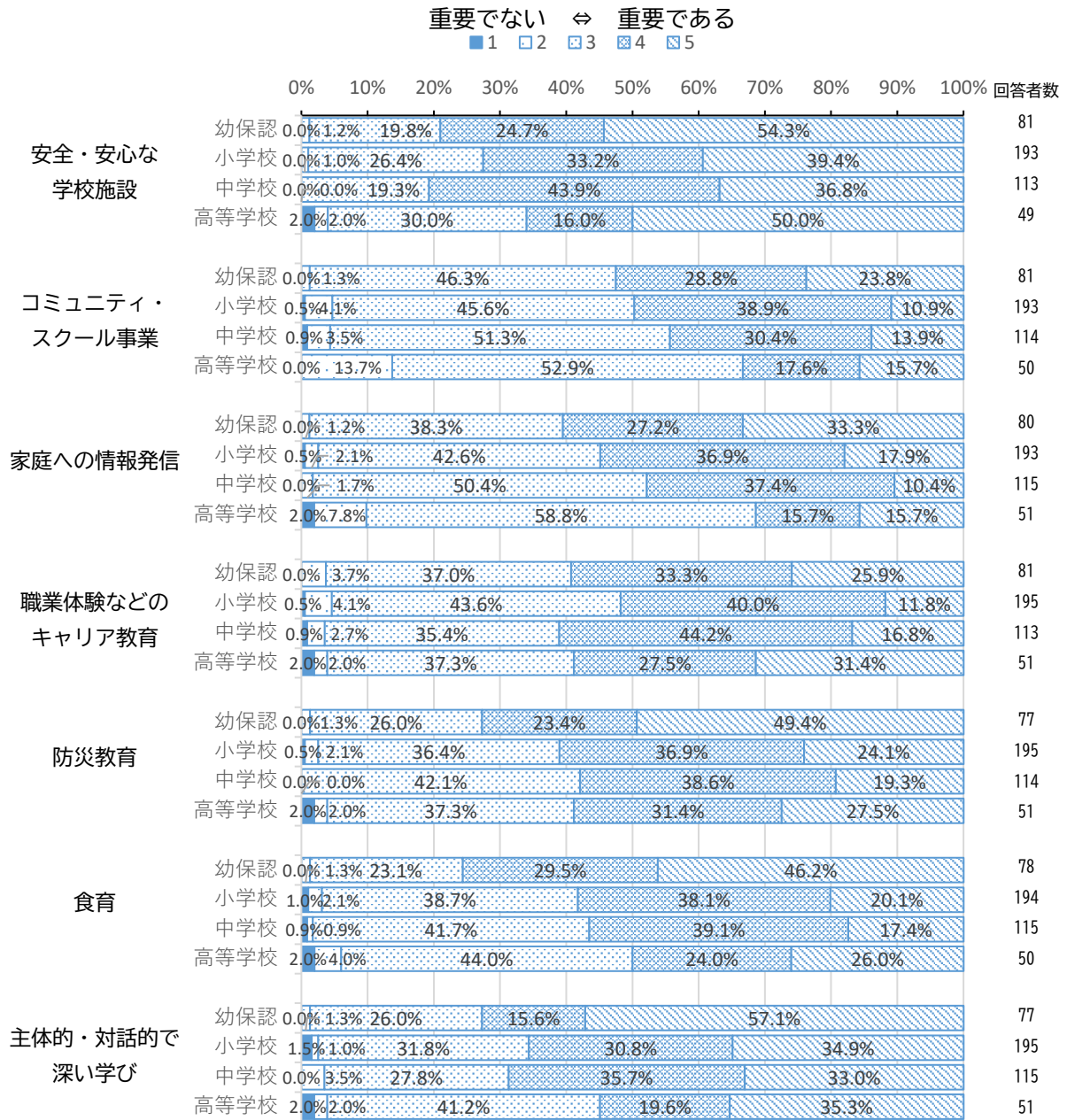
イ 松本市の教育の「今後の重要度」について、考えに最も近い番号を選んでください（問16）



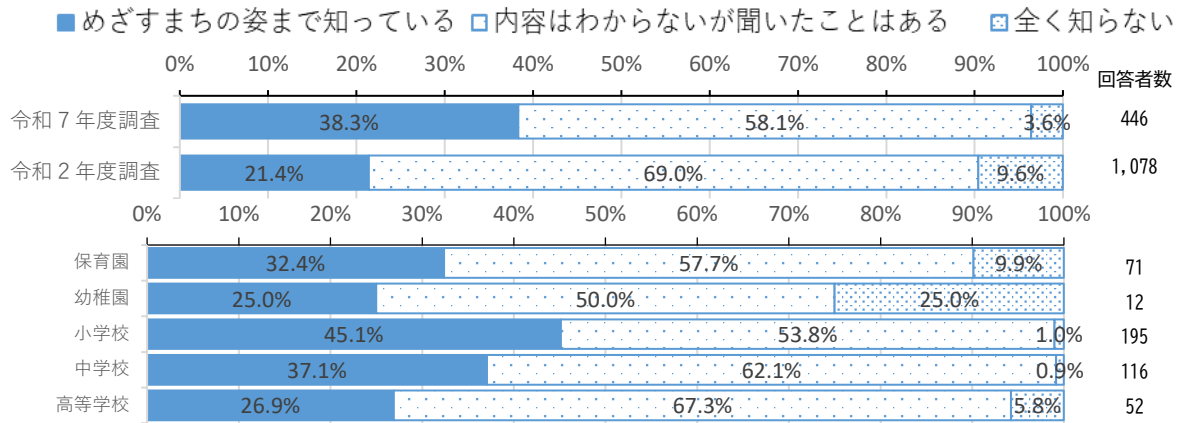
※ 学校等の区分によって回答に差がある項目（次ページ掲載）

※ 学校等の区分によって回答に差がある項目

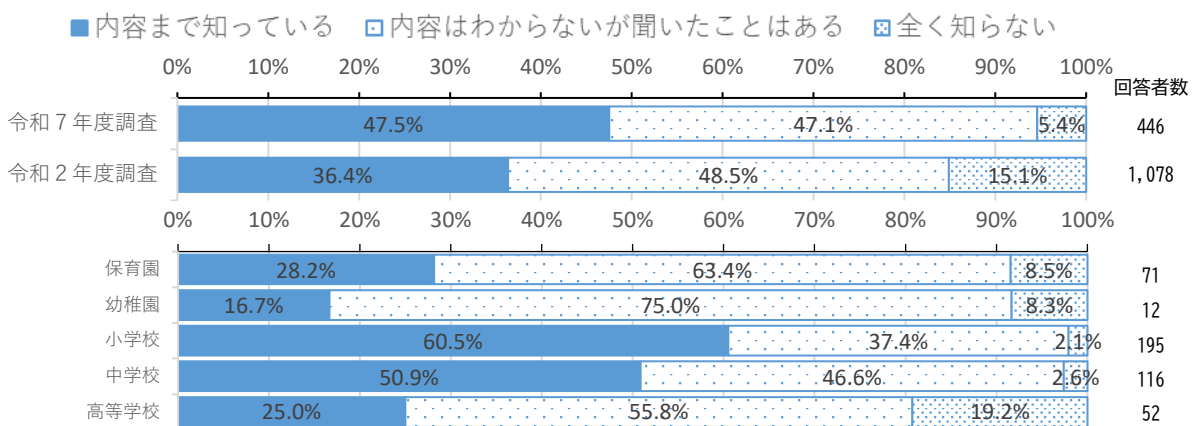




ウ 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか（問25）



エ 「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか（問26）



オ 松本市の学校教育について（問27 自由記述） 回答数 58

項目（主な内容）	割合（%）
学校教育に関わる手厚い予算配分（備品、消耗品など、予算が足りていない）、 学校施設・設備の改修（校舎や設備の老朽化）	22.4
教員等の人員確保、労働環境の改善（加配・支援スタッフの拡大、膨大な仕事量）	19.0
学習指導（基礎学力や特定科目の学力の低さに関して など）	13.8
学校間の格差（教育内容、地域など学校を取り巻く環境、施設面の格差）	10.3
保護者への対応（保護者対応に苦慮している、保護者への情報共有を進めてほしい）	8.6
行政組織などに関して（幼児教育・学校教育の連携、インクルーシブセンターに関して）	8.6
その他（ICT機器の扱い、取り組みへの感謝 など） ※内容が多岐にわたり、分類した項目の割合が4%を下回るため、その他として集計	22.4

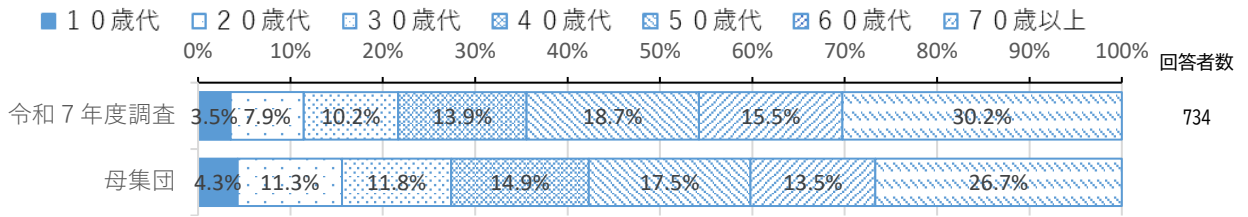
カ 松本市の教育全般について（問28 自由記述） 回答数 39

項目（主な内容）	割合（%）
学校教育に関わる手厚い予算配分（学校設備、備品、消耗品など、予算が足りていない）	25.6
教員等の人員確保、労働環境の改善（人手不足、賃金を上げてほしい）	15.4
教育の方針など（どのような松本市を目指すのか など）	10.3
保護者対応、家庭との連携（保護者との協力、家庭と学校とのつながりが大切）	7.7
I C T教育・活用（整備を進めてほしい）	7.7
行政組織などに関して（学校と教育委員会、幼保小中高の連携 など）	7.7
部活動地域移行（保護者の反発、今後の進め方に関する意見 など）	7.7
その他（アンケートに関する要望、取り組みへの感謝 など）	28.2
※内容が多岐にわたり、分類した項目の割合が4%を下回るため、その他として集計	

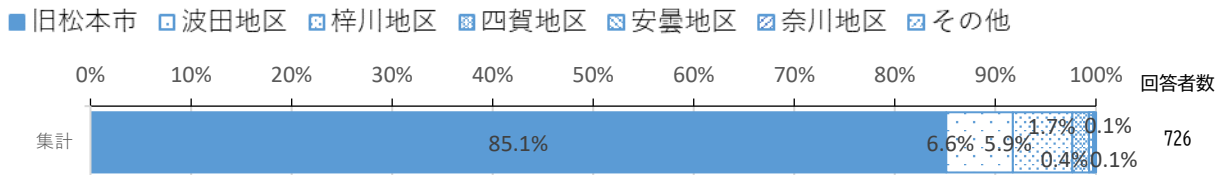
4 一般

(1) 回答者属性

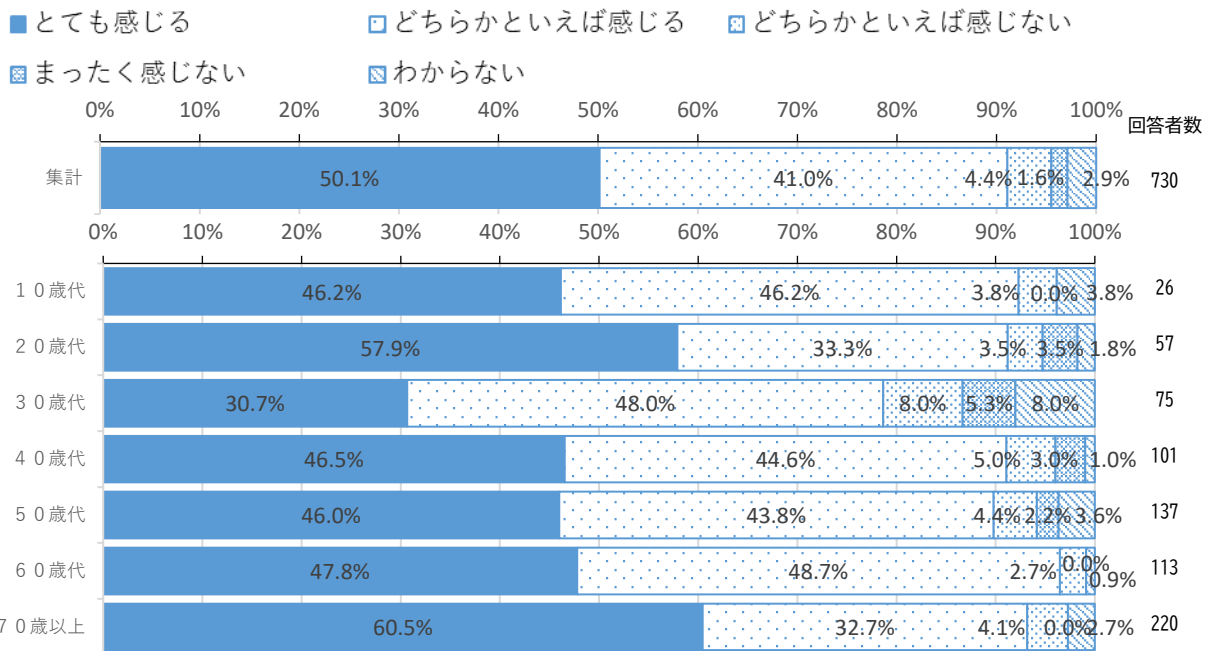
ア 年代 (問1)



イ 居住地区 (問2)

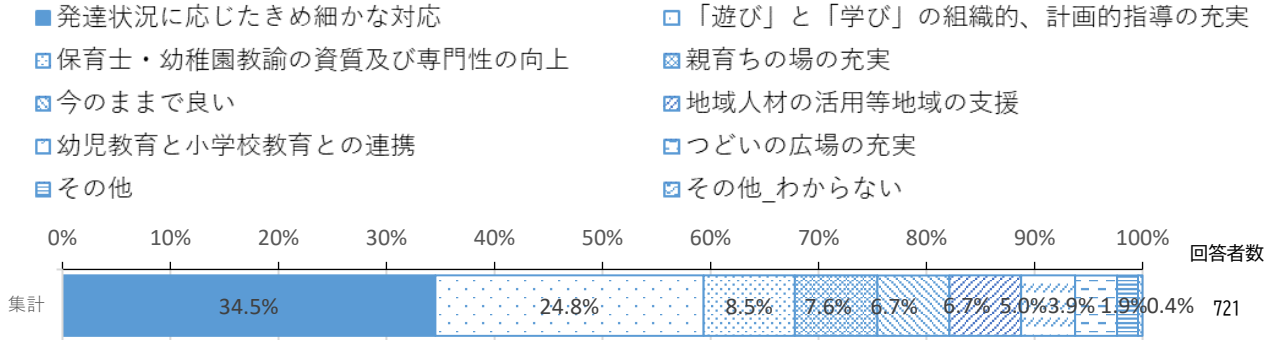


ウ 松本市に親しみや愛着を感じますか (問3)

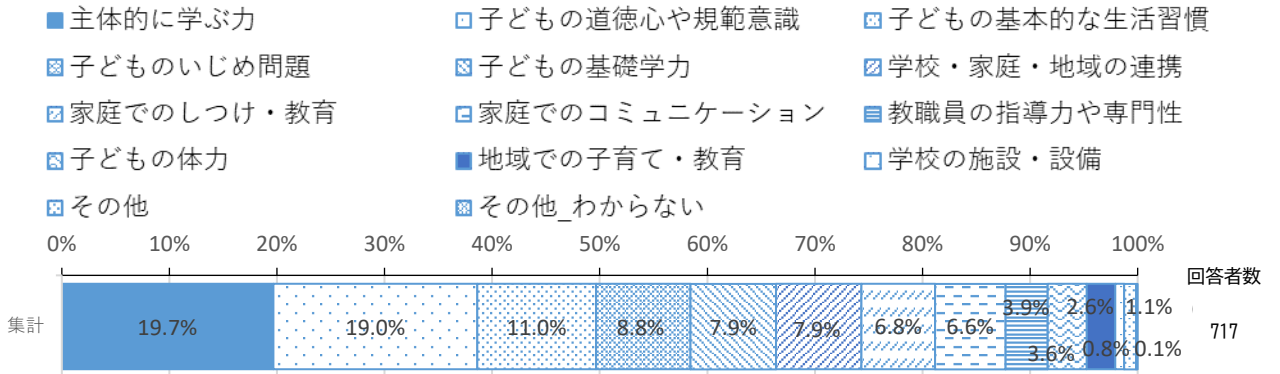


(2) 子どもの教育に関して

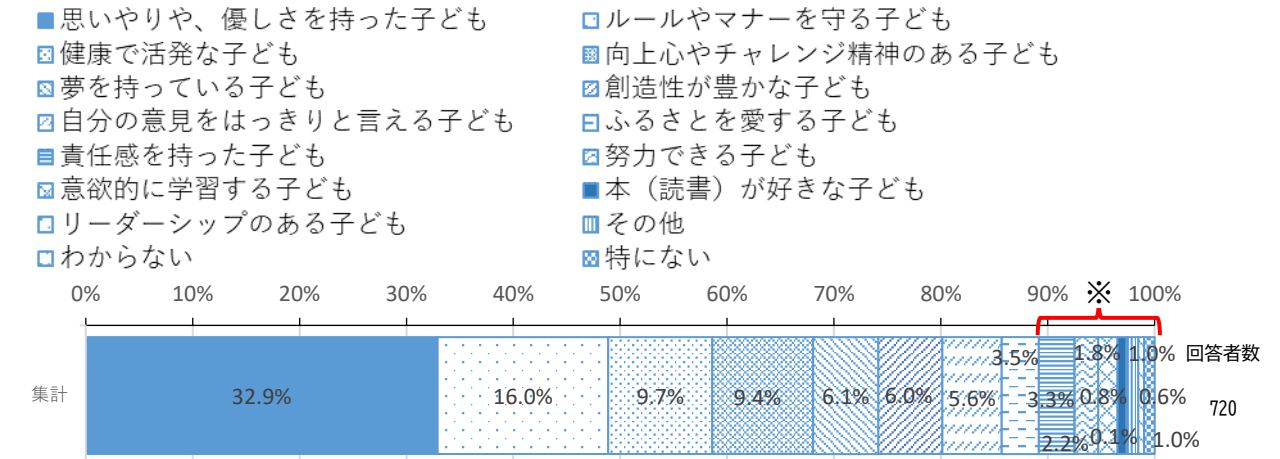
ア 幼児教育の充実には、どのような取組みが必要だと思いますか (問4 単一回答)



イ 子どもの教育について、関心のあることは何ですか (問5 単一回答)



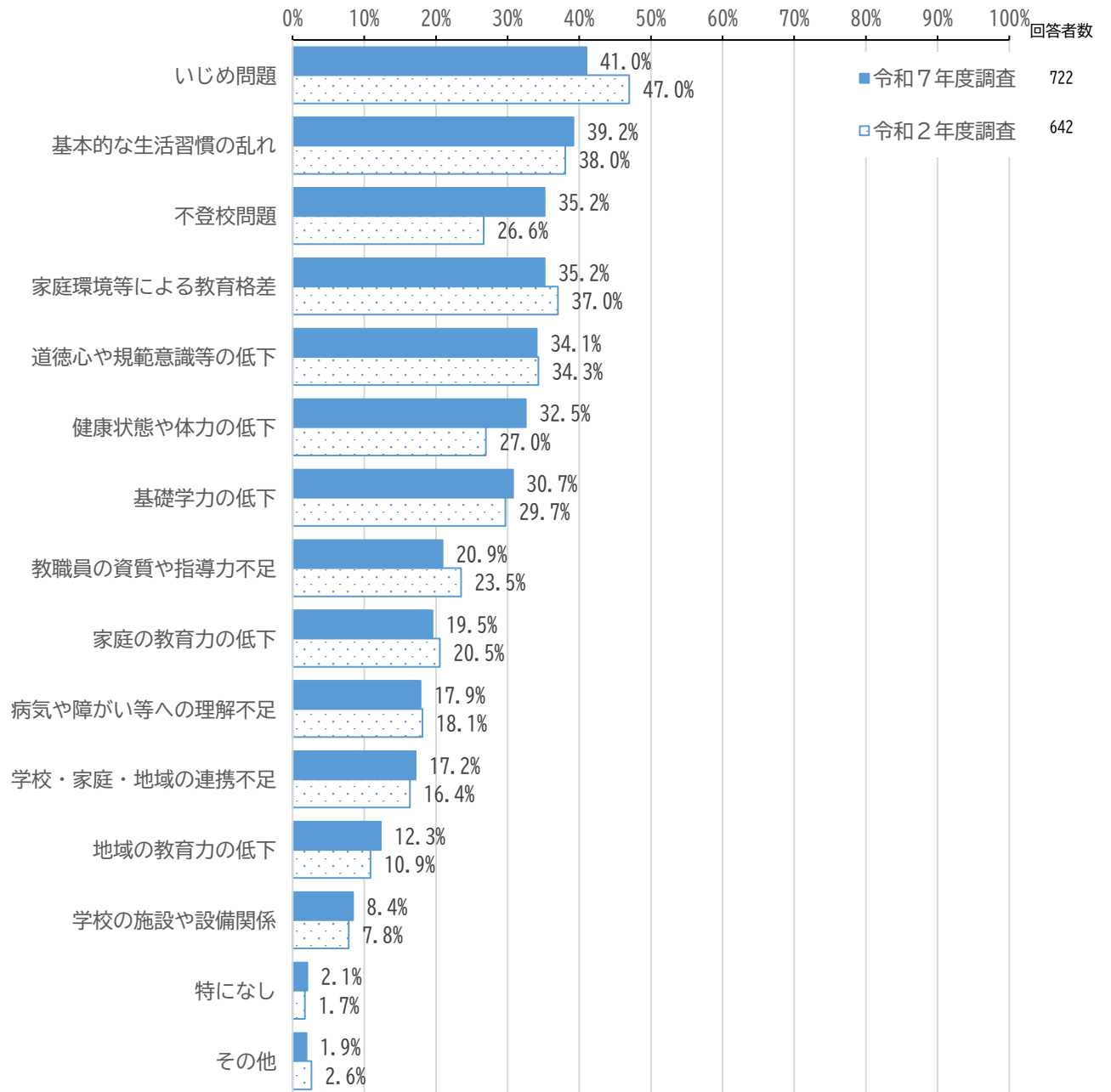
ウ 松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか (問6 単一回答)



※ 回答割合上位9位以降の項目を再掲 (単位：%)

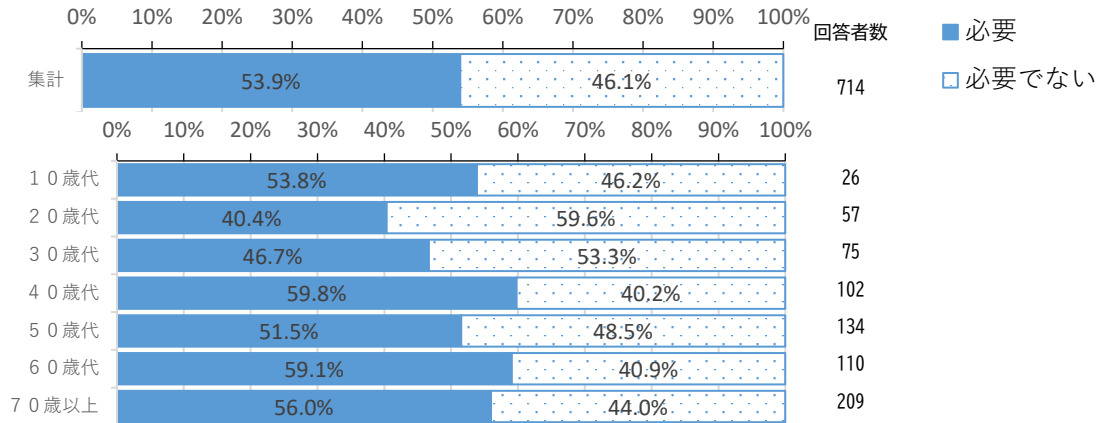
区分	責任感を持った子ども	努力できる子ども	意欲的に学習する子ども	本(読書)が好きな子ども	リーダーシップのある子ども	その他	わからない	特にない
全体	3.3	2.2	1.8	0.8	0.1	1.0	0.6	1.0

エ 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか（問8 複数回答）

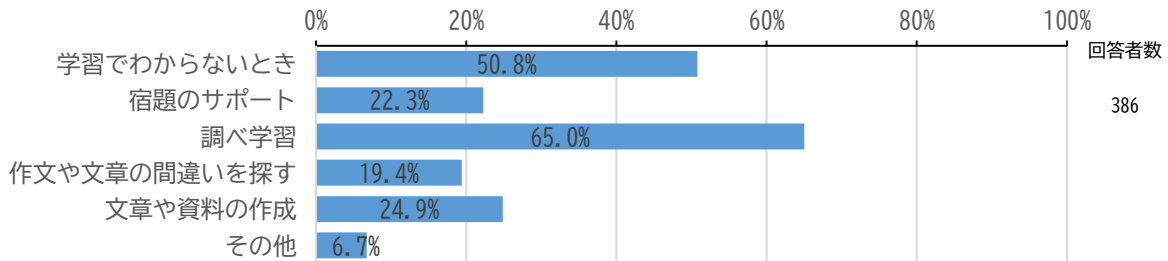


オ 子どもの学びにA I※は必要だと思いますか（問16）

※ A Iとは、人工知能（Artificial Intelligence）の略で、コンピューターが人間のように学習、推論、判断を行う技術です。ChatGPT、Gemini など



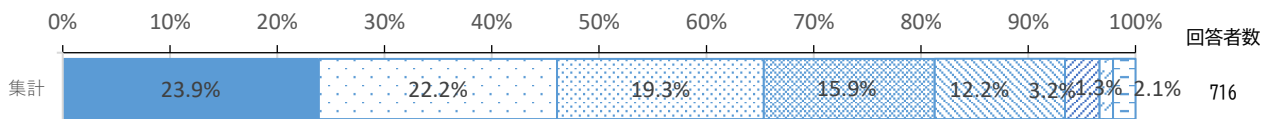
カ A Iはこういった用途で使うのが好ましいと思いますか（問17 複数回答）



(3) 家庭に関して

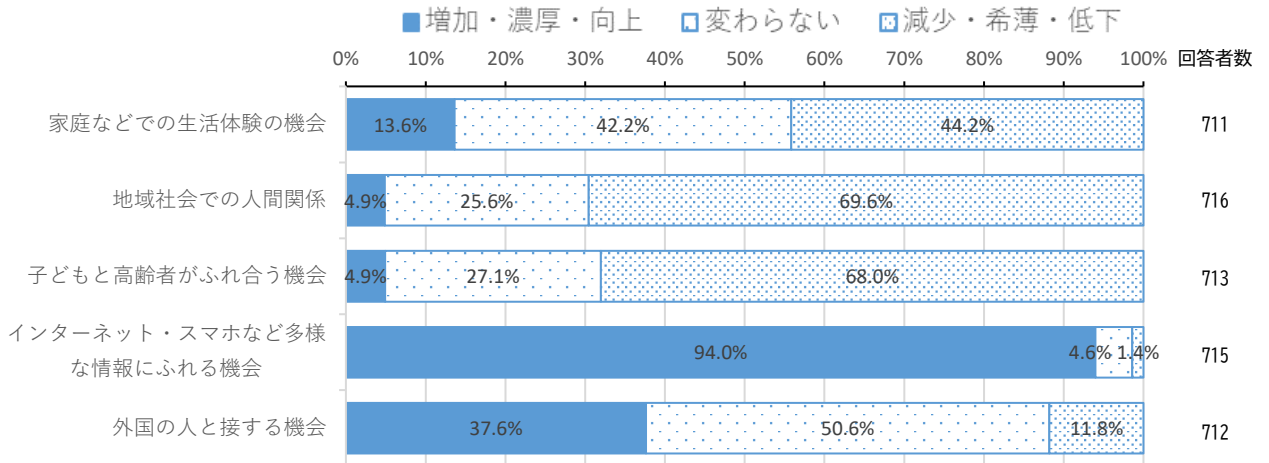
ア 家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか（問13 単一回答）

- 大人が自ら見本となる意識の向上
- 子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定
- しつけや教育について相談できる場の充実
- 子どもと保護者が一緒に読書を行う機会の充実
- 子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実
- 食事を通じた家族だんらんの場の設定
- 保護者同士の情報交換の場の設定
- その他



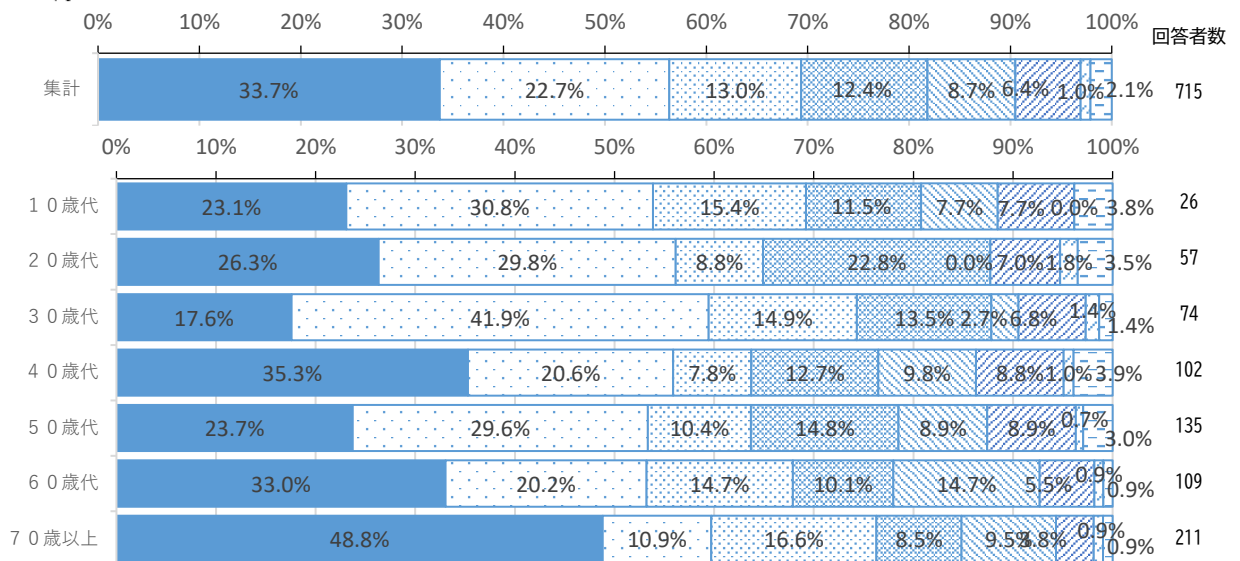
(4) 地域社会に関して

ア 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか
(問7 各項目について単一回答)



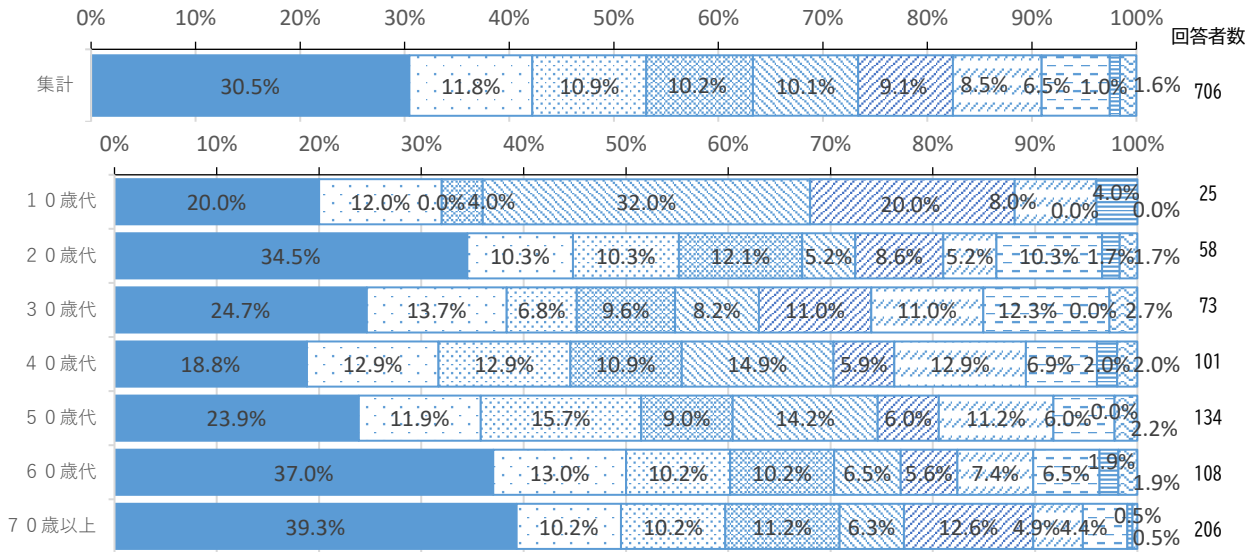
イ 地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか (問14 単一回答)

- 地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける
- 良好な治安、環境の維持
- 地域活動、行事への積極的参加
- 地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進
- 伝統・文化・芸能等の子どもへの伝承
- 大人同士の近所付き合いの活発化
- その他
- 特になし

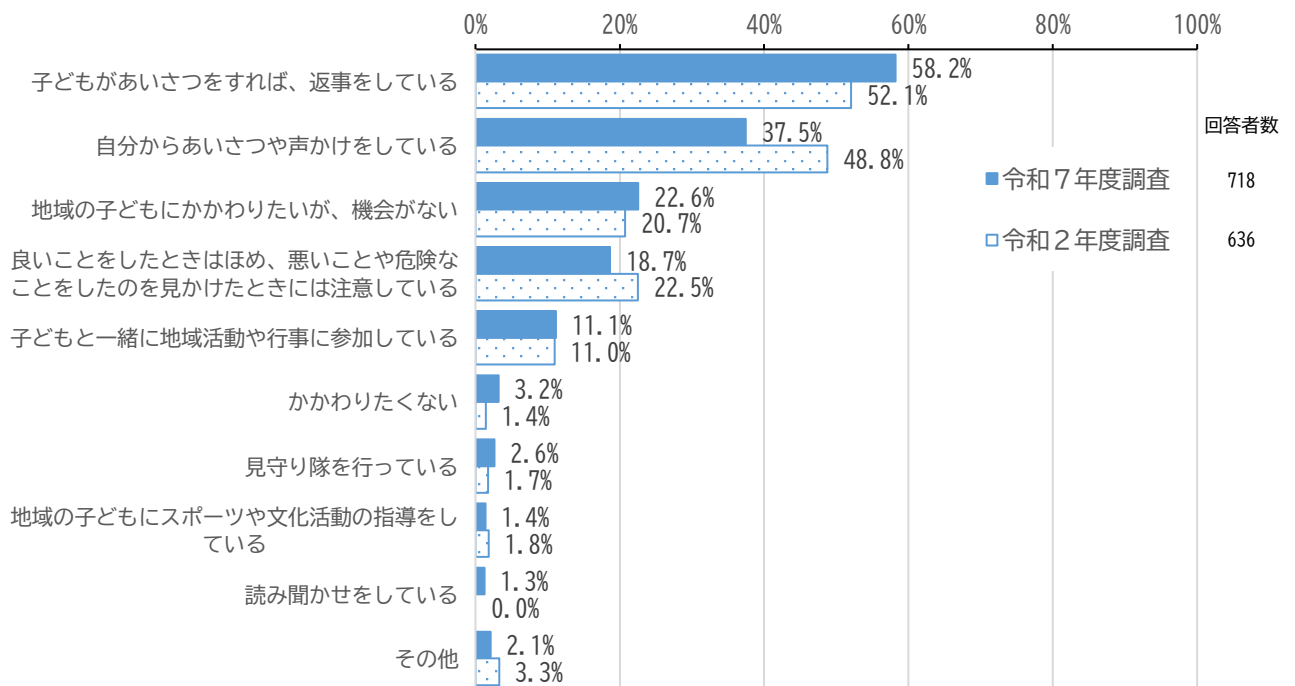


ウ 学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか（問15 単一回答）

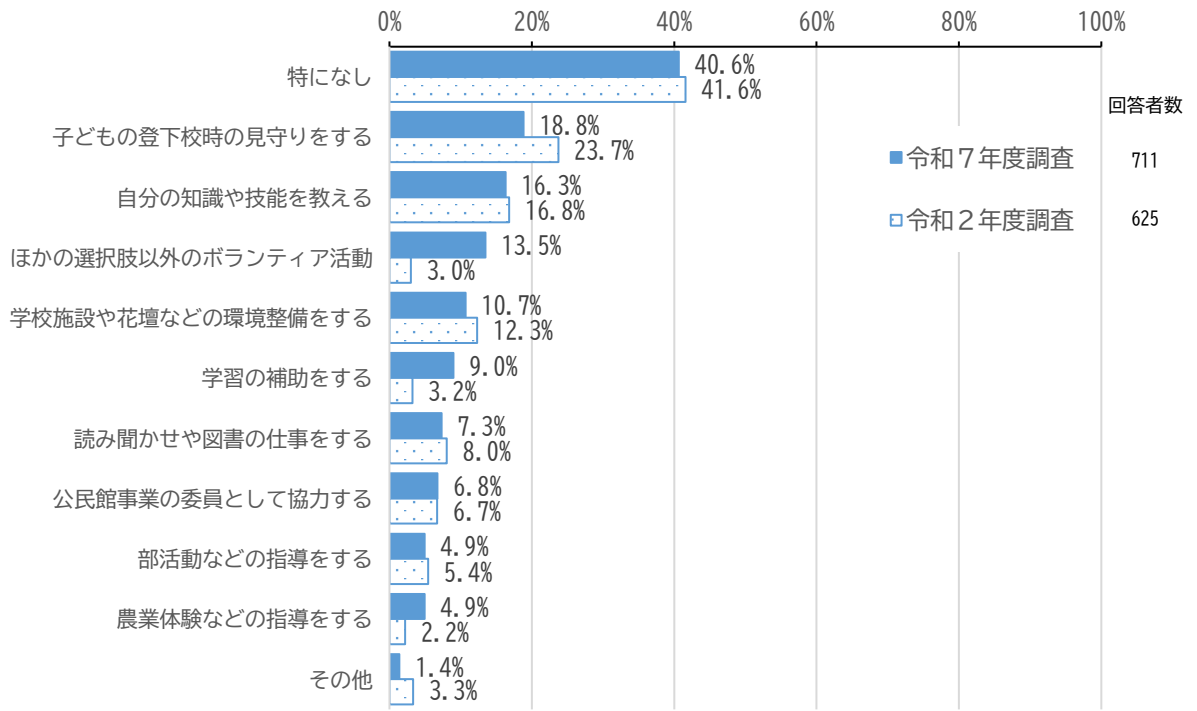
- 子どもの地域行事等への保護者や地域住民の積極的な参加
- 地域行事に参加できるような工夫
- ▣ 保護者の参画意識の向上
- ▤ 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会
- ▥ 学校から保護者や地域への情報提供
- ▦ 運動会等の学校行事への保護者や地域住民の協力
- ▧ 学校の授業への地域住民の協力
- ▨ 学校施設の地域への開放
- ▩ 学校開放日等の設置による地域の人々の学校参観
- その他



エ 普段、地域でどのように子どもに接していますか（問16 複数選択）



オ 地域や学校に協力できることがありますか（問17 複数選択）

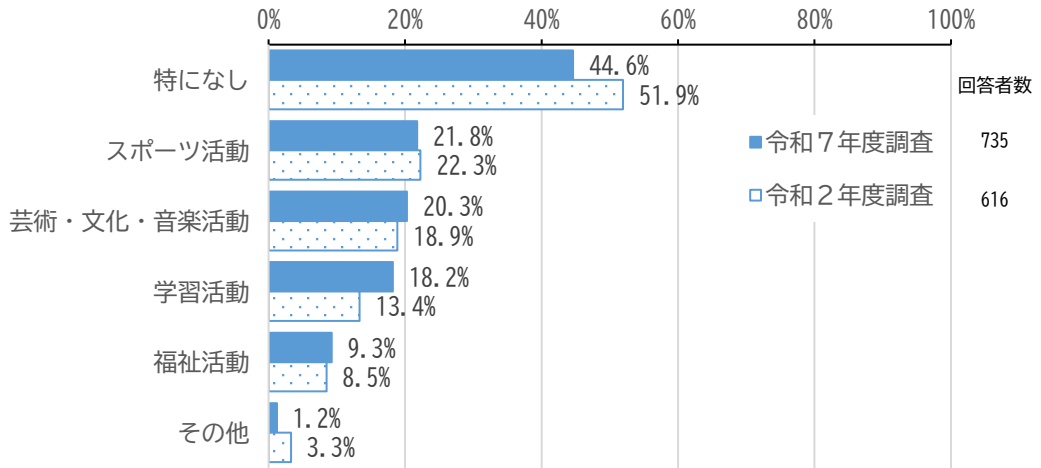


年代	回答者数	特になし	子どもの登下校時の見守りをする	自分の知識や技能を教える	ほかの選択肢以外のボランティア活動	学校施設や花壇などの環境整備をする	学習の補助をする	読み聞かせや図書の仕事を する	公民館事業の委員として 協力する	部活動などの指導をする	農業体験などの指導をする	その他
10歳代	26	38.5	26.9	23.1	30.8	7.7	23.1	7.7	3.8	15.4	7.7	0.0
20歳代	58	37.9	12.1	19.0	10.3	8.6	13.8	8.6	0.0	12.1	1.7	0.0
30歳代	75	41.3	17.3	20.0	13.3	5.3	9.3	1.3	1.3	6.7	8.0	1.3
40歳代	102	39.2	21.6	15.7	18.6	15.7	7.8	7.8	5.9	3.9	2.0	2.0
50歳代	137	41.6	19.0	16.8	12.4	9.5	8.8	13.1	5.1	5.8	3.6	4.4
60歳代	114	32.5	15.8	14.0	15.8	10.5	10.5	7.9	11.4	3.5	3.5	0.0
70歳以上	222	41.6	18.6	13.1	8.1	10.9	5.0	4.1	9.0	1.4	6.3	0.5

回答割合の上位3項目を着色 (単位: %)

(5) 生涯学習に関して

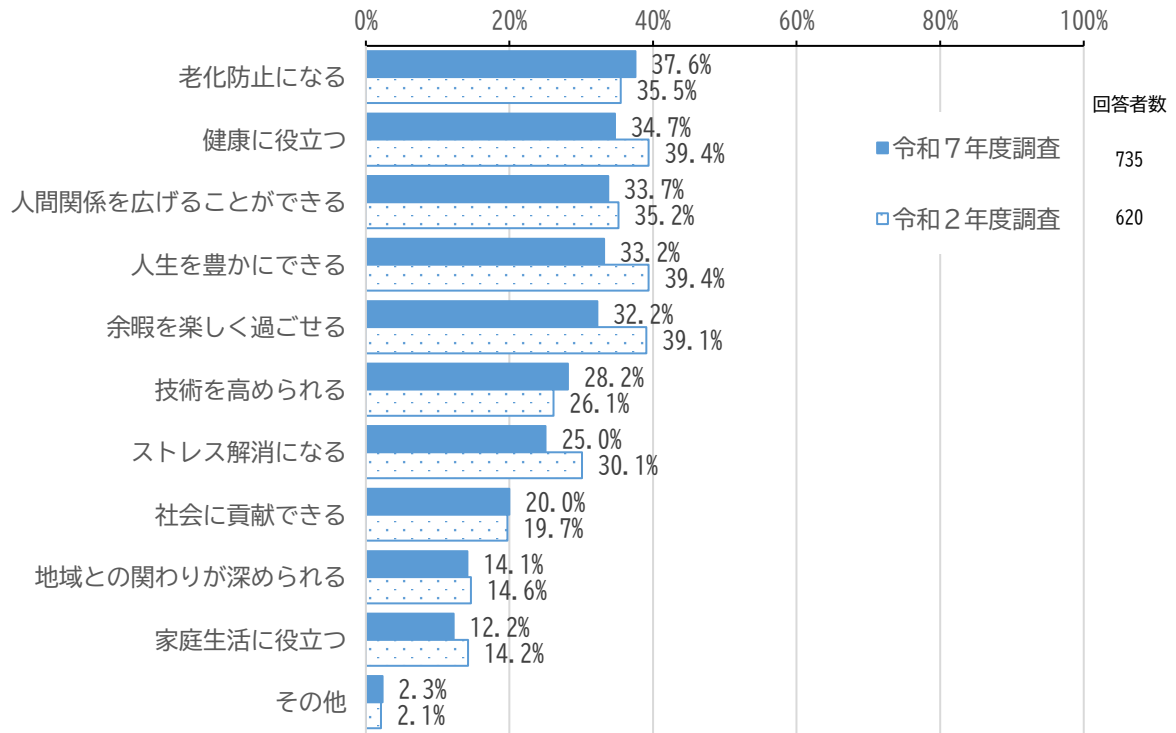
ア どんな生涯学習活動をしていますか（問18 複数回答）



年代	回答者数	特になし	スポーツ活動	芸術・文化・音楽活動	学習活動	福祉活動	その他
10歳代	26	30.8	26.9	30.8	50.0	7.7	0.0
20歳代	58	31.0	31.0	17.2	27.6	10.3	0.0
30歳代	75	54.7	18.7	17.3	25.3	4.0	0.0
40歳代	102	46.1	23.5	20.6	19.6	7.8	1.0
50歳代	137	48.2	20.4	21.2	16.8	5.8	0.7
60歳代	114	47.4	21.9	19.3	14.0	7.9	0.9
70歳以上	222	42.3	19.4	20.7	12.2	14.4	2.7

回答割合の上位1項目を着色（単位：%）

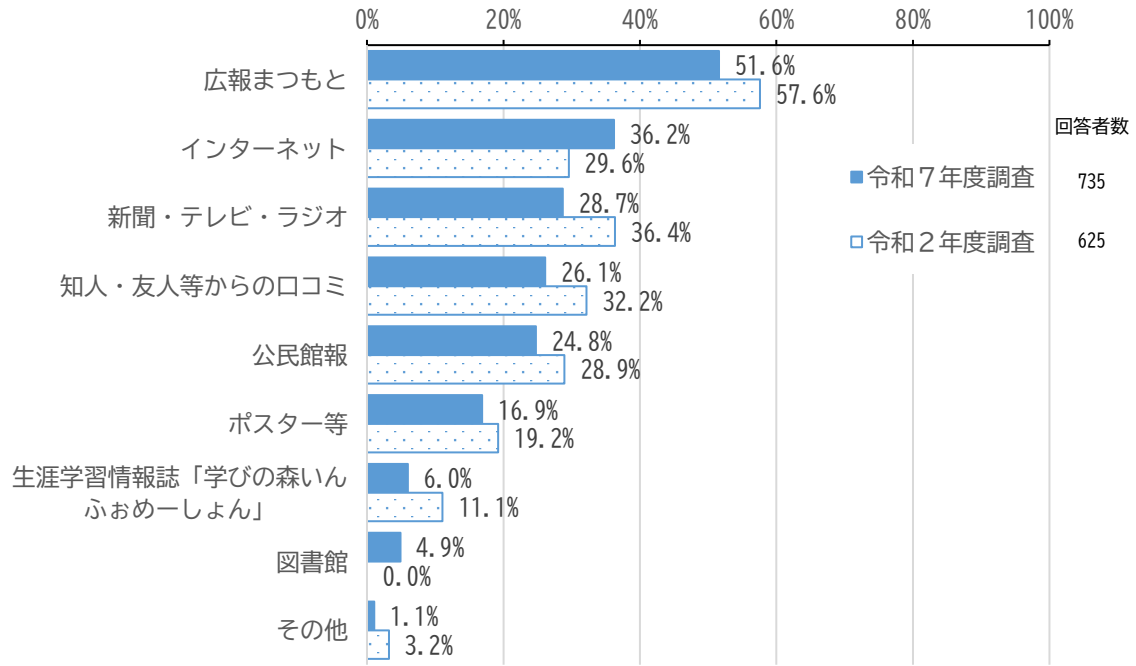
イ 生涯学習活動を始め理由は何ですか（問19 複数回答）



年代	回答者数	老化防止になる	健康に役立つ	人間関係を広げることができる	人生を豊かにできる	余暇を楽しく過ごせる	技術を高められる	ストレス解消になる	社会に貢献できる	地域との関わりが深められる	家庭生活に役立つ	その他
10歳代	26	7.7	19.2	42.3	38.5	34.6	38.5	38.5	19.2	3.8	26.9	7.7
20歳代	58	13.8	32.8	24.1	34.5	31.0	37.9	31.0	19.0	12.1	17.2	0.0
30歳代	75	20.0	30.7	32.0	33.3	28.0	40.0	21.3	21.3	12.0	25.3	2.7
40歳代	102	19.6	27.5	31.4	28.4	32.4	30.4	33.3	22.5	13.7	12.7	2.9
50歳代	137	32.8	36.5	30.7	38.0	31.4	32.1	22.6	21.9	12.4	10.9	3.6
60歳代	114	50.9	41.2	35.1	32.5	29.8	20.2	25.4	21.1	11.4	8.8	0.9
70歳以上	222	57.7	37.4	37.8	32.0	35.6	21.2	20.7	17.1	19.4	7.2	1.8

回答割合の上位3項目を着色（単位：%）

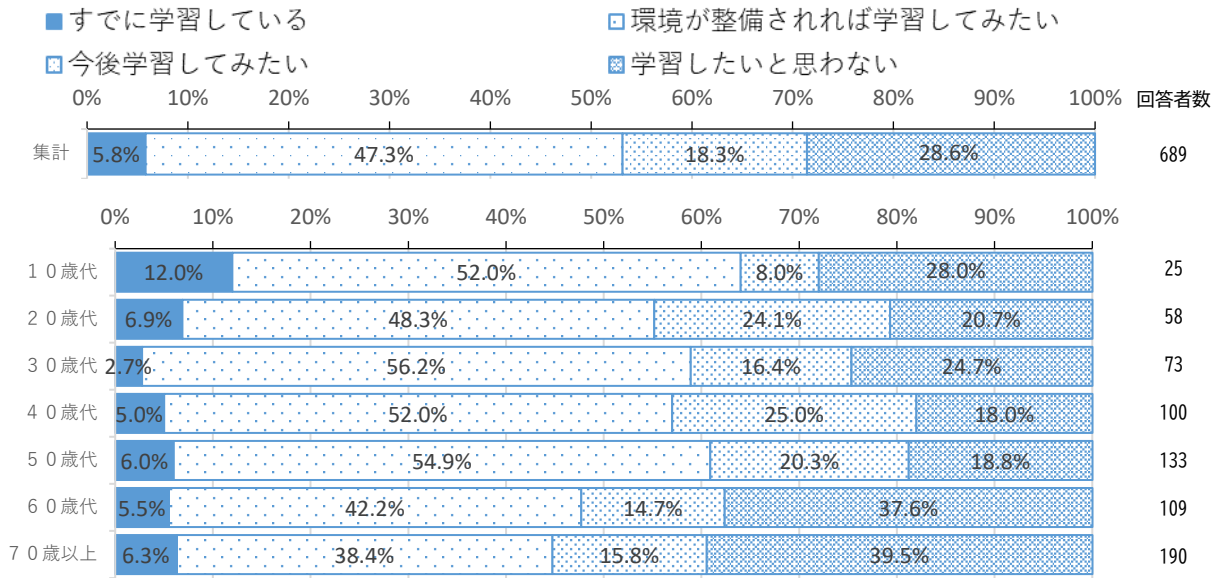
ウ 学習情報やサークル情報をどのように知りますか（問20 複数回答）



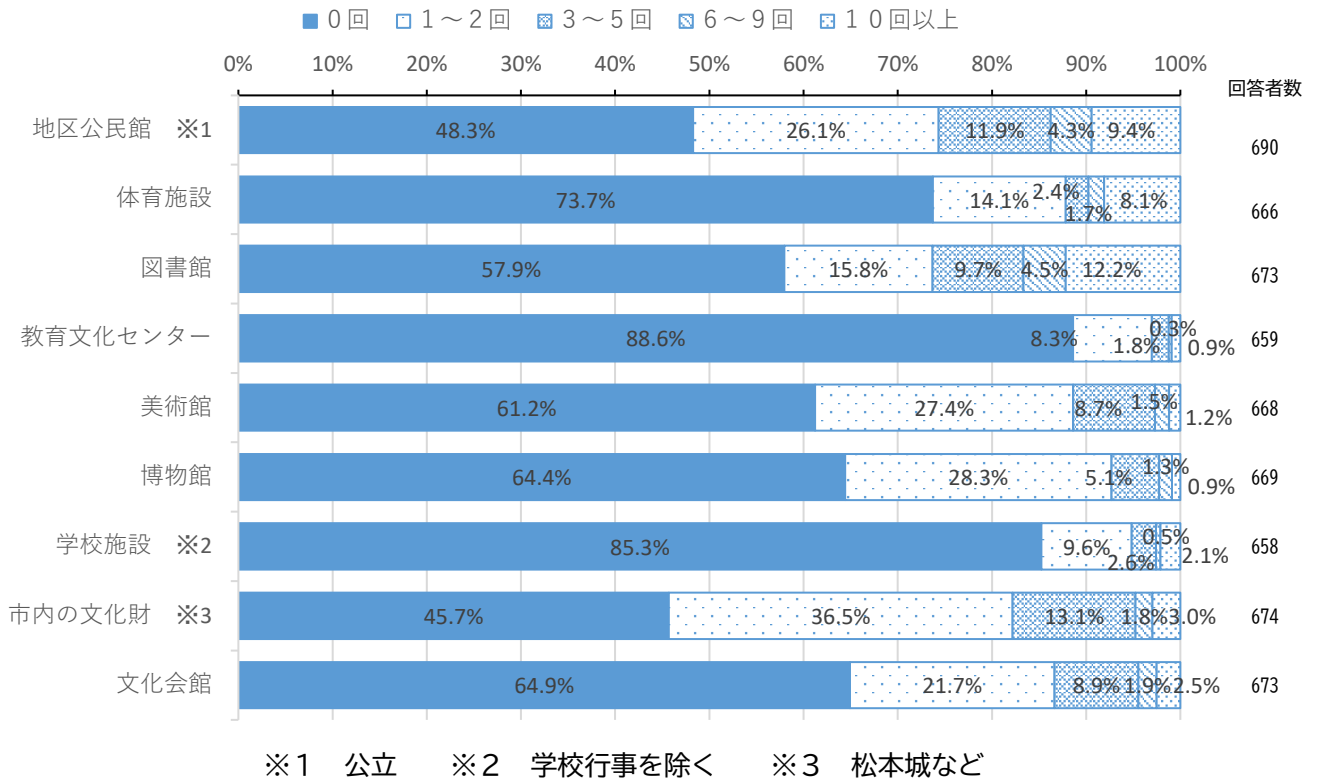
年代	回答者数	広報まつもと	インターネット	新聞・テレビ・ラジオ	知人・友人等からの口コミ	公民館報	ポスター等	生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」	図書館	その他
10歳代	26	23.1	61.5	30.8	26.9	15.4	19.2	3.8	3.8	0.0
20歳代	58	22.4	56.9	10.3	20.7	5.2	17.2	0.0	6.9	1.7
30歳代	75	44.0	50.7	10.7	21.3	5.3	20.0	4.0	6.7	1.3
40歳代	102	41.2	56.9	18.6	30.4	9.8	22.5	2.0	7.8	2.0
50歳代	137	52.6	49.6	24.8	21.9	20.4	15.3	5.8	4.4	0.7
60歳代	114	61.4	23.7	36.0	22.8	31.6	21.1	15.8	5.3	1.8
70歳以上	222	64.4	11.7	42.8	31.1	43.7	11.7	5.4	2.7	0.5

回答割合の上位2項目を着色（単位：％）

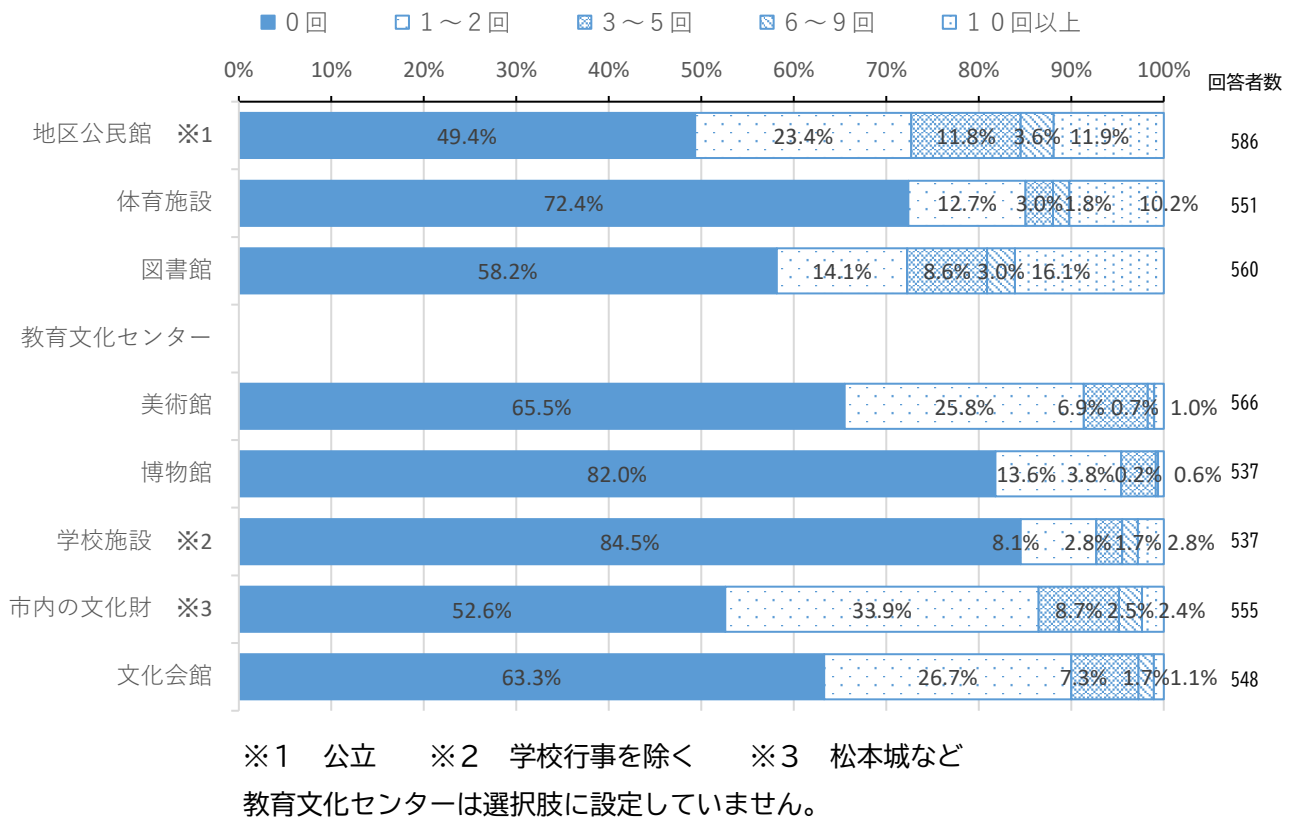
エ リカレント教育や社会人の学び直しが注目されていますが、今後、教育機関等で学習したいと思いますか（問21）



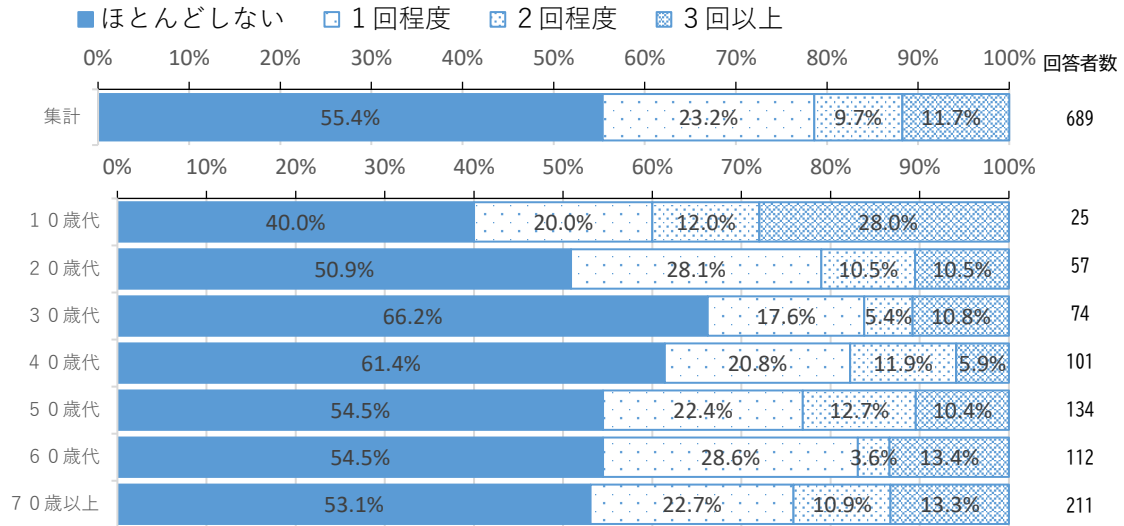
オ 昨年1年間に市内の次の施設をそれぞれどのくらい利用しましたか（問22）
（令和7年度調査）



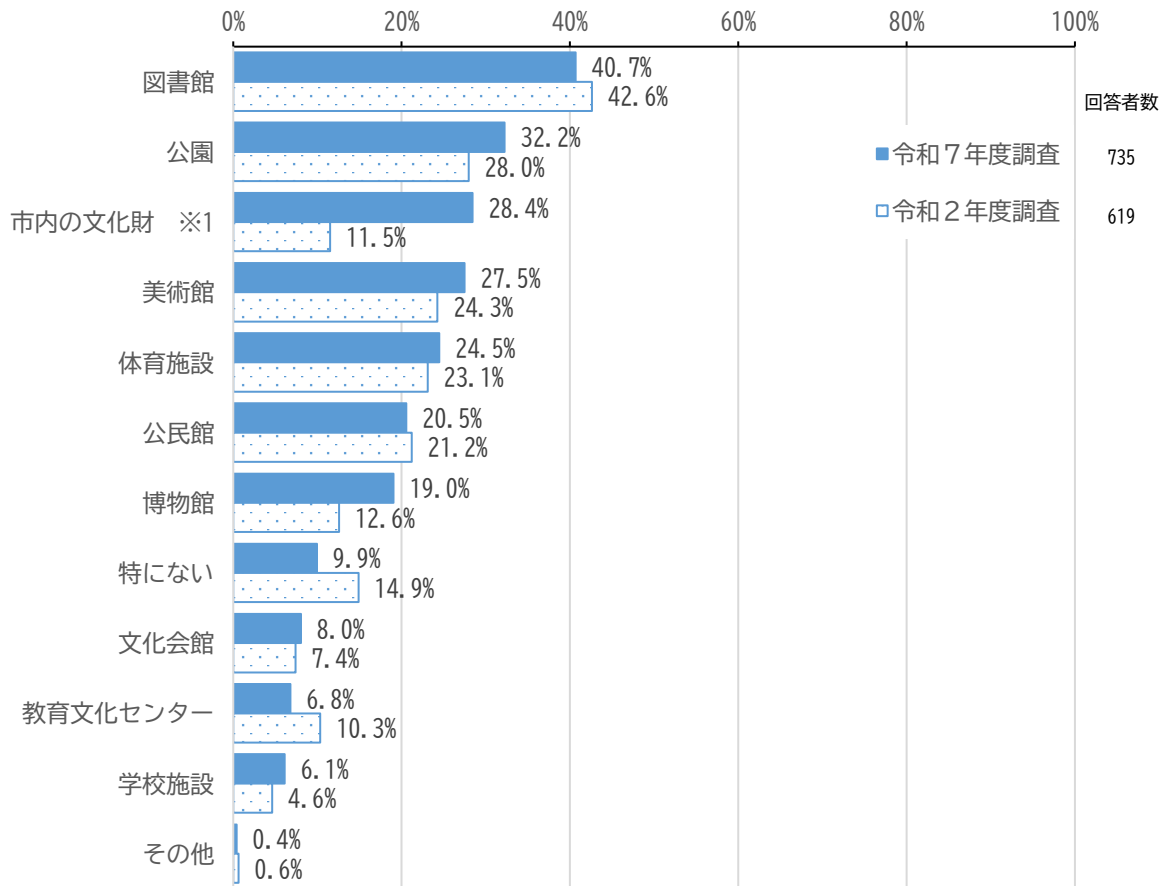
（令和2年度調査）



カ スポーツ・文化活動を週何回していますか（問23）



キ もっと活用したい又は皆に活用してほしいと思う施設はどれですか（問24 上位3つ以内）



※1 選択肢は、令和2年度調査が「松本城」、令和7年度調査が「市内の文化財（松本城など）」

年代	回答者数	図書館	公園	市内の文化財 ※1	美術館	体育施設	公民館	博物館	特にない	文化会館	教育文化センター	学校施設	その他
10歳代	26	50.0	23.1	15.4	26.9	19.2	11.5	19.2	15.4	0.0	3.8	3.8	0.0
20歳代	58	34.5	32.8	20.7	19.0	24.1	12.1	22.4	12.1	8.6	3.4	6.9	0.0
30歳代	75	44.0	50.7	32.0	21.3	30.7	9.3	18.7	9.3	0.0	9.3	8.0	1.3
40歳代	102	42.2	35.3	28.4	25.5	27.5	14.7	18.6	7.8	4.9	14.7	9.8	1.0
50歳代	137	44.5	33.6	24.1	27.7	30.7	17.5	16.1	11.7	5.8	4.4	5.1	0.0
60歳代	114	48.2	33.3	34.2	36.8	24.6	17.5	27.2	5.3	13.2	1.8	6.1	0.0
70歳以上	222	33.3	23.9	30.6	27.9	18.0	33.8	16.2	11.3	11.7	7.7	4.5	0.5

回答割合の上位3項目を着色（単位：%）

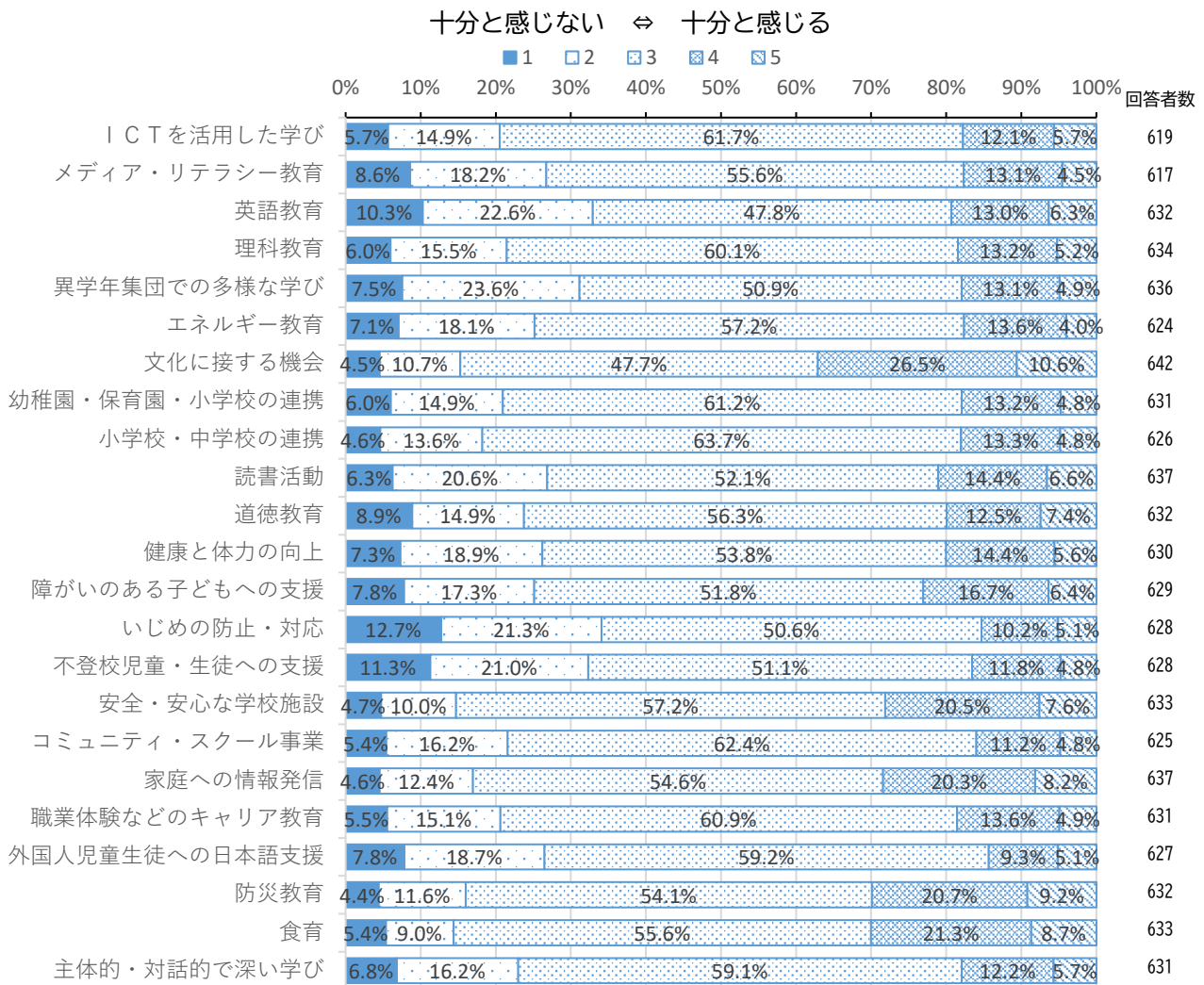
ク 教育関係施設に期待すること、ご意見がありましたらお書きください（問25 自由記述）

回答数 109

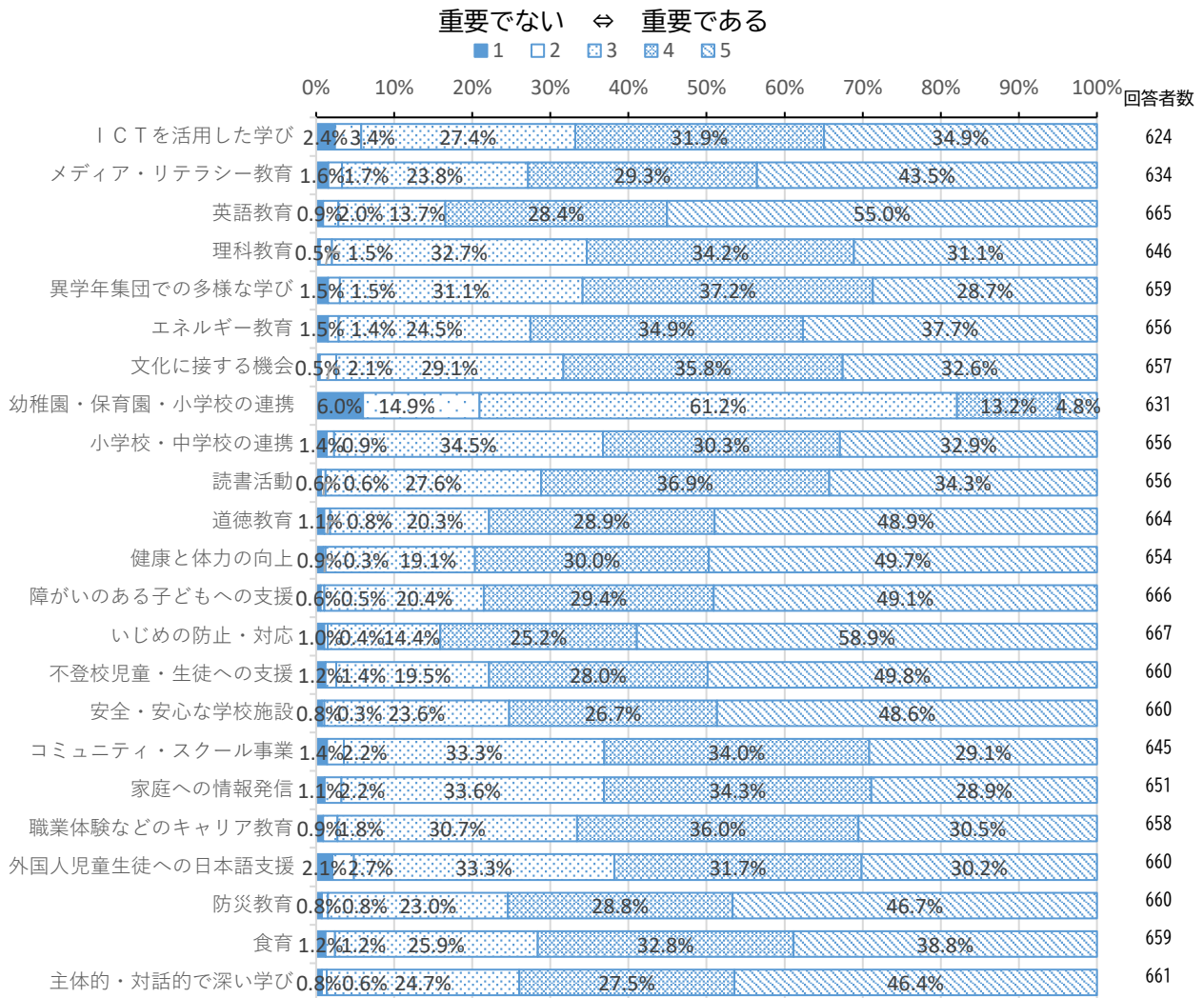
項目（主な内容）	割合（%）
施設の利便性、利用環境の向上（簡易な利用手続き、利用料の引き下げ、使用方法の情報発信）	20.2
子どもの遊び場やイベントの充実 （自由に体を動かして遊べる施設、子どもが行きたいと思うイベントの実施）	18.3
学習スペースや居場所の充実（大人も子どもも使える、開放的で立地的に利用しやすい）	11.9
スポーツ施設・設備の充実（多世代・多くの人が利用しやすい、特定の設備の設置）	11.0
図書館の充実（蔵書の充実、電子化、学習スペースの確保）	9.2
施設への移動手段の充実、駐車場の整備（無料の駐車場の拡大 など）	9.2
公園に関して（公園が少ない、遊具の充実、トイレなどの管理）	6.4
公民館の活用（簡単に借りられる、活用方法などの情報発信）	6.4
情報発信に関して（詳しい使用方法や休館日、目的・料金別の情報が容易に分かる）	5.5
その他（上記以外の施設の整備 など） ※内容が多岐にわたり、分類した項目の割合が4%を下回るため、その他として集計	10.1

(6) 松本市の教育に関して

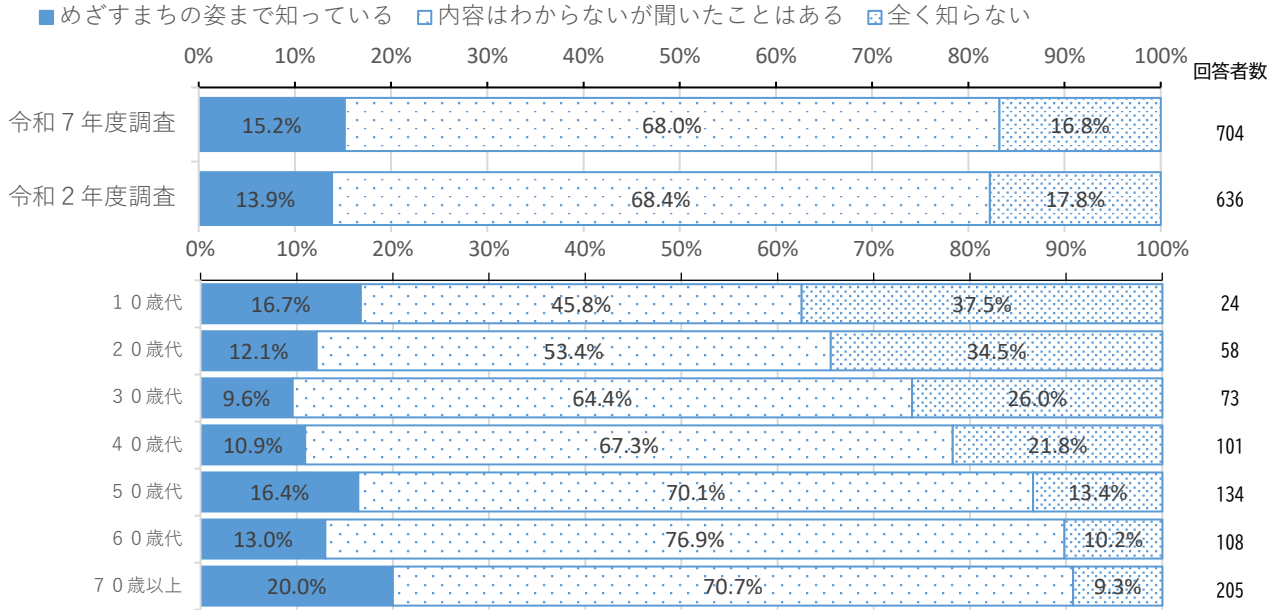
ア 松本市の教育の「現在の状況」について、考えに最も近い番号を選んでください（問18）



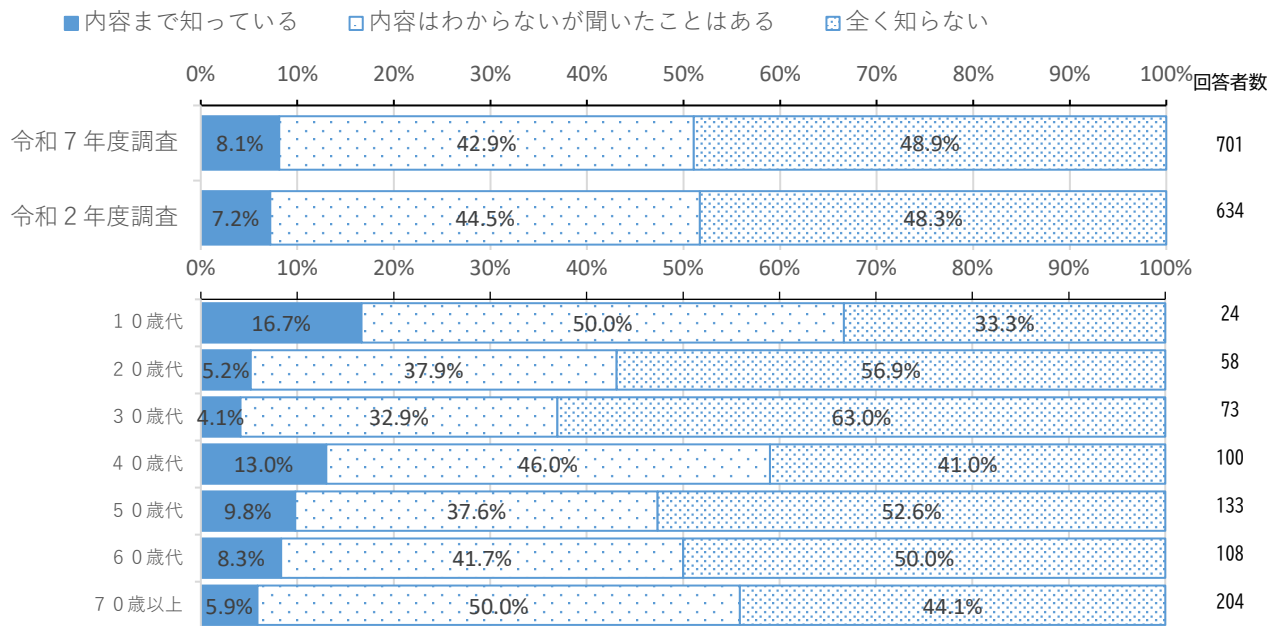
イ 松本市の教育の「今後の重要度」について、考えに最も近い番号を選んでください（問19）



ウ 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか（問26）



エ 「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか（問27）



オ 松本市の学校教育について（問28 自由記述） 回答数 146

項目（主な内容）	割合（％）
教育内容に関して（基礎学力の向上、特定の科目等への注力）	20.2
教員の増員、負担軽減（賃金上昇、働き方改革、働きやすい環境）	16.4
子どもに寄り添った教育、不登校への対応（障がいや特性など一人ひとりに寄り添う）	14.4
地域・家庭との連携（住民・保護者の理解、地域との交流・連携した取組み）	11.6
教員の質・指導力（教員の社会経験を望む、指導力や教え方など能力の格差）	8.9
いじめに関して（なくしてほしい、地域や保護者の協力も必要）	6.8
部活動に関して（もっと行ってほしい、体験機会の減少、地域移行に関する意見）	6.8
学校施設・設備の改修（老朽化した施設等の改修、設備の最新化 など）	5.5
その他（保護者の負担軽減、情報発信の充実 など） ※内容が多岐にわたり、分類した項目の割合が4%を下回るため、その他として集計	18.5

カ 松本市の教育全般について（問29 自由記述） 回答数 117

項目（主な内容）	割合（％）
教育内容に関して（基礎学力の向上、特定の科目等への注力、学ぶ機会の平等）	28.2
地域との連携・協力（地域全体で子どもを育てる、地域文化・伝統を活用した学び）	12.0
家庭に関して（家庭でのしつけや道徳教育の不足、親の負担軽減、家庭への支援）	9.4
教育関係施設の充実（図書館、児童館、文化施設の充実）	8.5
松本の特色ある学びに関して（高等教育機関との連携、文化や自然環境を生かした学び）	6.8
不登校、いじめへの対応	6.0
体験・実践的な学びの充実（地域社会に出て学ぶ機会 など）	6.0
その他（教員の負担軽減、部活動に関して、子どもの健全育成、情報発信の充実 など） ※内容が多岐にわたり、分類した項目の割合が4%を下回るため、その他として集計	36.8

Ⅲ 調査結果の考察

1 児童生徒

(1) 回答者属性

ア 自己肯定感や自尊感情、心配ごとについて

「自分に自信がある」、「いろいろなことに積極的に挑戦することができる」、「自分のことが好き」と思う児童生徒の割合は、学年が上がるほど減少し、「心配ごとがある」と答える児童生徒の割合は、学年が上がるほど増加する傾向が見られました。

具体的な心配ごとの内容に関しては、「友人などとの人間関係」が最も多く、「受験や進路」、「学習・成績、授業内容」が続いて多くなっています。「受験や進路」に関しては、中学3年生のみで集計した場合に41.6%が記入しており、半数近くの生徒にとっての心配ごとと推測されます。また、学校生活や教育に関する項目以外にも、「将来や人生」、「心身の健康や自分の性格、生活習慣」、「家庭環境や家族との関係」の記入もありました。

イ 将来やりたいこと（仕事や夢）がありますか、将来松本市に住みたいと思いますか

将来やりたいことについて、「はっきり決まっている」、「何となく決まっている」と答えた児童生徒の割合は学年が上がるほど減少し、「考えたことはあるが決まっていない」の割合が増加しています。将来の松本市への居住についても、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」と答えた児童生徒の割合は学年が上がるほど減少し、「わからない」の割合が増加しています。

(2) 学習に関して

ア 学習することが好きですか、学習することが好きでない理由

前回調査と比較して、「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた児童生徒の割合は多くなっています。学年別で比較すると、「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた児童生徒の割合は学年が上がるほど減少し、「どちらかといえば好きではない」の割合が増加しています。

学習することが好きでない理由としては、「宿題が面倒くさい」と答えた割合が最も多く、「授業が理解できない」、「授業が面白くない」、「成績がよくない」などが続きます。学年別で比較すると、小学3年生では「学校がきらい」が他の学年よりも多い、小学6年生では「授業が面白くない」が他の学年よりも多い、中学3年生では「成績がよくない」が他の学年よりも多い傾向がありました。

イ AIの利用について

AIを使っている児童生徒の割合は、小学6年生の40.5%に対して中学3年生は63.0%と多くなっています。利用する目的について、「学習で分からないとき」、「調べ学習」など、情報の検索機能を利用することが多い傾向が見られました。

(3) 学校生活に関して

ア 学校が楽しいか、学校が楽しくない理由について

「学校が楽しいですか」の設問について、前回調査と比較して、回答の比率に差はありませんでした。「楽しい」と答えた児童生徒の割合は54.5%、「どちらかといえば楽しい」と答えた割合は37.0%と大半を占めています。

学校が楽しくない理由としては、「友達関係がうまくいかない」が最も多く、「授業がつまらない」、「学習したくない」、などが続いて多くなっています。学年別に比較すると、小学3年生では「学習したくない」、「授業以外でいやなことがある」が他の学年よりも多い、小学6年

生では「先生が嫌い」が他の学年よりも多い、中学3年生では「その他」として「学校自体が嫌い」という記述が5.8%という特徴が見られます。

(4) 家庭など、学校以外での生活に関して

ア 朝食を食べているか、睡眠時間について

朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、学年が上がるほど減少する傾向があり、中学3年生では4.2%の生徒が「まったく食べない」と答えています。

睡眠時間が9時間以上の児童生徒の割合も、学年が上がるほど減少する傾向があり、中学3年生では55.1%の生徒は睡眠時間が「5～7時間未満」と答えています。

イ 自宅での過ごし方（平日1日当たり）について

1時間以上行っていると回答した児童生徒の割合が最も多かったのは「家族との会話」で、「勉強」、「動画（の視聴）」、「テレビ（の視聴）」の割合が続いて高くなっています。逆に、1時間以上行っていると回答した児童生徒の割合が最も少なかったのは「読書」でした。学年別で比較すると、小学3年生と6年生、中学3年生とでは回答の状況に大きく違いがあります（特に「友だちと一緒に遊ぶ」と「勉強」）。

「SNS」は学年が上がるほど利用時間が増える傾向があり、「読書」、「友だちと一緒に遊ぶ」は学年が上がるほど「まったくしない」と答える割合が増加する傾向があります。

ウ 自分の電子機器（スマホ、パソコンやタブレット）を持っていますか

前回調査に比べて、携帯電話やスマホを持っている児童生徒の割合は大幅に増加しています（32.1%から53.9%に増加）。小学3年生でも32.1%、中学3年生では76.6%が所有しています。パソコンやタブレット等を持っている児童生徒の割合も、前回調査に比べてやや増加しています（63.6%から68.5%に増加）。

携帯電話やスマホ、パソコンやタブレット等の両方の保有状況に関しては、41.8%の児童生徒が両方を保有しています。一方で両方とも保有していない児童生徒は19.3%です。

エ 親や家族にしてほしいこと

最も多かった回答は「今のままでよい」の48.8%でした。学年別で比較すると、小学校3年生では「もっと遊んで欲しい」、「もっと一緒にいてほしい」が他の学年より多い、中学3年生では「うるさく言わないでほしい」、「もっと自分に関心をもってほしい」が他の学年より多い傾向があります。小学3年生の回答は、自分への接し方・態度などの選択肢よりも、自分と接する時間を増やしてほしいという回答（「もっと遊んで欲しい」、「もっと一緒にいてほしい」）の割合が多くなっています。

(5) 地域に関して

ア 地域での経験について

小学3年生では「地域のお祭りなど行事に参加している」と答えた児童生徒が最も多く、「近所の人からあいさつされたことがある」、「近所の人にあいさつをしている」の割合は他の学年と比べて低い傾向が見られます。あいさつする割合が低いのは、年齢が比較的 low、まだ近所の人との関係性が構築されていないことが、要因として推測されます。

小学6年生と中学3年生では「近所の人からあいさつされたことがある」と答えた児童生徒が最も多く、中学3年生では「地域のお祭りなど行事に参加している」の割合が他の学年と比べて低い傾向が見られます。行事参加の割合が低いのは、勉強や部活動・習い事などの時間が増えて行事に参加する余裕がない、地域行事の内容が比較的 low 年齢向けであるといったことが、要因として推測されます。

イ 地域の大人による見守り、地域の大人に望むことについて

地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じる（「感じる」又は「たまに感じる」）児童生徒は39.0%となっており、学年が上がるほど割合が減少する傾向があります。

地域の大人に望むことは「特に望むことはない」と回答した児童生徒が57.6%となっており、学年が上がるほど割合が増加する傾向があります。「自分たちの安全を見守ってほしい」回答した児童生徒は26.2%で、学年が上がるほど割合が減少する傾向があります。低い学年ほど、自分たちの安全を地域の大人たちに見守ってもらう必要性を強く感じており、現状でも大人たちに見守られているとは感じるが、さらに見守りしてほしいと考えていることが推測されます。

(6) 学都松本、その他に関して

ア 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか

前回調査と比較して回答の比率に差はなく、37.7%の児童生徒が「目指すまちの姿まで知っている」又は「内容は分からないが聞いたことはある」と回答しています。

2 保護者

(1) 子どもの教育に関して

ア 幼児教育の充実に必要な取組み

「発達状況に応じたきめ細かな対応」、「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実」と回答した保護者がそれぞれ30%程度と最も多く、続いて「今のままで良い」の回答が多いです。

イ 子どもの教育について関心のあること

「主体的に学ぶ力」と回答した保護者が最も多く、「子どもの道徳心や規範意識」、「子どもの基礎学力」の割合が続いて高くなっています。子どもの学年別で比較すると、中学3年生の保護者は「主体的に学ぶ力」が他の学年より高い傾向が見られます。

ウ 松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか

「思いやりや、優しさを持った子ども」と答えた割合が37.8%と最も多く、「向上心やチャレンジ精神のある子ども」、「ルールやマナーを守る子ども」の割合が続いて高くなっています。

エ 子どもの教育に関する課題

30%以上の保護者が、「基本的な生活習慣の乱れ」、「基礎学力の低下」、「健康状態や体力の低下」、「不登校問題」を課題として回答しました。

オ 子どもの学びにAIは必要だと思いますか

49.9%の保護者が「必要」と回答しており、意見が半々に分かれています。学年別で比較しても、回答状況に差はありませんでした。

(2) お子さんの通う学校等に関して

ア 学校等に対する要望

「授業を充実してほしい」の回答が41.6%と最も多く、「学校等での出来事など情報を提供してほしい」、「普段の授業風景をみたい」の割合が続いて高くなっています。学年別で比較すると、学年が上がるほど「授業を充実してほしい」と回答する割合が増加する傾向があります。

(3) 家庭に関して

ア 家庭での教育力向上に必要な取組み

「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の回答が25.1%と最も多く、「大人が自ら見本となる意識の向上」、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」、「食事を通じた家族だんらんの場の設定」の割合が続いて高くなっています。

(4) 地域社会に関して

ア 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子どものための教育に関わってくれる人が多いと思いますか

「どちらかといえば多い」の回答が41.3%、「どちらかといえば少ない」の回答が38.8%で全体の80.1%を占めており、全体として多いとも少ないとも思っていない傾向が見られました。

イ 地域で子どもを育てるために必要な取組み

「良好な治安、環境の維持」の回答が33.8%と最も多く、「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」、「地域活動、行事への積極的参加」の割合が続いて高くなっています。

(5) 松本市の教育に関して

ア 松本市の教育の「現在の状況」について

十分と感じている傾向が高い（5段階の4以上の回答割合が35%以上）項目としては、「文化に接する機会」、「食育」、「防災教育」、「読書活動」、「異学年集団での多様な学び」、「家庭への情報発信」、「安全・安心な学校施設」が挙げられます。

十分でないと感じている傾向が高い（5段階の2以下の回答割合が25%以上）項目としては、「英語教育」、「不登校児童・生徒への支援」、「いじめの防止・対応」、「職業体験などのキャリア教育」が挙げられます。

イ 松本市の教育の「今後の重要度」について

全ての項目について、約60%以上の保護者が重要であると感じている傾向が高く（5段階の4以上の回答割合が約60%以上）、中でも重要であると感じている傾向が高い（5段階の4以上の回答割合が75%以上）項目は、「いじめの防止・対応」、「英語教育」、「安全・安心な学校施設」、「健康と体力の向上」、「主体的・対話的で深い学び」、「不登校児童・生徒への支援」、「道徳教育」、「防災教育」が挙げられます。

3 教職員、保育士・幼稚園教諭等

(1) 自分の職務（教職等）に関して

ア 自身の職務に「生きがい」、「やりがい」を感じますか

前回調査と比較して回答の比率に差はなく、89.7%の教職員等が「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答しています。

イ ご自身の職務について忙しいと感じていますか

92.4%の教職員等が「感じている」又は「どちらかといえば感じている」と回答しています。学校種別で比較すると、「感じている」と答えた割合は高等学校で最も多く、中学校で最も少なくなっています。

ウ 仕事をするうえで時間をかけている業務

「保育・授業の準備」の回答が最も多く、「事務処理」、「学校経営・学年経営」、「園務・校務分掌」の割合が続いて高くなっています。学校種別で比較すると、中学校では「事務処理」が他の校種に比べて低く、高等学校では「部活動指導」が他の校種に比べて高い傾向が見られます。

エ 仕事をするうえで負担を感じている業務

「事務処理」の回答が最も多く、「保護者・PTA対応」、「会議・打合せ」の割合が続いて高くなっています。学校種別で比較すると、保育園、幼稚園では「各種行事」、「保育・授業の準備」の回答が他の校種に比べて高い、高等学校では「部活動指導」が他の校種に比べて高い傾向が見られます。

オ 多忙を解消するために必要なこと

「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の回答が最も多く、「学級定員の引き下げ」、「教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす」、「校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る」、「支援員を増やす」の割合が続いて高くなっています。学校種別で比較すると、小学校、中学校では「学級定員の引き下げ」が他の校種に比べて高い、幼稚園、高等学校では「校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る」が他の校種に比べて高い傾向が見られます。

カ 教職員の資質向上のために必要な研修

前回調査と比べて比較して回答の比率にほとんど差はありませんでした。「児童・生徒の理解や指導に関する研修」、「教科等の指導方法」、「児童・生徒の個に応じた指導方法」、「学級経営」、「ICT教育等の時代のニーズに応じた研修」の回答が30%を超えています。

学校種別で比較すると、高等学校では「教職員の倫理観を高める研修」が他の校種に比べて高い傾向が見られます。

(2) 子どもの教育に関して

ア 幼児教育の充実に必要な取組み

「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実、「発達状況に応じたきめ細かな対応」と回答した教職員がそれぞれ27%程度と最も多く、続いて「親育ちの場の充実」の割合が多いです。

イ 子どもの教育に関する課題

「基本的な生活習慣の乱れ」の回答割合が最も多く、「家庭の教育力の低下」、「基礎学力の低下」、「不登校問題」、「家庭環境等による教育格差」、「道徳心や規範意識等の低下」、「健康状態や体力の低下」、「いじめ問題」の割合が続いて多いです。学校種別で比較すると、保育園、幼稚園は「健康状態や体力の低下」が他の校種に比べて高い傾向が見られます。

ウ 子どもの学びにAIは必要だと思いますか

教職員等全体では、意見が半々に分かれています。学校種別で比較すると、保育園、幼稚園では「必要でない」の割合が高く、中学校、高等学校では「必要」の割合が高くなっています。

(3) 家庭や地域に関して

ア 家庭での教育力向上に必要な取組み

「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」が最も多く、「大人が自ら見本となる意識の向上」、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」、「しつけや教育について相談できる場の充実」の割合が続いて高くなっています。学校種別で比較すると、小学校、中学校、高等学校で「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が高い、高等学校で「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」が他の校種に比べて高い傾向があります。

イ 地域で子どもを育てるために必要な取組み

「地域の大人が地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の回答が38.4%と最も高く、「良好な治安、環境の維持」の割合が続いて高くなっています。

ウ 学校等が、地域に協力してもらいたいこと

「子どもの見守り」が62.4%と最も多く、「農業体験などの指導」、「学校施設や花壇などの環境整備」、「部活動などの指導」、「学習の補助」の割合が続いて高くなっています。学校種別で比較すると、小学校、中学校で「子どもの見守り」、「農業体験などの指導」、「学習の補助」の割合が他の校種より高い、中学校、高等学校で「部活動などの指導」の割合が他の校種より高い傾向が見られます。

(4) 松本市の教育に関して

ア 松本市の教育の「現在の状況」について

十分と感じている傾向が高い（5段階の4以上の回答割合が35%以上）項目としては、「文化に接する機会」、「食育」、「家庭への情報発信」が挙げられます。

十分でないと感じている傾向が高い（5段階の2以下の回答割合が15%以上）項目としては、「エネルギー教育」、「メディア・リテラシー教育」、「英語教育」、「障がいのある子どもへの支援」、「安全・安心な学校施設」、「小学校・中学校の連携」、「異学年集団での多様な学び」、「外国人児童生徒への日本語指導」、「幼稚園・保育園・小学校の連携」、「不登校児童・生徒への支援」が挙げられます。

イ 松本市の教育の「今後の重要度」について

全ての項目について、約50%以上の教職員等が重要であると感じている傾向が高く（5段階の4以上の回答割合が約50%以上）、中でも重要であると感じている傾向が高い（5段階の4以上の回答割合が75%以上）項目は、「メディア・リテラシー教育」、「いじめの防止・対応」、「不登校児童・生徒への支援」、「障がいのある子どもへの支援」、「安全・安心な学校施設」が挙げられます。

ウ 松本市が「学都松本」をめざしていること、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか

双方について、前回調査よりも「めざすまちの姿まで知っている」、「内容まで知っている」の割合が高くなっています。学校種別で比較すると、双方について、小学校・中学校で「めざすまちの姿まで知っている」、「内容まで知っている」の割合が他の校種より高い傾向が見られます。

4 一般

(1) 回答者属性

ア 松本市に親しみや愛着を感じますか

「とても感じる」の回答が50.1%、「どちらかといえば感じる」の回答41.0%でした。年代別で比較すると、20歳代、70歳以上で「とても感じる」の割合が他の年代より高い、30歳代で「とても感じる」の割合が他の年代より低い傾向が見られます。

(2) 子どもの教育に関して

ア 幼児教育の充実に必要な取組み

「発達状況に応じたきめ細かな対応」が34.5%と最も多く、「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実に24.8%と続けて回答が多いです。

イ 松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか

「思いやりや、優しさを持った子ども」と答えた割合が32.9%と最も多く、「ルールやマナーを守る子ども」の割合が続いて高くなっています。

ウ 子どもの教育に関する課題

前回調査と比較して回答の割合に大きな差はありません。30%以上の回答があった項目は、割合の高い順に、「いじめ問題」、「基本的な生活習慣の乱れ」、「不登校問題」、「家庭環境等による教育格差」、「道徳心や規範意識等の低下」、「健康状態や体力の低下」、「基礎学力の低下」でした。

エ 子どもの学びにAIは必要だと思いますか

全体では53.9%が「必要」と回答しており、意見が半々に分かれています。年代別に比較すると、20歳代、30歳代で「必要でない」が他の年代より割合が高い傾向が見られます。

(3) 家庭に関して

ア 家庭での教育力向上に必要な取組み

「大人が自ら見本となる意識の向上」が最も多く、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」、「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が続いて高いです。

(4) 地域社会に関して

ア 地域で子どもを育てるために必要な取組み

「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の回答が33.7%と最も多く、「良好な治安、環境の維持」、「地域活動、行事への積極的参加」、「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が続いて高くなっています。年代別で比較すると、20歳代で「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が他の年代よりも高い、30歳代で「良好な治安、環境の維持」の割合が他の年代よりも高い、70歳以上で「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が他の年代よりも高い傾向があります。

イ 地域や学校に協力できること

「特になし」の回答が40.6%で最も多く、「子どもの登下校時の見守りをする」、「自分の知識や技能を教える」、「ほかの選択肢以外のボランティア活動」の割合が続いて高くなっています。ほとんどの項目について、前回調査の回答と比較して差はありませんでしたが、「ほかの選択肢以外のボランティア活動」と回答した割合が前回調査の3.0%より増加して13.5%となっています。年代別で比較すると、10歳代で「ほかの選択肢以外のボランティア活動」、「学習の補助をする」の割合が他の年代よりも高い傾向があります。

(5) 生涯学習に関して

ア どんな生涯学習活動をしていますか

「特になし」の回答が44.6%で最も多く、「スポーツ活動」、「芸術・文化・音楽活動」、「学習活動」の割合が続いて高くなっています。ほとんどの項目について、前回調査の回答と比較して大きな差はありませんでしたが、「特になし」と回答した割合が前回調査の51.9%からやや減少しています。年代別で比較すると、10歳代で「学習活動」、「芸術・文化・音楽活動」の割合が他の年代よりも高い、20歳代で「スポーツ活動」の割合が他の年代よりも高い傾向があります。なお、10歳代の「学習活動」に関しては、学生の学校での学習について、生涯学習活動として回答している可能性があります。

イ 昨年1年間に市内の施設を利用した頻度

前回調査と比較すると、「美術館」、「博物館」、「市内の文化財（松本城）」を全く利用しなかった割合が減少しています。3回以上利用したという回答の割合が最も多かったのは、「公民館」、「図書館」でした（ともに25%程度）。

ウ もっと活用したい又は皆に活用してほしい施設

前回調査と比較すると、「市内の文化財（松本城など）」（前回調査では「松本城」）、「博物館」と回答した割合が増加し、「特になし」と回答した割合がやや減少しています。博物館の回答割合が増加した要因として、市立博物館が移転新築されたことが推測されます。最も多い回答は「図書館」で、続いて「公園」、「市内の文化財（松本城など）」、「美術館」、「体育施設」、「公民館」、「博物館」の割合が高いです。年代別で比較すると、70歳以上で「公民館」の割合が他の年代より高くなっています。

(6) 松本市の教育に関して

ア 松本市の教育の「現在の状況」について

十分と感じている傾向が高い（5段階の4以上の回答割合が25%以上）項目としては、「文化に接する機会」、「食育」、「防災教育」、「家庭への情報発信」、「安全・安心な学校施設」が挙げられます。

十分でないと感じている傾向が高い（5段階の2以下の回答割合が25%以上）項目としては、「いじめの防止・対応」、「英語教育」、「不登校児童・生徒への支援」、「異学年集団での多様な学び」、「読書活動」、「メディア・リテラシー教育」、「外国人児童生徒への日本語支援」、「健康と体力の向上」、「エネルギー教育」、「障がいのある子どもへの支援」が挙げられます。

イ 松本市の教育の「今後の重要度」について

「幼稚園・保育園・小学校の連携」を除く全ての項目について、60%以上の市民が重要であると感じている傾向が高く（5段階の4以上の回答割合が60%以上）、中でも重要であると感じている傾向が高い（5段階の4以上の回答割合が75%以上）項目は、「英語教育」、「道徳教育」、「健康と体力の向上」、「障がいのある子どもへの支援」、「いじめの防止・対応」、「不登校児童・生徒への支援」、「安全・安心な学校施設」、「防災教育」が挙げられます。

ウ 松本市が「学都松本」をめざしていること、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか

双方とも、前回調査と比較すると回答の割合に差はありませんでした。「学都松本」に関しては「全く知らない」が16.8%で、年代別で比較すると、年代が低いほど「全く知らない」の割合が高く、「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が低い傾向があります。

「松本市子どもの権利に関する条例」に関しては「全く知らない」が48.9%で、年代別で比較すると、20歳代、30歳代で「全く知らない」の割合が他の年代よりも高く、「内容まで知っている」の割合が他の年代より低い、10歳代、40歳代で「全く知らない」の割合が他の年代よりも低く、「内容まで知っている」の割合が他の年代より高い傾向があります。